

Canon

PowerShot G3 X

カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖 13)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

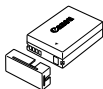
日本語

カメラと付属品の確認

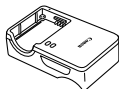
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



バッテリーパック
NB-10L
(端子カバーつき)



バッテリーチャージャー
CB-2LC



ネックストラップ



レンズキャップ
(ひも付き)

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (📖3)。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*¹
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*¹*²
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*¹*²



*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

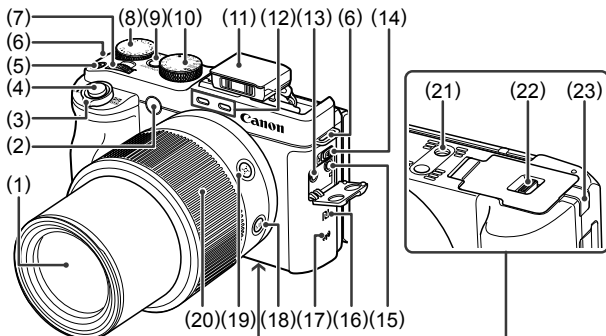
お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

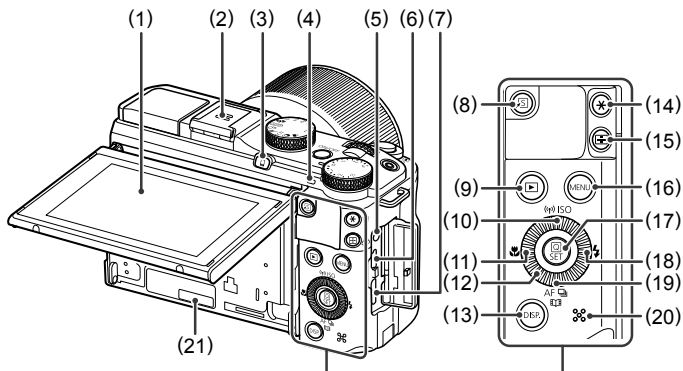
このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。また、()内は「各部のなまえ」(6)にある該当する操作部材の番号を示しています。
 - [0] 前面 (20) スムーズリング
 - [ - [▲] 背面 (10) 上ボタン
 - [◀] 背面 (11) 左ボタン
 - [▶] 背面 (18) 右ボタン
 - [▼] 背面 (19) 下ボタン
 - [
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- ：画面をタッチして操作する方法を示しています。
-  xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

各部のなまえ



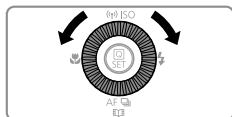
- | | |
|---|---------------------------------|
| (1) レンズ | (12) マイク |
| (2) ランプ (前面) | (13) 外部マイク入力端子 |
| (3) ズームレバー
撮影時: [] (望遠) /
[] (広角)
再生時: [Q (拡大)] /
[] (インデックス)] | (14) [] (ストロボポップアップ)] スイッチ |
| (4) シャッターボタン | (15) ヘッドホン端子 |
| (5) 動画ボタン | (16) [N] (N マーク) * ¹ |
| (6) ストラップ取り付け部 | (17) Wi-Fi 通信部 |
| (7) 電子ダイヤル | (18) [MF] (マニュアルフォーカス)] ボタン |
| (8) 露出補正ダイヤル | (19) [] (フレーミングアシスト - 探索)] ボタン |
| (9) 電源ボタン | (20) スムーズリング |
| (10) モードダイヤル | (21) 三脚ねじ穴 |
| (11) ストロボ | (22) カード/バッテリー収納部ふた |
| | (23) DC カプラー端子カバー |



- | | |
|---|---|
| (1) 画面 (液晶モニター) *2 | (13) DISP. (ディスプレイ) ボタン |
| (2) アクセサリーシュー/アクセサ
リーシューキャップ | (14) [*] / [1] (画像消去) ボタン |
| (3) [touch] (ワンタッチスマホ) ボタン | (15) [AF] (AF フレーム選択) /
[AF] ボタン |
| (4) ランプ (背面) | (16) MENU (メニュー) ボタン |
| (5) リモコン端子 | (17) [ISO] (クイック設定メニュー/設
定) ボタン |
| (6) DIGITAL (デジタル) 端子 | (18) [BKT] (ストロボ) / 右ボタン |
| (7) HDMI™ 端子 | (19) [AF] (ONE SHOT / SERVO)
/ [DRIVE] (ドライブモード) / [HIGHLIGHT] (ス
トローハイライト) / 下ボタン |
| (8) [SCN] (ショートカット) ボタン | (20) スピーカー |
| (9) [PLAY] (再生) ボタン | (21) シリアル番号 (機番) |
| (10) [Wi-Fi] / ISO (ISO 感度)
/ 上ボタン | |
| (11) [MACRO] / 左ボタン | |
| (12) コントローラーホイール | |

*1 NFC 機能 (245) で使います。

*2 画面に保護シートを貼るとタッチ操作が感知されにくいことがあります。この
ときは、タッチパネルの感度を上げてください (306)。



- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、**[▲]**、**[▼]**、**[◀]**、**[▶]** と同じ操作ができます。

カメラと付属品の確認	2	自分好みの画像を撮るための 機能を使う	86
使えるカード（市販品）に ついて	3	撮影の手助けとなる機能を 使う	91
お使いになる前にお読み ください	4	自分好みに機能を変える	96
このガイドの記載について	5	いろいろな撮影モード	99
各部のなまえ	6	多彩な写真を撮る （クリエイティブショット）	100
やりたいこと目次	10	動きのある被写体を撮る （スポーツ）	102
安全上のご注意	13	いろいろなシーンで撮る	103
基本編	17	効果をつけて撮る（クリエイティブ フィルター）	105
カメラの基本操作	17	特殊なモードでいろいろな 画像を撮る	116
準備する	18	いろいろな動画を撮る	128
使ってみる	27	Pモード	135
活用編	33	プログラム AE で撮る （[P] モード）	136
カメラを知る	33	明るさ（露出）に関する機能を 使う	137
電源の入れかた／切りかた	34	色に関する機能を使う	145
シャッターボタンの押しかた	36	撮影範囲やピント合わせに 関する機能を使う	150
撮影モードの切り換えかた	37	ストロボに関する機能を 使う	165
液晶モニターの向きや角度を 調整する	38	撮影スタイルにあわせて機能を 変える	170
撮影時の画面表示の 切り換えかた	40	Tv、Av、M、C1、C2 モード	173
クイック設定メニューの表示と 操作方法	41	シャッタースピードを 決めて撮る（[Tv] モード）	174
MENU（メニュー）の表示と 操作方法	43	絞り数値を決めて撮る （[Av] モード）	175
文字の入力方法	46	シャッタースピードと絞り数値を 決めて撮る（[M] モード）	176
ランプの表示	49	長時間露光（バルブ）撮影	178
時計機能	50	ストロボ発光量を設定する	179
オートモード/プラスムービー オートモード	51		
カメラまかせで撮る	52		
よく使う機能や便利な機能を 使う	64		
個人認証機能を使って撮る	77		

シャッタースピードと絞り数値を 決めて動画を撮る	180	スマートフォンでカメラ内の 画像やカメラを操作する	288
撮影スタイルにあわせてカメラを カスタマイズする	182	Wi-Fi の設定を編集 / 消去する	291
撮影の設定を登録する	186	設定メニュー	295
再生モード	189	カメラの基本機能を変える	296
見る	190	アクセサリ	309
画像を探したり、特定の 画像だけを見る	198	システムマップ	310
個人認証情報を編集する	205	別売アクセサリ	312
いろいろな方法で画像を 見る	207	別売アクセサリの 使いかた	315
保護する	210	ソフトウェアを使う	331
消す	214	印刷する	335
回転する	218	付録	349
お気に入り設定をする	220	故障かな?と思ったら	350
ボタンに機能を登録して かんたんに操作する	222	画面に表示されるメッセージ 一覧	357
タッチアクションでかんたんに 操作する	223	画面の表示内容一覧	361
静止画を編集する	225	機能 / メニュー 一覧	366
動画を編集する	233	日ごろの取り扱いについて	399
アルバムを見る (ストーリーハイライト)	237	主な仕様	400
Wi-Fi 機能	243	索引	408
Wi-Fi でできること	244	Wi-Fi (無線 LAN) に ついて	413
スマートフォンに画像を 送る	245		
パソコンに画像を取り込む	257		
Web サービスを登録して画像を 送る	268		
プリンターにつないで画像を 印刷する	275		
別のカメラに画像を送る	277		
画像送信について	279		
画像を自動で送る (クラウドシンクロ)	284		

やりたいこと目次

撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 -  52、 55
- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット）
 -  100

人を上手に撮りたい



人をきれいに
( 103)



雪景色で
( 103)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



スポーツ
( 102)



夜景
( 103)



花火
( 103)



星空
( 120)

効果をつけて撮りたい



鮮烈な色で
( 105)



イラスト風に
( 105)



色あせた写真のように
( 108)



魚眼レンズのように
( 109)



ミニチュア模型のように
( 110)



トイカメラ風に
( 112)



背景をぼかして
(113)



柔らかな雰囲気で
(114)



モノクロで
(115)

- 人の顔を上手に撮りたい
 - 52、 103、 159、 162
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - 52
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - 71、 119
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - 55

見る

- 画像を見たい
 - 190
- 自動再生で見たい（スライドショー）
 - 208
- テレビで見たい
 - 315
- パソコンで見たい
 - 331
- 画像を素早く探したい
 - 198
- 画像を消したい
 - 214
- 自動でアルバムを作りたい
 - 237

動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 -  52、 128、 180
- 動画を見たい
 -  190

印刷する

- 写真を印刷したい
 -  335

残す

- ケーブルでつないで画像をパソコンに取り込みたい
 -  332

Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 -  245
- Web サービスで画像を共有したい
 -  268
- 画像をパソコンに送りたい
 -  284

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

アクセサリーシューカバーを誤って飲み込むと危険です。万が一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。

感電、火災の原因となります。

液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

● 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

● 指定外のバッテリーや電池は使わない。

● バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

● バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

● カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

● 長時間、身体と同じ部位に触れたまま使わない

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。
液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40℃を超える高温になる場所
 - 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- 長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。
- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をはさまないようにする。

けがの原因となることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。また、液晶モニターが閉じられる製品では、液晶モニターを内側に向けて閉じる。

- ストラップにアクセサリを付けない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



基本編

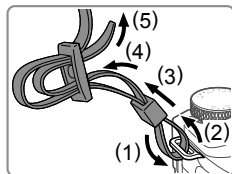
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、
各種の基本情報を掲載しています。

準備する

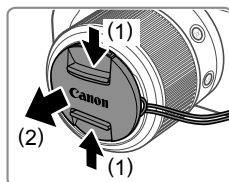
ここでは、撮影前の準備について説明します。

■ 付属品を取り付ける



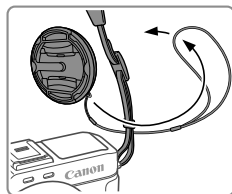
1 ストラップを取り付ける

- 付属のストラップを図のようにカメラに取り付けます。
- 反対側も同じようにして取り付けます。



2 レンズキャップを取り付ける

- レンズキャップをいったんレンズからはずしてから、ひもをストラップに取り付けます。



- カメラの電源を入れる前に、必ずレンズキャップを外してください。外したレンズキャップはストラップにかけておくことをおすすめします。
- カメラを使わないときは、レンズキャップを取り付けて保管してください。

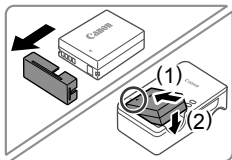
■ カメラを構える



- ストラップを首にかけます。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

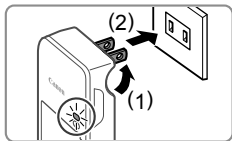
■ バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



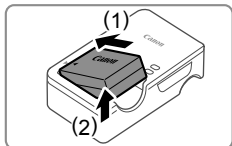
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーのカバーを外し、バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、(2)コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

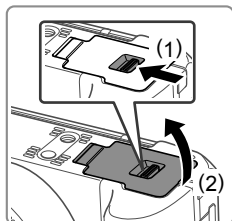


- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P402) を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーのカバーを取り付けるときは、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

■ バッテリーとカード（市販品）を入れる

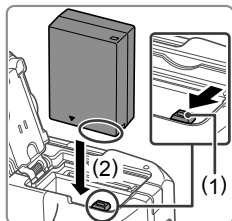
付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（ 297）することをおすすめします。



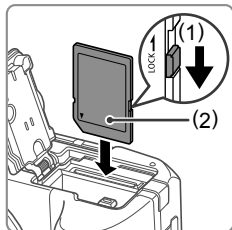
1 ふたを開ける

- (1) の方向にスイッチを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



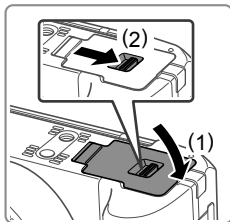
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を図の位置にして、バッテリーロックを (1) の方向へ動かしたまま、バッテリーを (2) の方向に「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを (1) の方向に動かします。
- カードのラベル面 (2) を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



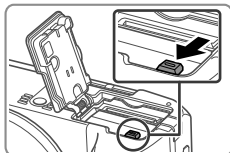
4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、スイッチを (2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



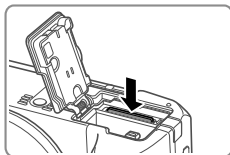
- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1 枚のカードに撮影できる枚数」(403) を参照してください。

バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

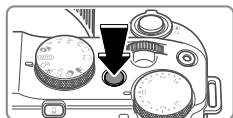


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

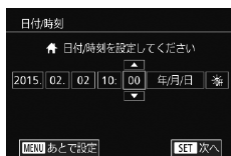
日付／時刻を設定する

電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



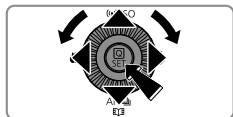
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 「日付／時刻」画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- 「[◀]」か「[▶]」を押して項目を選びます。
- 「[▲]」か「[▼]」を押すか「[DISP.]」ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、「[DISP.]」を押します。



3 自宅のエリアを設定する

- 「[◀]」か「[▶]」を押して自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- 「[DISP.]」を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。





- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに「日付／時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。



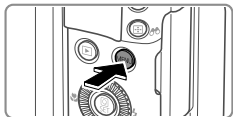
- 手順2で「」を選び、「」か「」を押すか「」ホイールを回して「」にすると、サマータイム(1時間プラスされます)に設定されます。



- 手順2の画面で、設定する項目をタッチして、「」か「」をタッチして設定したあと、「**SET**」をタッチすることでも日付／時刻を設定できます。また、手順3の画面で、「」か「」をタッチして設定したあと、「**SET**」をタッチすることでも自宅のエリアを設定できます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



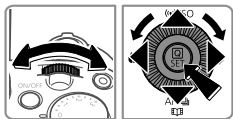
1 メニューを表示する

- 「**MENU**」ボタンを押します。



2 「日付／時刻」を選ぶ

- 「」か「」を押すか「」ダイヤルを回して「」タブを選びます。
- 「」か「」を押すか「」ホイールを回して「日付／時刻」を選び、「**SET**」を押します。



3 日付／時刻を変える

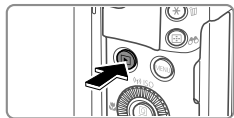
- 「日付／時刻を設定する」の手順2 (23) の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、ACアダプターキット（別売）(312) を使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(23) の操作で正しく設定してください。

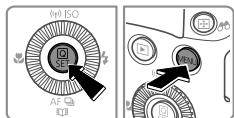
■ 表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



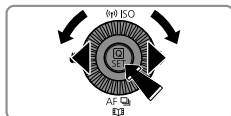
2 設定画面を表示する

- [Q/SET] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して言語を選び、[SET] を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 手順 2 の操作で [SET] を押してから、[MENU] ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは [SET] を押して時計表示を消して、もう一度手順 2 の操作を行います。
- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[🔧 3] タブの [言語🌀] を選んで設定することもできます。

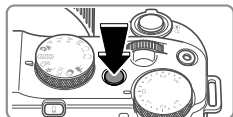


- 手順 3 で表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

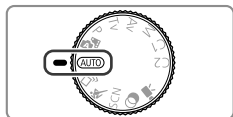
撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



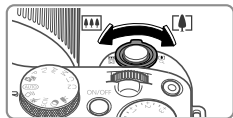
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

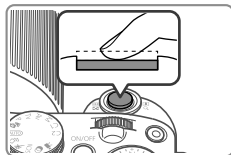
- ズームレバーを [T] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[W] 側に押すと小さくなります。

4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

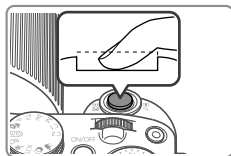
- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。

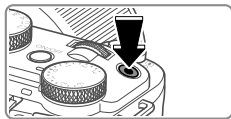


- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

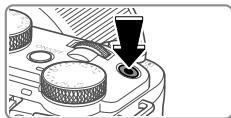
2) 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。





(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

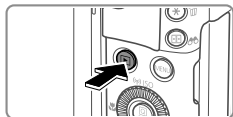
- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

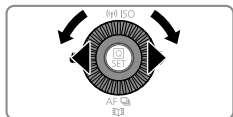
見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



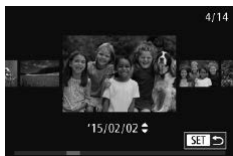
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [SET] を押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- [SET] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [SET] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET ▶] が表示されます。
- 音量は、再生中に [▲] か [▼] を押して調節します。



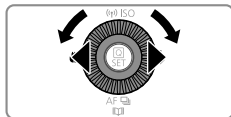
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。



- [▶] をタッチすることでも動画を再生できます。また、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [⏏] ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [消去] を選び、[●] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[●] を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (📖215)。



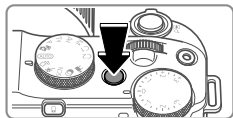
- 手順 2 の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。
- タッチアクションで消すこともできます (📖223)。

活用編

カメラを知る

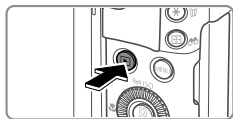
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生のほか、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態では [▶] ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押し (36) すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、[▶] ボタンを押すと電源が切れます。

■ 節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（ 36）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

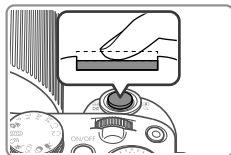


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（ 301）。
- Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（ 243）、パソコンとつないでいるとき（ 332）は、節電機能は動きません。

シャッターボタンの押しかた

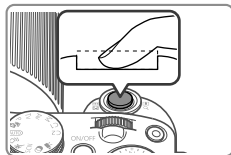
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

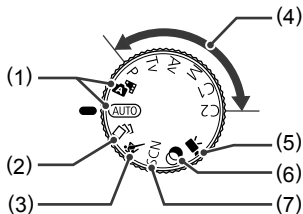
- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。

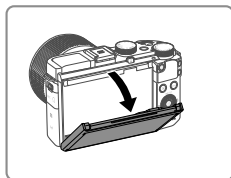


- (1) オートモード／
プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影ができます (127、 152、
155)。
- (2) クリエイティブショットモード
カメラまかせで多彩な静止画が撮影
できます (100)。
- (3) スポーツモード
動いている被写体にピント合わせ
を行いながら連続撮影できます
(102)。
- (4) P、Tv、Av、M、C1、C2モード
各種機能を設定して、さまざま
な撮影ができます (135、
173)。
- (5) 動画モード
動画が撮影できます (128、
180)。
なお、動画モード以外でも動画ボ
タンを押すだけで動画撮影できま
す。
- (6) クリエイティブフィルターモード
いろいろな効果をつけた撮影がで
きます (105)。
- (7) スペシャルシーンモード
撮影シーンに最適な撮影ができま
す (103)。

液晶モニターの向きや角度を調整する

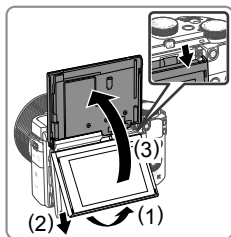
撮影シーンや目的に応じて、液晶モニターの向きや角度を調整することができます。

■ 下向きに開く

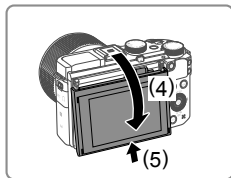


- 液晶モニターの上部を手前に引き下げます。
- 約 45° まで開くことができます。

■ 上向きに開く



- 液晶モニターの下をカチッと音がするまで手前に引き (1)、下にスライドしたあと (2) 上まで持ち上げます (3)。
- 約 180° まで開くことができます。
- 撮影モードで液晶モニターを開き、画面をレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。



- 使い終わったら液晶モニターを下げ (4)、上にスライドさせて (5) からカチッと音がするまで動かして閉じます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 液晶モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。



- MENU (📖 43) の [📷 1] タブの [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。

撮影時の画面表示の切り換えかた

〔DISP〕 ボタンを押すと撮影情報やグリッドラインと水準器の表示 / 非表示が切り換わります。

〔📷 1〕 タブの〔撮影情報表示設定〕で、より詳しく表示内容を設定することができます (📖 182)。

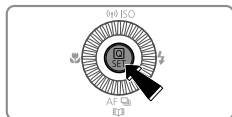


- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖 193)を参照してください。

クイック設定メニューの表示と操作方法

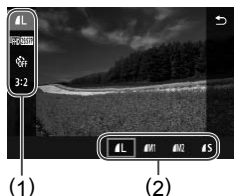
よく使う機能は、**[Q]**（クイック設定）メニューで設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（ 371）によって変わります。



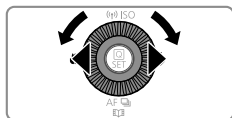
1 **[Q]**メニューのメニュー項目を表示する

- **[Q SET]** を押します。



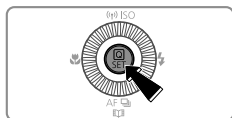
2 メニュー項目を選ぶ

- **[▲]** か **[▼]** を押してメニュー項目 (1) を選びます。
- 選んだメニュー項目の項目 (2) が、画面の下部に表示されます。



3 項目を選ぶ

- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールか **[歯車]** ダイアルを回して項目を選びます。
- **[MENU]** が表示される項目では、**[MENU]** ボタンを押して設定することができます。
- **[DISP.]** が表示される項目では、**[DISP.]** ボタンを押して設定することができます。



4 設定を終える

- **[Q SET]** を押します。
- 手順 1 で **[Q SET]** を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P308)。
- メニュー項目で [↶] を選んで [Q/SET] を押すことでも設定を終えることができます。

画面をタッチして設定する



- 画面右上の [Q] をタッチしてクイック設定メニューを表示します。
- メニュー項目、項目の順にタッチして設定します。
- メニュー項目の [↶] をタッチするか、選択中の項目をもう一度タッチするとともに画面に戻ります。
- [MENU] が表示される項目では、[MENU] をタッチして画面を切り換えることができます。
- [DISP.] が表示される項目では、[DISP.] をタッチして画面を切り換えることができます。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。



1 メニューを表示する

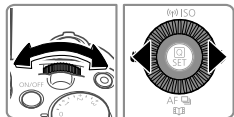
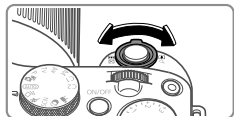
- [MENU] ボタンを押します。

(1) (2)



2 タブを選ぶ

- タブには、撮影 [📷]、再生 [▶]、設定 [⚙️] などの系統タブ (1) と、系統ごとのページタブ (2) があります。なお、本文中では、系統タブとページタブをつなげて「[📷 1] タブ」のように表記しています。
- ズームレバーを動かして系統タブを選んだあと、[◀] か [▶] を押すか [⚙️] ダイアルを回して、ページタブを選びます。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び [📷] を押します。
- 内容が表示されていない項目では、[📷] を押して画面を切り換えたあと、さらに [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- 内容が縦に並んでいる項目では [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。
- 内容が横に並んでいる項目では [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。

5 設定を終える

- [SET] を押すと設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと、手順 1 で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖308)。
- 表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (📖377 ~ 📖397) によって変わります。

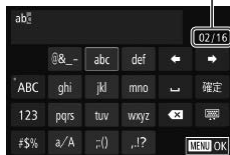
■ 画面をタッチして操作する

- **【MENU】** ボタンを押してメニューを表示したあと、系統タブ、ページタブの順にタッチして、タブを選びます。
- 画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- 内容をタッチすると設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- バーが表示される項目では、バーの上で設定したい位置をタッチします。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えて設定します。切り換えたあとの画面で、ドラッグかタッチで項目を選んだあと、タッチして内容を選びます。**【MENU↶】** をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。
- チェックボックスや文字の入力欄をタッチして選んだり、キーボードをタッチして文字を入力することもできます。
- **【SET】** が表示されているときは、**【SET】** をタッチすると **【】** ボタンと同じ操作ができます。
- **【MENU】** が表示されているときは、**【MENU】** をタッチすると **【MENU】** ボタンと同じ操作ができます。
- **【DISP.】** が表示されているときは、**【DISP.】** をタッチすると **【DISP.】** ボタンと同じ操作ができます。
- メニュー表示を消すには、もう一度 **【MENU】** ボタンを押します。

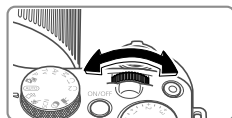
文字の入力方法

個人認証機能(77) や Wi-Fi 機能(261) など文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- **[確定]** をタッチして文字を確定します。
- 入力できる文字数 (1) は機能によって異なります。



入力位置を移動する

- **[←]** か **[→]** をタッチするか、**[🌀]** ダイアルを回します。

改行する

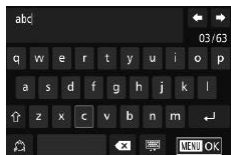
- **[↵]** をタッチします。

文字の種類を変える

- **[ABC]** **[123]** **[#\$%]** をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- **[✕]** をタッチするか、**[🗑️]** ボタンを押すと前の 1 文字が消去されます。
- **[✕]** をタッチしたままにすると、5 文字ずつ消去されます。



キーボードの種類を変える

- [📻] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [🔍] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [↑] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。

漢字やひらがなを入力する

個人認証機能の人物名(📖78)とWi-Fi機能のコメント入力(📖283)にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

文字を確定する

- [確定] をタッチします。



- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して文字やアイコンを選び、[SET] を押して操作することもできます。また、[歯車] ダイアルを回して文字を入力する位置を移動することもできます。

■ 文字入力の設定を変える

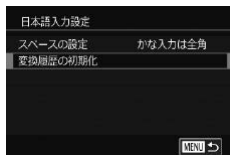
文字入力に関する設定を変えることができます。

半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[F3] タブの [日本語入力設定] を選び、[SET] を押します (📖43)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [スペースの設定] を選び、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [常に半角を使う] を選びます。

変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[F3] タブの [日本語入力設定] を選び、[SET] を押します (📖43)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [変換履歴の初期化] を選び、[◀] か [▶] を押して [はい] を選びます。

ランプの表示

カメラ背面のランプ (📖 6) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時 (📖 332)、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (📖 35、📖 300、📖 301)
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中 (📖 174、📖 176)、Wi-Fi 接続中／データ送受信中



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- [Q/SET] を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 [Q/SET] を押すと時刻表示が消えます。



- [Q/SET] を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

オートモード / プラスムービーオートモード

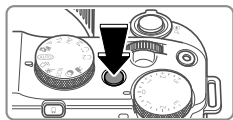
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能
を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

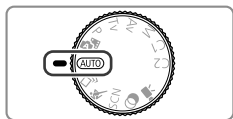
オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画 ▶ 動画



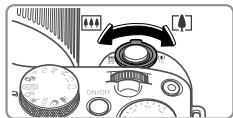
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



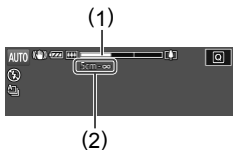
2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（[p.59](#)、[p.62](#)）。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

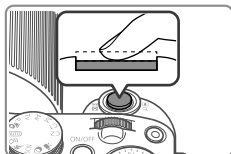
- ズームレバーを  側に押すと撮りたいものが大きくなり、 側に押すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバー（1）と、ピントの合う範囲（2）が表示されます）。



4 撮影する

静止画を撮る

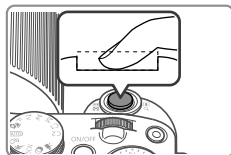
1) ピントを合わせる



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。
- 複数の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。



- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[Fn] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかりとってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



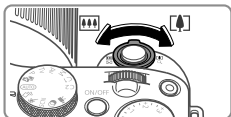
(1)



動画を撮る

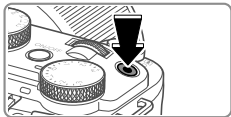
1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。



2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

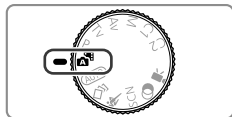


- 静止画を撮影するときにストロボが光ったときは、主被写体と背景の色あいが最適になるように自動補正されます(マルチエリアホワイトバランス)。

■ プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 [Auto] モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順2（ 52）の操作で [Auto] を選びます。



2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（ 52）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（ 52）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[**AUTO**] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり [**A**] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の画質は、ビデオ方式 (298) の設定によって、[**HD 29.97P**] (NTSC 時) または [**HD 25.00P**] (PAL 時) に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音 (305) は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [**A**] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 16 分 40 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき (210)
 - サマータイムの設定 (23) やエリア設定 (302) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (296)
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (43) で [**7**] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます (236)。

ダイジェスト動画の再生について

[**A**] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (196)。

静止画／動画



- **[DISP]** ボタンを押したまま電源を入ると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、**[MENU]** ボタンを押して、**[🔊3]** タブの「消音」を選び、「しない」を選びます。

静止画



- **[📷]** が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(📖404)を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲(撮影範囲)は、「撮影距離」(📖405)を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ(前面)が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに **[🔋]** が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押ししてください。
- 「寝顔」「赤ちゃん(寝顔)」のアイコン(📖59)が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

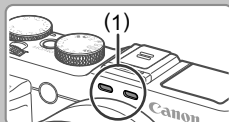


- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます(📖97)。

動画



- 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声は録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさに撮影したいときは、ダイナミック IS (📖95) を [弱] にしてください。



- 音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。音声を録音しないときは、MENU (📖43) で [📷8] タブの [録音] を選び、[しない] を選んでください。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

【】【AUTO】モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します（61）。

被写体	背景				
	通常	逆光	暗い* ¹	夕景	スポットライト
人	 * ²	 * ³		—	
人（動いているとき）	 * ³	 * ³	—	—	—
人（顔の一部が暗いとき）	 * ²	—	—	—	—
人（笑顔）	 * ³	 * ³	—	—	—
人（寝顔）	 * ²	 * ³	—	—	—
赤ちゃん	 * ³	 * ³	—	—	—
赤ちゃん（笑顔）	 * ³	 * ³	—	—	—
赤ちゃん（寝顔）	 * ²	 * ³	—	—	—
こども（動いているとき）	 * ³	 * ³	—	—	—
人以外	 * ²	 * ³			
人以外（動いているとき）	 * ³	 * ³	—	—	—
人以外（近いとき）	 * ²	 * ³	—	—	

*¹ 三脚使用時

*² アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

*³ アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

-      の背景は紺色、 の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。

- [A] モードで撮影中は、「人」「人（顔の一部が暗いとき）」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人（動いているとき）」「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」「人以外（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを [A] 以外に設定しているとき (61、75) や、[水銀灯自動補正] が [入] で自動補正されるシーン (88) では、「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを [A] に設定しているとき、逆光での「人（笑顔）」「こども（動いているとき）」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、[個人認証] を [入] にして、登録されている赤ちゃん（2歳未満）、こども（2歳以上12歳以下）の顔が検出されたときに表示されます (78)。なお、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください (23)。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、[P] モード (135) で撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる    のいずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した 1 枚だけを保存します。
寝顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。 AF 補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	 動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1 回の撮影で 3 枚の画像を連続撮影して保存します。



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。



- [▼] を押したあと [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して  を選ぶと、連続撮影されなくなります。

■ 手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）され、以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正（流し撮り）*
 	マクロ撮影するときの手ブレを補正。また、動画撮影中は  が表示され、動画のマクロ撮影に適した手ブレ補正を実施（ハイブリッド IS）
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
 	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は  が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 (📖 94) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
-  モードでは  にはなりません。

■ 画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

【AUTO】モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、【P】モード（ 135）で撮影することをおすすめします。



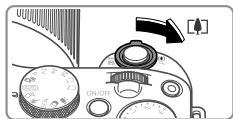
- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして  を表示します（タッチ AF）。

よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 100 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを [📷] 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

(1)



2 もう一度 [📷] 側に押す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（📖 170）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

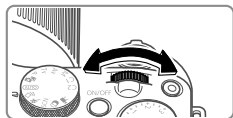


- デジタルズームを使わないようにするには、MENU（📖 43）で [📷 2] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

■ 焦点距離を指定して撮る（ステップズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

24 ～ 600 mm（35mm フィルム換算）の範囲で、代表的な焦点距離に設定して撮影することができます。



- [🔧] ダイアルを時計回りにカチッと音がするまで回すと 24 mm から 28 mm に変わります。さらに [🔧] ダイアルを時計回りに回すと望遠側に、反時計回りに回すと広角側になります。



- 動画の撮影中に [🔧] ダイアルを回しても、ステップズームは動作しません。

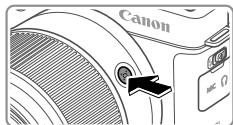


- デジタルズーム（[p.64](#)）の領域では、[🔧] ダイアルを時計回りに回してもデジタルズームの倍率は変えられません。ただし、[🔧] ダイアルを反時計回りに回すと焦点距離は 600 mm になります。

■ 見失った被写体を見つけやすくする（フレーミングアシスト - 探索）

▶ 静止画 ▶ 動画

ズーム中に被写体を見失ったとき、いったんズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくなります。



1 見失った被写体を探す

- [ZOOM] ボタンを押したままにします。
- ズーム倍率が下がり、[ZOOM] ボタンを押す前の表示範囲の目安が白い枠で表示されます。



2 被写体をとらえなおす

- 白い枠の中に被写体が入るようにして、[ZOOM] ボタンから指を放します。
- 手順 1 の白い枠内が画面いっぱいになる倍率になります。



- ズーム倍率を下けている間は、一部の撮影情報は非表示になります。
- 動画撮影中に [ZOOM] ボタンを操作しても白い枠は表示されません。また、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。

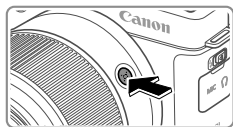


- 手順 1 の画面でシャッターボタンを押すと、そのときのズーム倍率で撮影されます。
- [ZOOM] ボタンを押したままズームレバーを動かすと、白い枠の大きさが変わり、[ZOOM] ボタンを放したあとのズーム倍率を変えることができます。
- [ZOOM] ボタンを押しているときの表示範囲を変えるときは、MENU (43) の [CAMERA 7] タブの [ZOOM表示範囲] で3段階から選べます。
- セルフタイマー (71) でシャッターボタンを全押ししたあとは、[ZOOM] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

被写体の動きに応じて自動でズームさせる（オートズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが人の顔を検出 (159) すると、顔が一定の大きさに保たれるよう自動でズームします。人がカメラに近づくと自動でズーム倍率が下がり、人がカメラから離れると自動でズーム倍率が上がります。また、顔の大きさは変えることができます。



1 [ZOOM] オートモードにする

- [ZOOM] ボタンを押して、すぐに指を放します。
- [ZOOM] が表示されます。
- 顔が検出されると白い枠が表示され、被写体となる人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
- 複数の顔が検出されているときは、主被写体の顔には白い枠、その他の顔には灰色の枠が最大2つまで表示され、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。

2 撮影する

- 撮影後も枠が表示され、自動でズームします。
- もう一度 [□] ボタンを押すと、[□:オート:切] が表示され、解除されます。



- 顔が横や斜めを向いているときやズーム倍率によっては、画面に対する顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 動画撮影中は、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。
- [□:オート:入] にしている間は、一部の撮影情報は非表示になり、一部の撮影機能の設定はできなくなります。
- 動画撮影中は、複数の顔を検出しても複数の人を画面の中におさめるようなオートズームはしません。
- ズームレバーを操作してズーム倍率を変えることもできますが、ズームレバーから指を放すと数秒でもとの倍率に戻ります。
- 連続撮影中は、オートズームしません。



- 上記の手順2で複数の顔が検出されているときは、主被写体となる顔をタッチしたり、[□:□] ボタンを押して選ぶことができます。ただし、動画撮影中は [□:□] を押しても選べません。
- 検出された人が画面の端に動いて画面から消えそうになると、自動でズーム倍率が下がってフレームアウトすることを防ぎます。
- セルフトイマー (71) でシャッターボタンを全押ししたあとは、ズーム倍率は変わりません。
- 被写体の動きや撮影状況によっては、被写体が画面におさまることを優先するため、顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 顔が検出できないときは、所定のズーム位置までズームしたあと、顔が検出されるまでズームを停止します。

画面に対して保たれる顔の大きさを変える



- [⏻オート：入] の状態で、[◀] か [▶] を押すか、[⚙️] ダイアルを回して、目的の項目を選びます。
- 設定した顔の大きさになるよう自動でズームします。

オート	被写体となる人の動きに応じて、画面の中におさまるよう、自動でズームします。 複数の顔が検出されているときは、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
顔	表情がわかるような顔の大きさに保ちます。
上半身	上半身が入るような顔の大きさに保ちます。
全身	全身が入るような顔の大きさに保ちます。
マニュアル	設定した顔の大きさに保ちます。ズームレバーを操作して画面に対する顔の大きさを決め、ズームレバーを放すと設定されます。



- 画面に対して保たれる顔の大きさは、MENU (📖 43) の [📷 7] タブの [⏻オート詳細設定] にある [⏻オートズーム] で変えることもできます。また、この機能は動作させずに、「自動でズームして見失った被写体を見つけやすくする（サーチアシスト）」(📖 70) の機能のみを動作させたいときは、[切] を選びます。
- [顔]、[上半身]、[全身] に設定しているときは、ズームレバーを操作してズーム倍率を変えることはできますが、ズームレバーから指を放すと数秒でもとの倍率に戻ります。
- 顔の大きさを選んだ状態で動画撮影中に [⏻] ボタンを押すと、設定を解除することができます。



- [⏻オート：入] の状態で、[◀] か [▶] をタッチすることでも項目を選ぶことができます。

■ 自動でズームして見失った被写体を見つけやすくする（サーチアシスト）

▶ 静止画 ▶ 動画

ズーム中に被写体を見失ってしまい、被写体を探す動きを検知すると、カメラが自動でズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくなります。

1 [Z] オートモードにする (📖 67)



2 見失った被写体を探す

- 被写体を探してカメラを動かすと、自動でズーム倍率が下がり、被写体が見つかりやすくなります。



3 被写体をとらえなおす

- 被写体を見つけてカメラの動きを止めると、自動でズーム倍率が上がります。



4 撮影する

- もう一度 [Z] ボタンを押すと、[Z]オート：切] が表示され、解除されます。

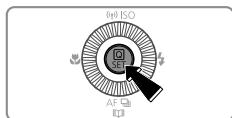


- 検出した顔に [人] が表示されているときは、カメラを動かしても自動でズーム倍率は上がりません。
- 「被写体の動きに応じて自動でズームさせる（オートズーム）」（[67](#)）の機能を「切」にしたときは、検出した顔に [人] が表示され、カメラを動かすと自動でズーム倍率が下がります。
- シャッターボタンを半押ししている間は、ズーム倍率が変わりません。
- この機能は動作させずに、「被写体の動きに応じて自動でズームさせる（オートズーム）」（[67](#)）の機能のみを動作させたいときは、MENU（[43](#)）の [カメラ 7] タブの [オート詳細設定] にある [サーチアシスト] を「切」にします。

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



1 設定する

- [人] を押して、メニュー項目の [人] を選んだあと、項目の [人] を選びます（[41](#)）。
- 設定されると [人] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。



- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、**[MENU]** ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で **[OFF]** を選びます。

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。

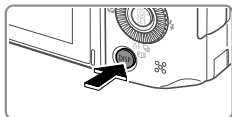


- 「セルフタイマーを使う」の手順 1（[71](#)）の操作で **[ON]** を選びます。
- 設定されると **[ON]** が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2（[71](#)）の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。



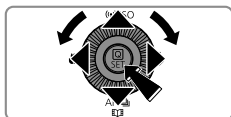
1 [🕒] を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (📖 71) の操作で [🕒] を選び、[DISP] ボタンを押します。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押して時間または枚数を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して数値を選び、[🔍] を押します。
- 設定されると [🕒] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (📖 71) の操作で撮影します。



- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。

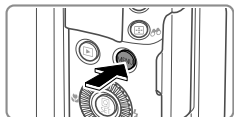


- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

■ 画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの [タッチシャッター] を選び、[入] を選びます (📖 43)。

2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れ、すぐに指を放します。
- シャッター音が鳴り撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



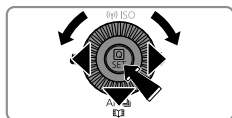
- 撮影した画像が表示されている状態でも、[🔄] をタッチすると、次の撮影ができます。

連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

〔AUTO〕モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」(405) を参照してください。



1 設定する

- [▼] を押したあと、[●] ホイールを回して項目の [] を選び、[●] を押します。
- 設定されると [] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- セルフタイマー (71) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- マルチエリアホワイトバランス (52) は動作しません。また、以下の機能は [切] に固定されます。
 - [水銀灯自動補正] (88)
 - [目つむり検出] (93)
- タッチシャッター機能 (74) では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置と露出で固定されます。



- **[AUTO]** モードでは、手順 1 で [◀] か [▶] を押して項目を選ぶこともできます。

再生したときの表示について

1 回に連続撮影された複数の画像は 1 つのグループにまとめられ (グループ化)、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す **[SET]**  が画面左上に表示されます。



- グループ化された画像を消す (📖 214) と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり (📖 203)、グループ化を解除できます (📖 203)。
- グループ化された画像を保護 (📖 210) すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索 (📖 198) で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて 1 枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集 (📖 205)、拡大 (📖 207)、お気に入り設定 (📖 220)、編集 (📖 225)、印刷 (📖 335)、1 枚ずつの印刷指定 (📖 343)、フォトブック指定 (📖 346) はできません。グループ化された画像を 1 枚表示 (📖 203) にするか、グループ化を解除 (📖 203) してから行ってください。

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO]モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。

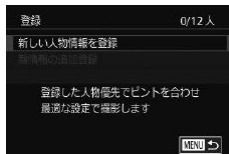
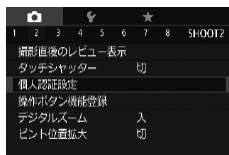
また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき (📖199) にも便利です。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像（顔情報）や、設定した個人情報（名前、誕生日）は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除 (📖84) してください。

■ 人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。

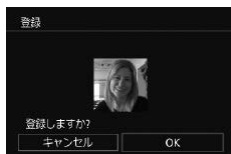


1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[CAM 2] タブの「個人認証設定」を選び、[SET] を押します（43）。
- [▲] か [▼] を押すか [DISP] ホイールを回して「登録」を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [DISP] ホイールを回して「新しい人物情報を登録」を選び、[SET] を押します。

2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。

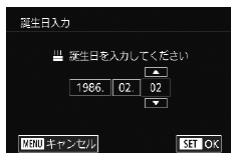


- [登録しますか?] が表示されたら [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- [プロフィール編集] 画面が表示されます。



3 名前と誕生日を登録する

- [SET] を押してキーボードを表示し、名前を入力します (46)。



- 誕生日を登録するときは、[プロフィール編集] 画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [誕生日] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、[SET] を押します。



4 登録する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [保存] を選び、[SET] を押します。
- メッセージが表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[SET] を押します。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 手順 2 の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順 3 で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんやこどものアイコンは表示されません (p.59)。



- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5 つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます (p.78)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大 3 人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます (合計 5 人まで)。



- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。



- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます (P.205)。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします (P.78)。
- 「表示する情報をカスタマイズする」 (P.183) にある「撮影情報」の [✓] を外すと、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 撮影される画像に名前を記録したくないときは、[カメラ] タブの「個人認証設定」の「個人認証」を [切] にします。
- 記録された名前は、再生画面 (簡易情報表示) で確認することができます (P.193)。
- [静止画] モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 連続撮影 (P.75) すると、名前は 1 枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2 枚目以降も 1 枚目と同じ位置に記録されます。

登録した情報を確認／編集する



1 「情報確認／編集」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1 (P.78) の操作で「情報確認／編集」を選び、[SET] を押します。



2 確認／編集する人を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して確認／編集したい人を選び、[SET] を押します。



3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [プロフィール編集] を選び、[SET] を押します。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順3 (78) の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- 顔情報を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [顔情報の一覧] を選び、[SET] を押します。表示された画面で [SET] を押したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して顔情報を選び、[SET] を押すと「消去しますか？」が表示されます。[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選んで [SET] を押すと顔情報を消去できます。

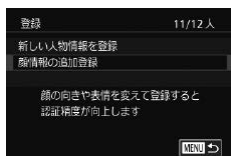


- [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。

また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 「顔情報の追加登録」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (78) の操作で「顔情報の追加登録」を選び、[F5] を押します。



2 入れ換える人の名前を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して入れ換える人の名前を選び、[F5] を押します。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [F5] ホイールを回して [OK] を選び、[F5] を押します。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。



3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [F5] ホイールを回して入れ換えたい顔情報を選び、[F5] を押します。



4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2 (書78) の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して (書81) から、新しい顔情報を登録 (書78) してください。

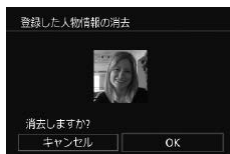
登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報 (顔情報、名前、誕生日) を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。



1 「登録情報の消去」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (書78) の操作で「登録情報の消去」を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して人物情報を消す人の名前を選び、[SET] を押します。
- 「消去しますか?」が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [SET] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



- 登録情報を消すと、名前の表示 (📖 197) や、入れ換え (📖 205)、検索 (📖 199) はできなくなります。



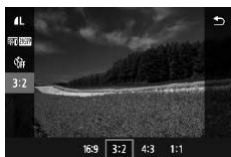
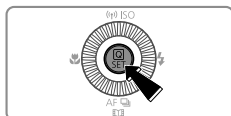
- 画像に記録された名前を消すこともできます (📖 206)。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

■ 縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- **[]** を押して、メニュー項目の **[3:2]** を選んだあと、目的の項目を選びます (書 41)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で **[3:2]** を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面と同じ縦横比です。35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- **[]** モードでは設定できません。
- MENU (書 43) の **[1]** タブの「静止画アスペクト比」で設定することもできます。

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画質を 4 種類から選べます。それぞれの記録画質で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数」(403) を参照してください。



- [L] を押して、メニュー項目の [L] を選び、目的の項目を選びます (41)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。

用紙の大きさに選ぶときの目安 (縦横比 3:2)

	A2 相当
	A3 ~ A5 相当
	2L 判、はがき、L 判相当
	電子メールで画像を送るときなど

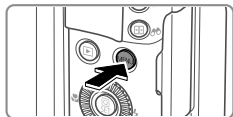


- [A] モードでは設定できません。
- MENU (43) の [1] タブの [記録画質] で設定することもできます。

■ 水銀灯で緑がかった部分を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

〔AUTO〕モードでは、水銀灯の灯りの影響を受ける夜景シーンなどを撮影すると、撮影した画像の被写体や背景全体が緑がかってしまうことがあります。この緑がかることを撮影時に自動補正することができます（マルチエリアホワイトバランス）。



- 〔MENU〕ボタンを押して、〔📷 6〕タブの〔水銀灯自動補正〕を選んだあと、〔入〕を選びます（📖 43）。
- 設定されると〔🌞〕が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で〔切〕を選びます。



- 水銀灯の灯りの影響を受けるシーンでの撮影が終わったあとは、〔水銀灯自動補正〕を〔切〕に戻すことをおすすめします。〔入〕のままにしておくと、水銀灯の影響ではない緑がかった色が誤って補正されることがあります。

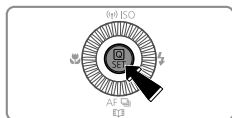


- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをすることをおすすめします。
- 連続撮影（📖 75）では〔切〕に固定されます。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の画質（画像サイズとフレームレート）を設定できます。なお、フレームレートとは 1 秒間に何コマ記録するかのことです。ビデオ方式の設定（[429](#)）によって自動的に切り換わります。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「1 枚のカードに撮影できる時間」（[404](#)）を参照してください。



- **[**] を押して、メニュー項目の動画の画質を選んだあと、目的の項目を選びます（[41](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

ビデオ方式の設定が [NTSC] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
[ 59.94P]	1920 x 1080 画素	59.94 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。 [ 59.94P] では、よりなめらかな動画を撮影できます。
[ 29.97P]	1920 x 1080 画素	29.97 フレーム / 秒	
[ 23.98P]	1920 x 1080 画素	23.98 フレーム / 秒	
[ 29.97P]	1280 x 720 画素	29.97 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
[ 29.97P]	640 x 480 画素	29.97 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。

ビデオ方式の設定が [PAL] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
 50.00P	1920 x 1080 画素	50.00 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。
 25.00P	1920 x 1080 画素	25.00 フレーム / 秒	
 25.00P	1280 x 720 画素	25.00 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
 25.00P	640 x 480 画素	25.00 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。



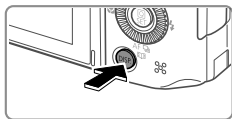
-  **29.97P**  **25.00P** では画面の左右に、 **59.94P**  **29.97P**  **23.98P**  **29.97P**  **50.00P**  **25.00P**  **25.00P** では画面の上下に、黒帯が表示されます。この部分は撮影されません。
- MENU (📖 43) の [ 8] タブの [動画の画質] で設定することもできます。

撮影の手助けとなる機能を使う

水準器を使う

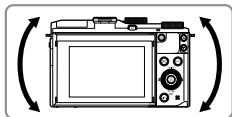
▶ 静止画 ▶ 動画

画面に水準器を表示できます。撮影するときにカメラが水平になっているかを確認するための目安としてご使用ください。



1 水準器を表示する

- [DISP] ボタンを押して水準器を表示します。



2 カメラを水平にする

- 水準器の中心が緑色になるように、カメラの左右の傾きを調整します。



- 手順 1 で水準器が表示されないときは、[MENU] ボタンを押して [カメラ 1] タブの「撮影情報表示設定」の設定を確認してください。
- カメラを前後方向に傾けすぎると、水準器が灰色になり使えなくなります。
- 動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します(書 299)。
- [A] モードでは設定できません。

■ ピント位置を拡大表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの [ピント位置拡大] を選び、[入] を選びます (📖 43)。



2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。

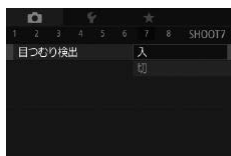
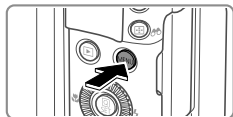


- 次のときはシャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。
 - 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたとき
 - デジタルズーム (📖 64) をしているとき
 - テレビに表示しているとき (📖 315)
- [A] モードでは設定できません。

目をつむった人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、 を表示してお知らせします。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[ 7] タブの「目つむり検出」を選び、[入] を選びます (📖 43)。

2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、 が点滅表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



- [] で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒]、または [ホールド] にしているとき (📖 97) は、目をつむった人の顔に枠が表示されます。
- [] で連続撮影されたとき (📖 61) は、動作しません。
- 連続撮影 (📖 75) を設定すると [切] 固定になります。

■ 手ブレ補正の設定を変える

手ブレ補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能が動作しないよう〔切〕にすることをおすすめします。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 4] タブの〔手ブレ補正設定〕を選び、[ⓘ] を押します (📖 43)。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して〔手ブレ補正〕を選び [ⓘ] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して目的の項目を選びます (📖 43)。

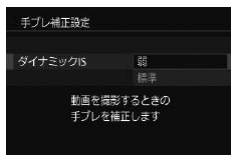
入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーンIS）されます (📖 62)。
切	手ブレ補正を切ります。

撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

手ブレ補正の効果を弱めることで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- 「手ブレ補正を使わないようにする」(94) の手順 1 の操作で「手ブレ補正設定」画面を表示します。
- 「ダイナミック IS」を選んでから、「弱」を選びます (43)。



- 「手ブレ補正」が「切」のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。
- 「手ブレ補正」を「切」にしているとき (94) は「ダイナミック IS」は選べません。
- 動画の画質が「VGA 29.97P」(NTSC 時) または「VGA 25.00P」(PAL 時) のときは、「標準」に固定されます。

自分好みに機能を変える

MENU の [📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖43）を参照してください。

AF 補助光（ランプ）が光らないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます（📖43）。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

赤目緩和機能を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

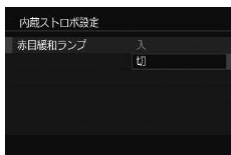
暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ制御] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] を選び、[🔍] を押します（📖43）。

2 設定する

- [赤目緩和ランプ] を選んでから、[切] を選びます（📖43）。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。



■ 撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

撮影直後の画像表示時間を変える

1 【撮影直後のレビュー表示】 画面を表示する

- 【MENU】 ボタンを押して、[📷 2] タブの【撮影直後のレビュー表示】を選び、[🔍] を押します (📖 43)。



2 設定する

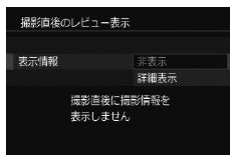
- 【表示時間】を選んでから、目的の内容を選びます (📖 43)。
- 戻すときは、上記の操作で【クイック】を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。

- 1 [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒] または [ホールド] にする (📖 97)



2 設定する

- [表示情報] を選んでから、目的の内容を選びます (📖 43)。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖 363) になります。



- [表示時間] (📖 97) で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに **[DISP.]** ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、[表示情報] で設定した内容は変わりません。また、**[🗑]** ボタンを押して画像を消すことができます。

いろいろな撮影モード

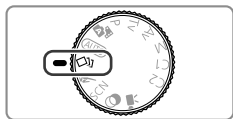
いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



多彩な写真を撮る(クリエイティブショット)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1回の撮影で6枚の静止画を記録します。カメラまかせて多彩な静止画を撮ることができます。



1 [□] モードにする

- モードダイヤルを [□] にします。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、シャッター音が3回鳴って撮影されます。
- 6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像の表示中に [Ⓢ] を押すと、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されるようになります。この状態で [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び [Ⓢ] を押すと、選んだ画像が画面いっぱいに表示されます。
- [MENU] ボタンを押すともとの表示に戻ります。



- ストロボが発光するときは撮影に時間がかかりますが、3回シャッター音が鳴るまでカメラを構え続けてください。
- 撮影した6枚の画像はグループ化 (P.203) されます。
- 6枚の画像が手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

効果を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

[>] モードで記録する画像の効果を選ぶことができます。



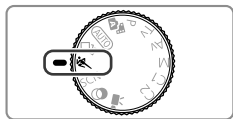
- [>] モードを選んだあと、[>] ダイヤルを回して効果を選びます。

 オート	すべての効果
 レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
 モノクロ	単色の効果
 スペシャル	特殊で大胆な効果
 ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

動きのある被写体を撮る（スポーツ）

▶ 静止画 ▶ 動画

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。



1 【S】モードにする

- モードダイヤルを【S】にします。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます。

3 撮影する

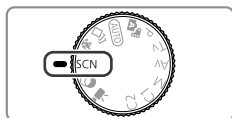
- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 【S】モードでは、撮影シーンによってはISO感度（📖140）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- 【S】モードでの撮影範囲は、「撮影距離」（📖405）を参照してください。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。

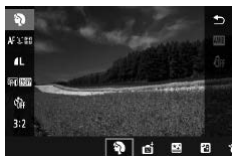
いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルを **[SCN]** にします。



2 撮影モードを選ぶ

- **[Q]** を押してメニュー項目の **[📷]** を選び、撮影モードを選びます (📖41)。

3 撮影する



📷 人を撮る (ポートレート)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



📷 三脚を使わずに夜景を撮る (手持ち夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



❄️ 雪景色で撮る（スノー）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。



💣 花火を撮る（打上げ花火）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



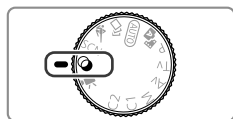
- [P] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [P] モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度 (📖 140) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [P] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [P] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [🌟] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 94)。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[P] モードではなく、[AUTO] モードで撮影することをおすすめします (📖 52)。
- [🌟] モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。
- MENU (📖 43) の [📷 1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。

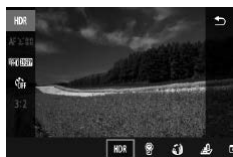
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 【】 モードにする

- モードダイヤルを 【】 にします。



2 撮影モードを選ぶ

- 【】 を押してメニュー項目の [HDR] を選び、撮影モードを選びます (41)。

3 撮影する

鮮烈な色で撮る（極彩色）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。



- 【】 【】 モードでは、撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- MENU (📖 43) の [📷 1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。

■ 明暗差の大きいシーンで撮る（ハイダイナミックレンジ）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2 (📖 105) の操作で [HDR] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、3 枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。



- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正]を[切]にして撮影することをおすすめします（104）。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 明るい撮影シーンでは、シャッターボタンを半押したときに[ND]が表示され、最適な明るさになるように自動的に調整されることがあります。

効果をつける



- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（105）の操作で [HDR] を選びます。
- [太陽] ダイヤルを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ビンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

■ 色あせた写真のような色調で撮る（ノスタルジック）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色を薄くしたり、粗くしたりすることにより、長い年月が経過したような写真にすることができます。効果は、5段階から選べます。

1 [🔍] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖 105）の操作で [🔍] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🔍] ダイアルを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 撮影画面では、色調は変わりますが、粗さは表示されません。画像の粗さを確認するときは、再生して確認してください（📖 190）。
- 動画では画像の粗さは変わりません。

■ 魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚眼] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖 105）の操作で [魚眼] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🌞] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

■ ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [△] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 105）の操作で [△] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [▲] を押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、[●] ホイールを回して枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [⚙️] ダイアルを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [SET] を押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を1分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約12秒
10x	約6秒
20x	約3秒

30 フレーム / 秒で再生



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順2の画面で[◀]か[▶]を押すと枠が縦になります。[▲]か[▼]を押すと枠が横に戻ります。
- 枠が横のときは[▲]か[▼]、枠が縦のときは[◀]か[▶]を押して、枠の位置を変えます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で[4:3]を選んだときは[$\overline{\text{E}}\text{VGA}$]に、[16:9]を選んだときは[$\overline{\text{E}}\text{HD}$]に固定されます（86）。
- 手順2、3の画面の表示中や動画の撮影中は、[□]ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。



- 画面をタッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

■ トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖 105）の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [🌈] ダイアルを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

■ 被写体を浮き立たせて撮る（背景ぼかし）

▶ 静止画 ▶ 動画

背景をぼかして被写体を浮き立たせた画像を撮影することができます。背景ぼかしに適した設定で2枚の画像を連続撮影し、レンズ効果による背景ぼかしのほか、被写体や撮影シーンに応じて画像処理による背景ぼかしも行われます。

1 [🌲] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順1～2（📖105）の操作で [🌲] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると2枚連続して撮影されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 画像処理が行われなかったときは、[🌲] が点滅表示されます。



- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 「被写体に近づく」「被写体と背景の距離を離す」とぼかし効果が得られやすくなります。
- 撮影後、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- [🔧] ダイアルを回して効果のレベルを選ぶことができます。

■ 優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖 105）の操作で [👤] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🔧] ダイヤルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

■ 単色で撮る（モノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 105）の操作で [] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [] ダイヤルを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

■ 顔を見つけて撮る（オートシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

笑顔を見つけて撮る（スマイル）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



1 〔L〕を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（[103](#)）の操作で〔L〕を選んだあと、〔▲〕を押します。
- 〔◀〕か〔▶〕を押すか〔DISC〕ホイールを回して〔L〕を選び、〔SET〕を押します。
- 撮影準備に入り、[笑顔を検出中です]が表示されます。



2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- 〔▼〕を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度〔▼〕を押すと笑顔の検出を再開します。



- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。



- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順 1 で [⤴] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (P.93) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (P.103) の操作で [📷] を選んだあと [ISO] をタッチして設定画面を表示し、[⤴] をタッチしたあと、同じ項目か [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

ウインクしたら撮る (ウインクセルフタイマー)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウインクを検出すると、約 2 秒後に撮影されます。



1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (P.103) の操作で [📷] を選んだあと、[▲] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🔄] ホイールを回して [📷] を選び、[SET] を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- 画面の顔をタッチして、ウインクする人を選び (タッチ AF)、シャッターボタンを半押しします。
- ウインクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押する

- 撮影準備に入り、[ウインクすると撮影します] が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



4 カメラに向かってウインクする

- 枠が表示された人のウインクが検出されると、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で [C] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (103) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、[C] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (103) の操作で [C] を選んだあと [ISO] をタッチして設定画面を表示し、[C] をタッチしたあと、同じ項目か [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出（ 159）されると、約 2 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。



1 [DSC] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（ 103）の操作で [DSC] を選んだあと、[▲] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して [DSC] を選び、[SET] を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り「顔が増えたら撮影します」が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で[]を選んだあと、[▲]か[▼]を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (103) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、[] ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。



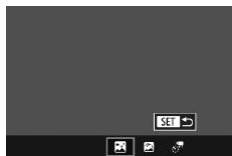
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (103) の操作で[]を選んだあと[ISO]をタッチして設定画面を表示し、[]をタッチしたあと、同じ項目か[SET]をタッチすることでも撮影モードを選べます。

■ 星空を撮る (星空)

星空と夜景を撮る (星空夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

星空を夜景と一緒にきれいに撮影できます。星空をきれいに見せるために、カメラが自動で星の光を強調する処理を行います。



1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (103) の操作で[]を選んだあと、[▲]を押します。
- [◀]か[▶]を押すか[]ホイールを回して[]を選び、[]を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 カメラを固定する

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定します。



3 撮影する



- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。



- MENU の [📷 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 300)。
- MENU (📖 43) の [📷 5] タブの [星の強調] が [シャープ] のときは、星の光を明るく撮影できます。星がたくさんあるシーンで明るい星を強調させたいときは、[星の強調] を [ソフト] にします。明るい星は大きく、暗い星は薄く処理することで、より印象的な画像にすることができます。星の光を強調する処理をしないときは、[切] にします。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (📖 151) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。

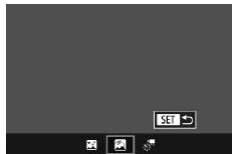


- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (📖 103) の操作で [📷] を選んだあと [ISO] をタッチして設定画面を表示し、[📷] をタッチしたあと、同じ項目が [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星が動いた軌跡を撮る（星空軌跡）

▶ 静止画 ▶ 動画

星が動いた軌跡を 1 枚の画像として記録できます。撮影中は、カメラが決めたシャッタースピードや撮影枚数で連続撮影が行われます。なお、1 回の撮影に最長約 2 時間かかりますので、事前にバッテリーの残量を確認してください。



1 [星の軌跡] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (103) の操作で [星の軌跡] を選んだあと、[▲] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [ホイール] を回して [星の軌跡] を選び、[SET] を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 撮影時間を設定する

- [太陽のアイコン] ダイアルを回して撮影時間を選びます。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、撮影画面に「処理中」がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 60 秒かかることがあります。



- 撮影の途中でバッテリーの残量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。



- MENU の [🔧 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 300)。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (📖 151) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。



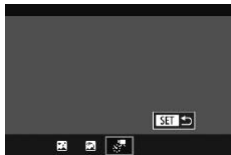
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (📖 103) の操作で [🌌] を選んだあと [ISO] をタッチして設定画面を表示し、[📷] をタッチしたあと、同じ項目が [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星の動きを撮る (星空インターバル動画)

▶ 静止画 ▶ 動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげることで 1 つの動画を作成し、星の動きを早送りで見ることができます。また、撮影間隔や撮影時間などを変えることができます。

なお、1 回の撮影に長時間かかり、多くの画像を撮影しますので、事前にバッテリーの残量とカードの空き容量を確認してください。



1 [🌌] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (📖 103) の操作で [🌌] を選んだあと、[▲] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [🌌] を選び、[📷] を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。



2 動画の設定をする

- [DISP] ボタンを押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、目的の内容を選びます。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。

4 明るさを確認する

- シャッターボタンを全押しして、1 枚の静止画を撮影します。
- 再生モード (📖 189) にして撮影した画像の明るさを確認します。
- 思いどおりの明るさにならないときは、撮影画面で露出補正ダイヤルを回して露出を調整したあと、もう一度シャッターボタンを全押しして 1 枚の静止画を撮影し、画像の明るさを確認します。



5 撮影する

- 動画ボタンを押すと、撮影画面に [処理中] がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 60 秒かかることがあります。
- 撮影中は、エコモード (📖 300) になります。

項目	設定できる項目	内容
効果		軌跡など、動画の効果を選ぶことができます。
撮影間隔	15 秒、30 秒、1 分	撮影する間隔を選ぶことができます。
フレームレート	$\frac{1}{4.99}$ $\frac{1}{29.97}$ (NTSC 時) $\frac{1}{2.50}$ $\frac{1}{25.00}$ (PAL 時)	動画のフレームレートを 選ぶことができます。
撮影時間	60 分、90 分、 120 分、制限なし	撮影時間を選ぶことができます。 [制限なし] のときは、バッテリー残量が なくなるまで撮影することが できます。

撮影間隔およびフレームレートと再生時間の目安（動画を 60 分撮影したとき）

撮影間隔	フレームレート		再生時間
	NTSC 時	PAL 時	
15 秒	$\frac{1}{4.99}$	$\frac{1}{2.50}$	16 秒
15 秒	$\frac{1}{29.97}$	$\frac{1}{25.00}$	8 秒
30 秒	$\frac{1}{4.99}$	$\frac{1}{2.50}$	8 秒
30 秒	$\frac{1}{29.97}$	$\frac{1}{25.00}$	4 秒
1 分	$\frac{1}{4.99}$	$\frac{1}{2.50}$	4 秒
1 分	$\frac{1}{29.97}$	$\frac{1}{25.00}$	2 秒



- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 撮影の途中でバッテリーの残量やカードの空き容量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 効果を にしているときは、撮影間隔の [1 分] は選べません。



- 音声は録音されません。
- MENU の [📷 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 300)。
- MENU (📖 43) の [📷 5] タブの [星空インターバル動画設定] を選んでも、手順 2 の画面を表示することができます。
- MENU (📖 43) の [📷 5] タブの [📷 素材の保存] を [入] にすると、連続撮影した動画作成前の画像を保存することができます。なお、これらの画像は 1 つのグループにまとめられ (グループ化)、再生したときは連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す [SET] が画面左上に表示されます。グループ化された画像を消す (📖 214) と、グループ内のすべての画像が消されますので、十分注意してください。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (📖 151) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。
- AC アダプターキット (別売) (📖 312) をお使いのときは、手順 2 の操作で [撮影時間] を [制限なし] に設定しても、最長約 8 時間で撮影が終わります。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (📖 103) の操作で [📷] を選んだあと [ISO] をタッチして設定画面を表示し、[📷] をタッチしたあと、同じ項目か [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

色あいを調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

 モードのときに色あいを手動で調整することができます。

1 撮影モードを選ぶ

-  ( 120)  ( 122)  ( 123) のいずれかを選びます。



2 色あい調整を選ぶ

-  を押して、メニュー項目の  を選びます ( 41)。

3 補正する

-  ダイアルを回すか  か  を押して B と A の補正量を調整し、 を押します。
- 画面に  が表示されます。



- B はブルー、A はアンバーの意味です。
- 手順2の画面で  ボタンを押すと詳細な設定もできます ( 146)。



- 手順2のバーをタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順2の画面で  をタッチして詳細な設定画面を表示することもできます ( 146)。

いろいろな動画を撮る

■ [P] モードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを [P] にします。
- [Q/SET] を押してメニュー項目の [P] を選び、[P] を選びます (書41)。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。

2 目的に応じて各機能を設定する (書366)

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。



- MENU (書43) の [カメラ 1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。



- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、[O] リングを回すとピント位置を調整することができます。

動画撮影中に静止画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の撮影中でも静止画を撮ることができます（フォト・イン・ムービー）。



1 動画撮影中に、ピントを合わせる

- [📷] が表示されていることを確認し、シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出が再調整されます（電子音は鳴りません）。
- 動画撮影は継続されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- 静止画が撮影されます。



- カードの記録速度が遅いときや、内部メモリーの空きがないときは、静止画を撮れないことがあります。
 - [📷]（点滅）：書き込み処理中です。点滅が終わると撮影できます。
 - [📷❌]：静止画を撮れません。
 - [📷❌] モードでは、動画撮影中に [📷❌] が表示されて、静止画を撮れません。
- 静止画を撮影したとき、動画には撮影した静止画とシャッター音が記録されます。
- ストロボは発光しません。
- 静止画を撮ると内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影が止まることがあります。



- [FHD 59.94P] [FHD 29.97P] [FHD 23.98P] [FHD 29.97P] [FHD 50.00P] [FHD 25.00P] [FHD 25.00P] (縦横比 16:9) のときは、縦横比は [16:9] の静止画が撮影されます。
- [VGA 29.97P] [VGA 25.00P] (縦横比 4:3) のときは、縦横比は [4:3] の静止画が撮影されます。
- 静止画の縦横比の設定が、動画の縦横比と異なるときは、[L] で撮影されます。
- ISO 感度は [AUTO] になります。
- [ダイナミック IS] で [標準] を選んでいるとき (p.95) は、動画よりも広い範囲が撮影されます。

明るさを固定したり変えて撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で変えられます。



1 露出を固定する

- [✱] をタッチして露出を固定します。
- もう一度 [✱] をタッチすると解除されます。

2 露出を変える

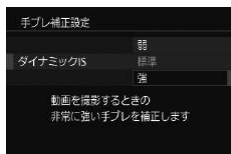
- 露出補正ダイヤルを回します。

3 撮影する (p.128)

非常に強い手ブレを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

動きながら動画を撮影するときなどの非常に強い手ブレを補正します。
[標準] よりも画面に表示される範囲が変わり、さらに被写体が大きくなります。



- 「撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る」の操作 (📖 95) で [強] を選びます。



- [手ブレ補正] を [切] にしているときは、[ダイナミック IS] は選べません。
- 動画の画質が [📺 29.97P] (NTSC 時) または [📺 25.00P] (PAL 時) のときは、[標準] に固定されます。

■ 音声を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

録音レベル（録音音量）を変える

〔オート〕では音割れを軽減するため録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

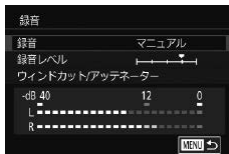


1 〔録音〕画面を表示する

- 〔MENU〕ボタンを押して、〔 8〕タブの〔録音〕を選び、〔〕を押します（ 43）。

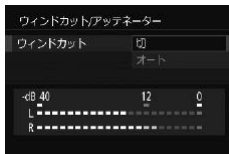
2 設定する

- 〔録音〕を選んだあと、〔マニュアル〕を選びます（ 43）。
- 〔録音レベル〕を選んだあと、目的の録音レベルに設定します。
- 戻すときは、上記の操作で〔オート〕を選びます。



ウィンドカットを使わない

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときに、ウィンドカットを使わないようにできます。



- 「録音レベル（録音音量）を変える」の手順 1（ 132）の操作で〔録音〕画面を表示します。
- 〔ウィンドカット / アッテネーター〕を選び、〔〕を押します。
- 〔ウィンドカット〕を選び、〔切〕を選びます（ 43）。

アッテネーターを使う

大音響の環境で、音割れを軽減できます。ただし、静かな環境で録音したときは、音が小さくなります。

- 「録音レベル（録音音量）を変える」の手順1（[132](#)）の操作で「録音」画面を表示します。
- 「ウィンドカット / アッテネーター」を選び、「」を押します。
- 「アッテネーター」を選び、「オート」または「入」を選びます（[43](#)）。

ショートクリップ動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

数秒間の短編動画に、早送りやスローのほか、リプレイ再生などの効果をつけることができます。作成された動画は、ストーリーハイライト（[237](#)）のアルバムの対象になります。

1 モードにする

- モードダイヤルを「」にします。
- 「」を押してメニュー項目の「」を選び、「」を選びます（[41](#)）。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。



2 撮影時間と再生時の効果を設定する

- 「」を押します。
- 「」ホイールを回して撮影時間（4～6秒）を設定し、「」ダイヤルを回して効果（[134](#)）を設定します。

3 撮影する（[128](#)）

- 撮影時間に連動したバーが表示されます。

再生時の効果

 2x	早送り再生される動画を撮影します。
 1x	通常の再生速度の動画を撮影します。
 1/2x	スロー再生される動画を撮影します。
	通常再生に続いて、最後の2秒が逆再生とリプレイされる動画を撮影します。撮影時には、撮影時間に連動したバーには最後の2秒の目安が表示されます。



- 撮影された動画に音声は記録されません。
- 動画の画質は **[HD 29.97P]** (NTSC 時) または **[HD 25.00P]** (PAL 時) (89、 90) に固定されます。

iFrame 動画で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

iFrame (アイフレーム) に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。



1 を選ぶ

- モードダイヤルを **[iFrame]** にします。
- **[MENU]** を押してメニュー項目の **[iFrame]** を選び、**[iFrame]** を選びます (41)。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。

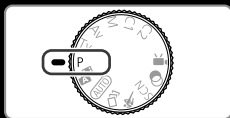
2 撮影する (128)



- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。
- 動画の画質は **[HD 29.97P]** (NTSC 時) または **[HD 25.00P]** (PAL 時) (89、 90) に固定されます。

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（ 366）。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを **[P]** にします。

2 目的に応じて各機能を設定 (📖 137 ~ 📖 172) し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり (📖 140)、被写体が暗いときにストロボを発光させる (📖 165) と、適正露出が得られることがあります。
- **[P]** モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、**[Q]** メニュー (📖 41) や MENU (📖 43) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、－ 3 段から＋ 3 段の範囲で補正できます。



- 画面の表示を見ながら、露出補正ダイヤルを回して明るさを補正します。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画 ▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて、[＊] ボタンを押します。
- [＊] が表示され、露出が固定されます。
- もう一度 [＊] ボタンを押すと、[＊] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [⚙️] ダイアルを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます ( 41)。
- 設定した項目が表示されます。

 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
 スポット測光	[]（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。スポット測光枠は AF フレームに連動させることもできます ( 139)。

スポット測光枠を AF フレームに連動させる

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [[・]] にする

- 「測光方式を変える」(138) の操作で [[・]] を選びます。



2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[6] タブの [スポット測光枠] を選び、[AF 枠連動] を選びます (43)。
- AF フレームを動かす (158) と、スポット測光枠も連動して移動します。



- [AF 方式] が [Li + 追尾優先 AF] (159) のときは設定できません。

ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- [▲] を押したあと、[- 設定した項目が表示されます。

AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定
125、160、200	晴天の屋外
250、320、400、500、640、800	曇り空、夕方
1000、1250、1600、2000、 2500、3200、4000、5000、6400	夜景、暗い室内
8000、10000、12800	

ISO 感度は数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボ撮影できる距離が長くなりますが、画像が粗くなります。
- MENU (43) の [ 5] タブの [ISO 感度設定] にある [ISO 感度] でも設定することができます。

ISO オートの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を [400] ～ [12800] の範囲から選んだり、ISO 感度の上がりかたを 3 種類から選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ISO 感度設定] を選び、[] を押します (📖 43)。
- [ISO オート設定] を選び、[] を押します。



2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の内容を選びます (📖 43)。



- [ISO オート設定] 画面は、[▲] を押して ISO 感度を選んでいるときに [MENU] ボタンを押すことでも表示できます。

ノイズ低減の強さを変える（高感度時 NR）

ノイズ低減（Noise Reduction）の強さを [弱] [標準] [強] の 3 種類から選べます。特に高い ISO 感度で撮影するときには有効です。



- [MENU] ボタンを押して [6] タブの [高感度時 NR] を選んだあと、目的の内容を選びます (📖 43)。

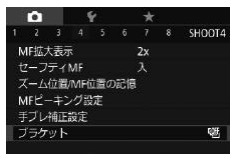


- RAW 画像を記録するとき (📖 170) は設定できません。

露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に 3 枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で設定できます。



1 [] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して [] 4 タブの [ブラケット] を選んだあと、[] を選び、[DISP.] ボタンを押します。



2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して設定します。



- [] (165) 以外では、AEB 撮影はできません。
- 連続撮影 (75) はできません。



- 露出補正 (137) をしているときは、設定している値が中心になります。
- 露出補正 (137) の画面で、[DISP.] ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
- [] (73) で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は 3 枚です。
- [目つむり検出] (93) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。



- 手順 2 の設定画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び、[DISP.] をタッチすることでも設定できます。

ダイナミックレンジ補正（D レンジ補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るすぎて白トビしてしまう部分をおさえて撮影することができます。



- [M] を押して、メニュー項目の [OFF] を選び、目的の項目を選びます（[41](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

項目	内容	設定できる ISO 感度 (140)
[OFF]	—	
[AUTO]	白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、 [125] ～ [12800]
[200%]	[OFF] のときに対して、約 2 倍の明るさまで白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、 [250] ～ [6400]



- ISO 感度 ([140](#)) を「設定できる ISO 感度」以外に設定しているときは、範囲内の ISO 感度が変わります。

暗部補正

▶ 静止画 ▶ 動画

暗すぎて黒ツブレしてしまう部分がおさえられるよう自動補正して撮影することができます。



- **[SET]** を押して、メニュー項目の **[Off]** を選び、項目の **[Auto]** を選びます (p.41)。
- 設定されると **[Auto]** が表示されます。

ND フィルターを使う

光量を 1/8 に減少 (3 段分) するため、シャッタースピードを遅くしたり、絞り数値を小さくできます。



- **[SET]** を押して、メニュー項目の **[Off]** を選び、項目の **[ND]** を選びます (p.41)。
- 設定されると **[ND]** が表示されます。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、**[手ブレ補正]** を **[切]** にして撮影することをおすすめします (p.94)。



- ND は、Neutral Density (ニュートラルデンシティー) の略です。

色に関する機能を使う

■ 自然な色あいにする（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- **[]** を押して、メニュー項目の **[AWB]** を選び、目的の項目を選びます（ 41）。
- 設定した項目が表示されます。

 オート	撮影シーンに応じて自動設定
 太陽光	晴天の屋外
 日陰	日陰
 くもり	曇り空や薄暮
 電球	電球
 蛍光灯	白色蛍光灯
 蛍光灯 H	昼光色蛍光灯
 ストロボ	ストロボ使用時
 マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）（  146）

マニュアルホワイトバランス

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（[145](#)）の操作で **[DISP]** または **[白データ]** を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、**[DISP]** ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。



- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。



- 上記の画面で **[DISP]** をタッチすることでも白データを取り込みます。

ホワイトバランスを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスを補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（[145](#)）の操作で **[WB]** を選びます。
- **[色温度]** ダイヤルを回して B と A の補正量を調整します。
- 画面に **[WB]** が表示されます。



2 詳細な設定をする

- さらに詳細な設定をするときは、**[MENU]** ボタンを押し、**[** ダイヤルか **[** ホイールを回すか **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押して補正量を調整します。
- 補正量を戻すときは、**[DISP]** ボタンを押します。
- **[** を押すと設定されます。



- 補正量を設定したあとに、「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（ 145）の操作でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。



- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- **[** ダイヤルまたは **[** ホイールを回すだけで B と A の調整画面を表示させるようにもできます（ 184）。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 7 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。
- MENU（ 43）の **[ 6]** タブの **[WB 補正]** でも設定することができます。



- 手順 1 のバーや手順 2 の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順 1 の画面で **[MENU]** をタッチして手順 2 の画面を表示することができます。
- 手順 2 の画面で **[DISP]** をタッチして補正量を戻したり、**[MENU]** をタッチして撮影画面に戻ることができます。

▶ 静止画 ▶ 動画

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- **[]**を押して、メニュー項目の**[]**を選び、目的の項目を選びます (41)。
- 設定した項目が表示されます。

OFF	マイカラー切	—
Av	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
AN	すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
Se	セピア	セピア調になります。
BW	白黒	白黒になります。
AP	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
AL	色白肌	人の肌が色白になります。
AD	褐色肌	人の肌が褐色になります。
AB	あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
AG	あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
AR	あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
AC	カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます(149)。



- [A_{Se}] [A_{BW}] では、ホワイトバランス (145) は設定できません。
- [A_L] [A_D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

カスタムカラー

▶ 静止画 ▶ 動画

画像のコントラスト (明暗差)、シャープネス (鮮鋭度)、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ 5 段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える (マイカラー)」 (148) の操作で [A_C] を選び、[DISP] ボタンを押します。

2 設定する

- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[🔧] ダイアルを回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色 (肌色) になり、左に行くほど弱く／薄く／色白 (肌色) になります。
- [DISP] ボタンを押すと設定されます。



- バーの上をタッチしたりドラッグして値を設定することもできます。

撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

■ 近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

【🌸】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖405）を参照してください。



- [◀] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [🌸] を選び、[SET] を押します。
- 設定されると [🌸] が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[📷] で撮影することをおすすめします（📖72）。

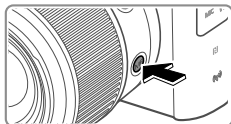


- [◀] を押したあと、[🌸] をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

■ マニュアルフォーカスで撮る

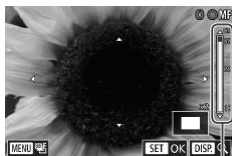
▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「撮影距離」(405)を参照してください。



1 [MF] を選ぶ

- [MF] ボタンを押します。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。



(1)

2 おおよそのピントを合わせる

- MF インジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、[O] リングか [●] ホイールを回しておおよそのピントを合わせ、[Q/SET] を押します。
- [DISP] ボタンを押すと、拡大倍率を変えることができます。
- 拡大表示しているときに [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと、ピント合わせのフレーム位置を移動することができます。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます (セーフティ MF)。
- 解除するときは、[MF] ボタンを押します。



- マニュアルフォーカス中は、AF 方式 (📖 156) は [1 点 AF] 固定、AF フレームの大きさ (📖 158) は [標準] 固定になります。
- デジタルズーム (📖 64)、デジタルテレコンバーター (📖 156) を使用しているとき、テレビに表示しているとき (📖 315) は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- MENU (📖 43) で [📷 4] タブの [MF 拡大表示] で拡大倍率をさらに大きくしたり、拡大表示しないようにすることもできます。
- MENU (📖 43) で [📷 4] タブの [セーフティ MF] で [切] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。



- 手順2の画面で画面をドラッグすると、ピント合わせのフレーム位置を移動することができます。

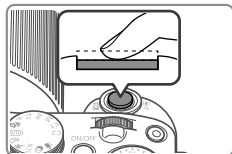
■ ピントを微調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスのあとに、スムーズリングを使ってピントを微調整することができます。

1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[ 3] タブの [AF + MF] を選び、[入] を選びます (📖 43)。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにします。

3 ピントを微調整する

- [0] リングを回すと表示される MF インジケーターの距離表示とピント位置を示すバーを目安に、拡大表示を見ながら [0] リングを回してピントを調整します。
- 拡大表示の倍率を変えるときは、[DISP] ボタンを押します。
- 解除するときには、シャッターボタンから指を離します。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。

ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをやすくすることができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [MF ピーキング設定] を選んだあと、[ピーキング] を選び、[入] を選びます (📖 43)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖 43)。

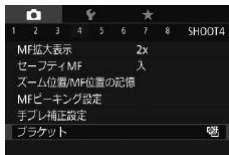


- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

ピント位置を自動的に変えて撮る (フォーカスブラケット撮影)

▶ 静止画 ▶ 動画

マニュアルフォーカスで設定したピント位置、後ろ寄りのピント位置、前寄りのピント位置の順に、3 枚連続で撮影されます。また、ピント位置は 3 段階で設定できます。



1 [4] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [ブラケット] を選び、[4] を選びます (📖 43)。



2 設定する

- [DISP.] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して設定します。



- [●] (📖 165) 以外では、フォーカスブラケット撮影はできません。
- 連続撮影 (📖 75) はできません。



- 「マニュアルフォーカスで撮る」の手順 2 (📖 151) で [MENU] ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
- [📷] (📖 73) で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は 3 枚です。
- [目つむり検出] (📖 93) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

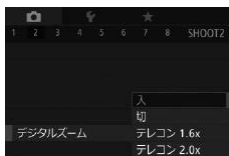


- 手順 2 の画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び、[MENU] をタッチすることでも設定できます。

■ デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の内容を選びます (📖 43)。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- ズームレバーを [📷] 側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっとも拡大する（デジタルズーム）」の手順 2 (📖 64) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

■ AF 方式を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えられます。



- [📷] を押して、メニュー項目の [AF 〇] を選び、目的の項目を選びます (📖 43)。



- MENU (📖 43) の [📷 3] タブの [AF 方式] でも設定できます。

1 点 AF

▶ 静止画 ▶ 動画

1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。また、画面をタッチして枠の位置を変えることができます(📖163)。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと [!] が表示されます。



- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。
- [ピント位置拡大] (📖92) を [入] にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

AF フレームの位置や大きさを変える (1 点 AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

AF 方式が [1 点 AF] のときは、AF フレームの位置や大きさを変えることができます。



1 AF フレームの位置を変える

- 画面をタッチすると、タッチした位置に AF フレームがオレンジ色で表示されます (タッチ AF)。
- [●] ホイールや [🔧] ダイアルを回して AF フレームを移動したり、[▲] [▼] [◀] [▶] を押して微調整することができます。
- [DISP.] ボタンを押すと、AF フレームがもとの位置 (中央) に戻ります。

2 AF フレームの大きさを変える

- [0] リングを回すと、AF フレームが小さくなり、もう一度回すともとの大きさに戻ります。

3 設定を終える

- [SET] を押します。



- デジタルズーム (📖 64) やデジタルテレコンバーター (📖 156) 使用時、マニュアルフォーカス (📖 151) 時は、AF フレームの大きさは標準の大きさになります。



- ボタンを押しても手順 1 の画面を表示することができます。
- ボタンを押したままにしても、AF フレームをもとの位置(中央)に戻すことができます。
- スポット測光枠の位置を AF フレームに連動させることができます (📖 139)。
- AF フレームの大きさは、[MENU] ボタンを押して [📷 3] タブの [AF フレームサイズ] で設定することもできます (📖 43)。



- 手順 2 の画面では、画面をタッチして AF フレームの位置を変えたり、[DISP.] をタッチして AF フレームをもとの位置に戻したり、[SET] をタッチして設定を終えることもできます。

📷+ 追尾優先 AF

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人の顔を検出して、ピント、露出(評価測光時のみ)、色あい([ANWB] 時のみ)を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム(最大 9 個)が表示されます。



- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。なお、縦横比 (86) の設定によって、フレームの最大表示数は変わります。
 - [3:2] [4:3] のときは 31 個
 - [1:1] のときは 25 個
 - [16:9] のときは 21 個
- サーボ AF (160) にして、顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

■ サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンス逃さずに撮影できます。



1 設定する

- [▼] を押したあと、[太陽] ダイアルを回して [SERVO] を選びます。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF 方式でピントと露出を合わせます。
- サーボ AF に設定すると、連続撮影 (75) するときの撮影速度が遅くなります。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を放して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- MENU (43) の [カメラ 2] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- セルフタイマー (71) 使用時は設定できません。



- [AF 方式] が [1 点 AF] のときは、サーボ AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影 (75) ができます。
- MENU (43) の [カメラ 3] タブの [AF 動作] でも設定できます。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 3] タブの [コンティニユアス AF] を選び、[切] を選びます (43)。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。

■ ピントを合わせたい人を選んで撮る（顔セレクト）

▶ 静止画 ▶ 動画

特定の人の顔を選んでピントを合わせ、撮影できます。



1 AF方式を「J + 追尾優先 AF」にする（ 156）

2 顔セレクトモードにする

- カメラを人に向け、 ボタンを押します。
- 「顔セレクト：入」が表示されたあと、主被写体として検出された顔に が表示されます。
- は、人が動いても一定の範囲で追尾します。
- 顔が検出されないと は表示されません。

3 ピントを合わせたい顔を選ぶ

- ボタンを押すと、検出された別の顔に が移動します。
- 検出された顔を一巡すると「顔セレクト：切」が表示され、設定している AF 方式の画面に戻ります。



4 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、 が  に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。



- 【個人認証】を【入】にしている、登録されている人の顔が検出されていてもほかの顔を選んでいると名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（[77](#)）。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチ AF）

▶ 静止画 ▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んでピントを合わせ、撮影できます。



1 AF 方式を【 + 追尾優先 AF】にする（[156](#)）

2 ピントを合わせたい顔または被写体を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。
- 被写体として認識すると電子音が鳴り、 が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。
- 解除するときは、 をタッチします。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、 が緑色の  に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。



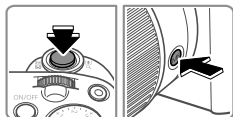


- タッチすると撮影されるときは、画面の **[MENU]** ボタンを押して **[📷 2]** タブの **[タッチシャッター]** を **[切]** にします (📖 43)。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- **[👉]** に設定しても (📖 150)、ピントを合わせる位置を指定すると、**[▲]** に戻ります。
- **[個人認証]** を **[入]** にしていて、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます (📖 77)。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

AF ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、**[MF]** ボタンを押します。
- ピントが固定され、**[MF]** と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたまま、もう一度 **[MF]** ボタンを押すと解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- タッチシャッター機能 (📖 74) と一緒に使えません。



- **[AF 方式]** を **[一点 AF]** にしているときは、動画記録中に画面をタッチしてピント位置を固定することができます。**[↶]** をタッチすると、解除されます。

ストロボに関する機能を使う

■ ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ調光範囲」(P404)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [⚡] スイッチを動かします。



2 設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回してストロボモードを選び、[Ⓢ] を押します。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボがカメラに収納されていると、[▶] を押しても設定画面は表示されません。[⚡] スイッチを動かしてストロボを上げて操作してください。
- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [⚡] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 94)。
- [⚡] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [🔇] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。



- [▶] を押したあと、設定したい項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

■ ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正 (📖 137) と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- ストロボを上げて、[▶] を押したあと、すぐに [🔆] ダイアルを回して補正量を選び、[SET] を押します。
- 設定した補正量が表示されます。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENU (📖 43) の [📷 5] タブの [ストロボ制御] で [セーフティ FE] を [切] に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENU (📖 43) の [📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [調光補正] でも設定することができます。
- MENU (📖 43) の [内蔵ストロボ設定] 画面は、次の方法でも表示できます (外付けストロボ (別売) を取り付けているときを除く)。
 - [▶] を 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押す。



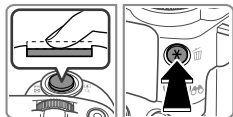
- MENU (📖 43) の [内蔵ストロボ設定] 画面は、[▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

■ FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (137) と同様に固定できます。

1 ストロボを上げて、[⚡] にする (165)



2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、[★] ボタンを押します。
- ストロボが発光し、[★] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [★] ボタンを押すと、[★] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[★] が消え解除されます。



- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。

ストロボ発光のタイミングを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ストロボ制御] を選び、[] を押します (📖 43)。



2 設定する

- [シンクロ設定] を選んでから、目的の項目を選びます (📖 43)。

先幕	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕	撮影終了直前にストロボが発光します。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、8種類の組み合わせから選べます。また、RAW 画像（[170](#)）を記録するかどうかも設定できます。それぞれの記録画質で1枚のカードに撮影できる枚数については「1枚のカードに撮影できる枚数」（[403](#)）を参照してください。



- 「記録画質を変える」（[87](#)）の操作で設定します。



- [\[L\]](#) [\[L\]](#) は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[\[L\]](#) の方が高画質です。[\[L\]](#) では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。

RAW 画像を記録する

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

JPEG 画像	最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW 画像	カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできないため、ソフトウェア「Digital Photo Professional」（ 331 ）を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。



- [Ⓢ] を押して、メニュー項目の [L] を選びます (41)。
- RAW 画像だけを記録するときは、内容で [RAW] を選びます。
- JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、内容で JPEG の記録画質を選んだあと、[DISP] ボタンを押して [RAW] に [✓] を付けます。元に戻すときは、同じ手順で [RAW] の [✓] を外します。



- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア (331) をお使いください。
- RAW 画像を記録するときは、デジタルズーム (64) は [切] 固定になります。また、ノイズ低減の強さ (141)、ダイナミックレンジ補正 (143)、暗部補正 (144)、マイカラー (148) は設定できません。



- 記録画素数や撮影できる枚数については、「1 枚のカードに撮影できる枚数」(403) を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。

メニューから操作する



- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 1] タブの [記録画質] を選び、[SET] を押します (書43)。
- [歯車] ダイヤルを回して [RAW 画像設定] で [RAW] を選ぶと RAW 画像も同時記録されます。[-] を選ぶと JPEG 画像だけを記録する設定になります。
- [◀] か [▶] を押すか [ホイール] ホイールを回して [JPEG 画像設定] で記録画素数と圧縮率を選びます。[-] を選ぶと、RAW 画像だけを記録する設定になります。
- [SET] を押すと設定されてメニュー画面に戻ります。



- [RAW 画像設定] と [JPEG 画像設定] の両方を同時に [-] に設定することはできません。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

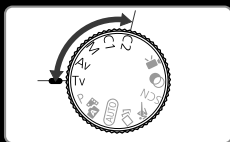
撮影される瞬間のみ手ブレを補正するように設定できます。



- 「手ブレ補正を使わないようにする」(書94) の操作で [撮影時] を選びます。

Tv、Av、M、C1、C2 モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る ([Tv] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。設定できるシャッタースピードは「シャッタースピード」(書406)を参照してください。

1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルを **[Tv]** にします。



2 シャッタースピードを設定する

-  ダイヤルを回してシャッタースピードを設定します。

シャッタースピード (秒)	設定できる ISO 感度 (書140)
30 ~ 1.3	[AUTO]、[125] ~ [3200]
1 ~ 1/2000	[AUTO]、[125] ~ [12800]



- シャッタースピードが遅いときなど撮影条件によっては、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (書94)。
- ストロボ発光時のシャッタースピードは、設定した値より遅い速度に自動設定されて撮影されることがあります。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます (セーフティシフトも使えます (書175))。



- **[Tv]** は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る（[Av] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。

設定できる絞り数値は「絞り」（ 406）を参照してください。

1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを **[Av]** にします。

2 絞り数値を設定する

-  ダイアルを回して絞り数値を設定します。



- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（下記））。



- **[Av]** は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- **[Tv]**、**[Av]** モードのとき、**[MENU]** ボタンを押して、 タブの **[セーフティシフト]** を **[入]** にする（ 43）と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。ただし、ストロボ発光時は機能しません。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る ([M] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

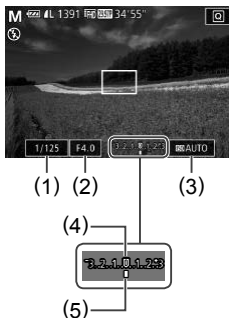
設定できるシャッタースピードや絞り数値は「シャッタースピード」(406) や「絞り」(406) を参照してください。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- [] ダイアルを回してシャッタースピード (1) を設定します。
- [] ホイールを回して絞り数値 (2) を設定します。
- [] を押して、ISO 感度 (3) を選び、[] ダイアルを回して設定します。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマーク (5) が移動し、標準露出 (4) からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度が決まって画面の明るさが変わります。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。



シャッタースピード (秒)	設定できる ISO 感度 (140)
[BULB]、30 ~ 1.3	[AUTO]、[125] ~ [3200]
1 ~ 1/2000	[AUTO]、[125] ~ [12800]



- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [⚡] にすると画面の明るさは変わりません。



- [M] は、Manual (マニュアル) の略です。
- 適正露出は設定している測光方式 (📖 138) で算出されます。
- ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは次の操作が行えます。
 - 露出補正ダイヤルを回して露出を補正する。
 - [✳] ボタンを押すと、ISO 感度が固定されて画面の明るさが変わる。

長時間露光（バルブ）撮影

バルブ撮影は、シャッターボタンを押している間だけ露光を行う機能です。

1 バルブ撮影に設定する

- 「シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード）」（ 176）の手順 1～3 の操作で、シャッタースピードを [BULB] に設定します。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 94）。



- リモート撮影（ 289）機能またはリモートスイッチ（別売）（ 320）を使うとシャッターボタンを押すときに発生するカメラのブレを防ぐことができます。



- [タッチシャッター] を [入] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

[Tv] [Av] [M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 発光モードを設定する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ストロボ制御] を選び、[] を押します (📖 43)。
- [▲] か [▼] を押して [発光モード] を選び、[] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [マニュアル] を選んだあと [] を押します。



2 設定する

- ストロボを上げて [▶] を押したあと、すぐに [] ダイアルを回して発光量を選び、[] を押します。
- 設定されると発光量が表示されます。
[] : 小、[] : 中、[] : 大



- ストロボ発光量は、MENU (📖 43) の [5] タブの [ストロボ制御] にある [発光量] でも設定することができます。
- MENU (📖 43) の [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - [▶] を 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押す。



- MENU (📖 43) の [ストロボ制御] 画面は、ストロボを上げた状態で [▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。設定できるシャッタースピードは「シャッタースピード」(406)、絞り数値は「絞り」(406)、ISO 感度は「ISO 感度を変える」(140) を参照してください。

1 [P] モードにする

- モードダイヤルを [P] にします。
- [MENU] を押してメニュー項目の [P] を選び、[P] を選びます (41)。



2 設定する

- シャッタースピードと ISO 感度は、[▲] を押して設定する項目を選んでから、[太陽] ダイヤルを回して設定します。
- 絞り数値は、[0] ホイールを回して設定します。

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 撮影中は、[▼] を押すたびに設定する項目が切り換わり、[0] リングを回して値を変えることができます。



- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、撮影前に露出補正ダイヤルを回して露出を補正することもできます。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度を確認できます。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。



- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、[◀] か [▶] をタッチして設定することもできます。
- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、[O] リングを回すとピント位置が調整できます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

情報の表示内容を設定する

撮影画面で [DISP] ボタンを押したときに切り換える画面を設定します。表示する情報をカスタマイズすることもできます。

1 設定画面を表示する

- [📷 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [切り換え設定] を選び、[SET] を押します (📖43)。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して表示させない画面表示を選び [SET] を押して [✓] を外します。もう一度 [SET] を押すと [✓] が付いて表示されるようになります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順2で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- すべての [✓] をはすことはできません。

表示する情報をカスタマイズする



- 「情報の表示内容を設定する」(182)の手順 1 ～ 2 の操作で[カスタム表示 1] または [カスタム表示 2] を選び、[DISP] ボタンを押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示させる情報表示を選び、[Q SET] を押して [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押して [切り換え設定] 画面に戻ると、表示イメージを確認できます。

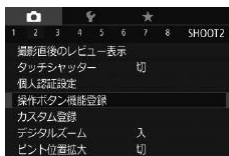


- [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [グリッド] で、より細かいグリッドに変えることができます。
- 動画モードでは、[グリッド] で [2.35:1] [1.85:1] [1.75:1] [1.66:1] [4:3] を選ぶこともできます。ただし、動画の画質を [VGA 29.97P] にしているときは、選べません。

■ 操作部材に機能を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

[0] リング / [☀️] ダイアル / [⦿] ホイールの機能を変えたり、[S] ボタン、[P] ボタン、動画ボタン、[MF] ボタンによく使う機能を登録することができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの「操作ボタン機能登録」を選び、[SET] を押します（📖 43）。



2 設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [☀️] ダイアルか [⦿] ホイールを回して登録先のダイヤルやボタンを選び、[SET] を押します。
- [0] リング / [☀️] ダイアル / [⦿] ホイールに登録するときは、[▲] か [▼] を押すか [⦿] ホイールを回して撮影モードや操作部材を選んだあと、[◀] か [▶] を押して撮影モードや機能を選び、[MENU] ボタンを押します。
- [S] ボタン、[P] ボタン、[🎥] ボタン、[MF] ボタンに登録するときは、[SET] を押して表示された画面で、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [☀️] ダイアルか [⦿] ホイールを回して登録する機能を選び、[SET] を押します。

[O] リング /  ダイヤル /  ホイール	[M/🔊] に設定すると、[M] モードのとき  ダイヤルでシャッタースピード、  ホイールで絞り数値を設定できます。
[S] ボタン	ボタンを押したときに登録した機能が呼び出せるようになります。
[ロ] ボタン	
動画ボタン	
[MF] ボタン	



- [S] ボタン、[ロ] ボタン、動画ボタン、[MF] ボタンを初期状態に戻すときは、 [ロ] [🔊] [MF] を選びます。
- アイコン右下の [X] は、設定している撮影モードや設定している機能の状態では使えないことを示しています。
-  では、AF 方式が [1 点 AF] のときに登録したボタンを押すと AF フレームの位置や大きさを変えることができます (📖 157、📖 158)。
-   では、登録したボタンを押すたびに白データの取り込みが行われ (📖 146)、ホワイトバランスも   に設定されます。
- [AFL] では、登録したボタンを押すたびにピント位置が調整されたあと固定され、画面に [AFL] が表示されます。
-  では、登録したボタンを押すと画面の表示が消えます。次のいずれかの操作で復帰します。
 - 電源ボタン以外のボタンを押す。
 - カメラの縦・横の向きを変える。
 - ストロボを開閉する。
 - 液晶モニターを開いてレンズ側に向けるか、レンズ側に向いていた液晶モニターを閉じる。
- 動画ボタンに機能を登録していても、 [🔊] [🔊]  モードにすると、動画を撮影することができます。



- 設定したい項目をタッチし、同じ項目をもう一度タッチするか [MENU] をタッチすることでも設定できます。

撮影の設定を登録する

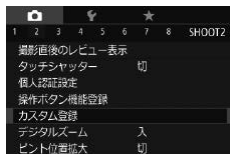
▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを[C1][C2]にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定（セルフタイマーなど）も記憶します。

登録できる設定

- 撮影モード ([P] [Tv] [Av] [M])
- [P] [Tv] [Av] [M] モードで設定できる項目 (📖 137 ~ 📖 176)
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置 (📖 151)
- マイメニューの設定内容 (📖 187)

1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

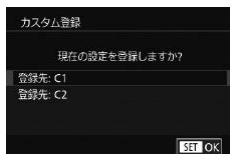


2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの「カスタム登録」を選び、[SET] を押します。

3 登録する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して登録先を選び、[SET] を押します。





- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、**[C1]** **[C2]** を選んで設定を変え、もう一度手順 2～3 を行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。



- **[C1]** **[C2]** に登録した設定を初期状態に戻すときは、モードダイヤルを **[C1]** **[C2]** にして「カメラ設定初期化」(P308)を行います。

よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

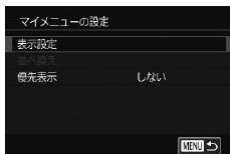
▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影メニューの項目を、**[★ 1]** タブに 6 項目まで登録できます。**[★ 1]** タブに登録すると、項目を 1 つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。



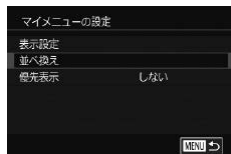
1 設定画面を表示する

- **[MENU]** ボタンを押して、**[★ 1]** タブの「マイメニューの設定」を選んだあと、**[Q/SET]** を押します (P43)。



2 設定する

- **[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して「表示設定」を選び、**[Q/SET]** を押します。
- **[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して登録したい撮影メニュー項目（6 つまで）を選び、**[Q/SET]** を押します。
- **[✓]** が表示されます。
- 登録を解除するときは、**[Q/SET]** を押して **[✓]** を消します。
- **[MENU]** ボタンを押します。



3 項目の表示順を変える

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [並べ換え] を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示順を変えたい項目を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示順を変え、[SET] を押します。
- [MENU] ボタンを押します。



- 手順 2 で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。



- [優先表示] で [する] を選ぶと、撮影モードで [MENU] ボタンを押したときに、すぐにマイメニューを表示することができます。



- [表示設定] の画面では、タッチして登録 / 解除する項目を選ぶこともできます。
- [並べ換え] の画面では、項目をドラッグして表示順を変えることもできます。

再生モード

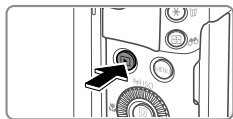
撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



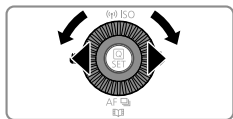
- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

撮影した画像を画面で見ることができます。



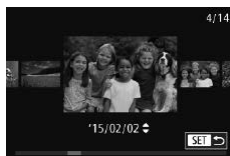
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

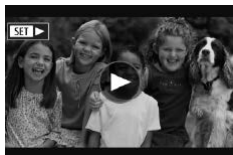


2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [SET] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときには手順 3 に進みます。





3 動画を再生する

- [⏮] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⏮] を押します。



(1)

4 音量を調整する

- [▲] か [▼] を押して調節します。
- 音量バー (1) が消えても、[▲] か [▼] を押して調節することができます。

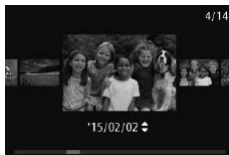
5 一時停止する

- [⏮] を押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生が終わると [SET ▶] が表示されます。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖 43) で [▶ 5] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖 43) で [▶ 5] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖 43) で [▶ 5] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

画面をタッチして操作する

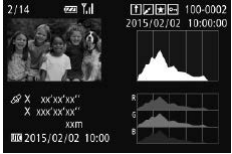


- 画面を左方向にドラッグ（指を画面に触れたまま移動）すると、次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。
- 連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。
- スクロール再生でも、画面を左右にドラッグして画像を選べます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 「見る」の手順 2 (📖 190) で [▶] をタッチすると動画の再生がはじまります。
- 動画の再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。
- 再生中に画面をタッチすると停止して左の画面が表示され、次の操作ができるようになります。
- [🔊] をタッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。音量が 0 のときは [🔊] が表示されます。
- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。
- [▶] をタッチすると再開されます。
- [MENU ➡] をタッチすると「見る」の手順 2 (📖 190) の画面に戻ります。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面表示は、[DISP.] を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（ 363）を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	RGB ヒストグラム / GPS 情報表示



- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

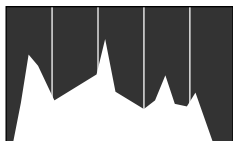
高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」(193) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム

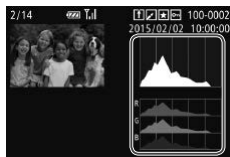
▶ 静止画 ▶ 動画



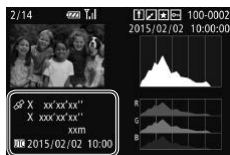
- 「詳細情報表示」(193) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます(182、 361)。

RGB ヒストグラム /GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「RGB ヒストグラム」は画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示していて、色の傾向を確認できます。



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます(288)。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「---」が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。
- GPS 情報がない画像では、「GPS 情報表示」は表示されません。



- 「詳細情報表示」の状態では、画面の下半分を上下にドラッグしても「RGB ヒストグラム」（静止画のみ）や「GPS 情報表示」に切り換えることができます。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モード (📖 55) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [**SET**] が表示された静止画を選び [] を押します。



2 ダイジェスト動画を再生する

- [] を押して、メニュー項目の [] を選びます (📖 41)。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。



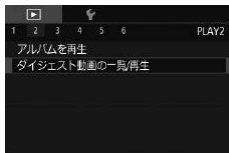
- 情報表示なし (📖 193) にしているときは、一定時間で **[SET 🔄]** が消えます。



- 手順 1 の画面で **[SET 🔄]** をタッチしたあと、手順 2 の画面で **[SET 🔄を再生する]** をタッチすることでもダイジェスト動画を再生できます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶ 2]** タブの **[ダイジェスト動画の一覧 / 再生]** を選び、目的の日付を選びます (📖 43)。

2 再生する

- **[🔄]** を押すと、動画が再生されます。

個人認証機能で検出された人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

簡易情報表示 (📖 193) にすると、個人認証機能 (📖 77) に登録している人として検出された最大 5 人までの名前が表示されます。



- [DISP.] を何回か押して簡易情報表示にしたあと、[◀]か[▶]を押すか[⦿]ホイールを回して画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



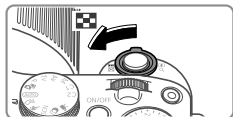
- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、MENU (📖 43) で [▶ 3] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

■ 一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを [旗] 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを [Q] 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- [●] ホイールを回して表示画像を切り換えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- [SET] を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。



- [▲] か [▼] を押したままにするか [●] ホイールを速く回すと、奥行きのある表示になりますが、MENU (43) で [5] タブの [一覧表示の効果] を [切] にすると、この効果をつけずに表示することができます。

画面をタッチして操作する



- 1枚表示の状態で、2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。

- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。



- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。

- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（[210](#)）、消したり（[214](#)）することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像（ 220 ）を表示
☺ 日付	指定した撮影日の画像を表示
👤 人物	顔が検出された画像を表示
📷 静止画／動画	静止画、動画、[📷] モード（ 55 ）で作成された動画のいずれかを表示
👤 名前	登録した人の画像（ 78 ）を表示



1 1つ目の条件を選ぶ

- 1枚表示の状態で [人] ボタンを押したあと、[▲] か [▼] を押して条件を選びます。
- [★] [人] を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、[設定] を押して、手順3に進みます。



2 2つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- 1つ目の条件に [◎] [人] を選んだときは [◀] か [▶] を押して2つ目の条件を選び、[●] ホイールを回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 検索された画像だけの表示に切り換えるときは、[設定] を押して手順3に進みます。
- 1つ目の条件に [人] を選んだときは [設定] を押して表示された画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して人物を選びます。



3 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、[人] ボタンを押します。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 手順 3 で **[DISP]** ボタンを押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき（手順 3）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（ 198）、「拡大して見る」（ 207）、「スライドショーで見る」（ 208）などの操作で画像を見ることがもできます。また、「保護する」（ 210）で [検索した全画像を保護]、「まとめて消す」（ 215）、「印刷指定（DPOF）」（ 342）、「フォトブック指定」（ 346）で [検索したすべての画像を指定] を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存（ 225 ～ 235）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。



- 手順 1、2 で画面をタッチして条件を選ぶこともできます。
- 条件を選んだあと、1 つ目の条件をもう一度タッチすると検索した画像を見ることができます。

電子ダイヤルを使って画像をとばす

▶ 静止画 ▶ 動画

電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像をとばして、目的の画像を素早く探せます。

★ お気に入りジャンプ	お気に入り設定した画像 (📖 220) を表示
📅 日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示
🔢 10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつとばして表示
🔢 100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつとばして表示



1 条件を選ぶ

- 1 枚表示の状態で [🔢] ダイアルを回したあと、[▲] か [▼] を押して条件(ジャンプ方法)を選びます。

2 選んだ条件の画像を見たり、画像をとばす

- [🔢] ダイアルを回すと選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像をとばします。

画面をタッチして操作する



- 2 本の指で左右方向にドラッグすることでも「電子ダイヤルを使って画像をとばす」の手順 1 (📖 202) で選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示できます。



- インデックス表示のときに [] ダイヤルを回すと、1 枚表示のときに選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示します。ただし、[] [] を選んでいるときは、[] になります。

グループ化された画像を 1 枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

連続撮影 (75、 102) された画像、[] モード (100) で撮影された画像、[] モード (123) で保存された素材画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を 1 枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して [SET] が表示された画像を選びます。



2 [] を選ぶ

- [] を押して、メニュー項目の [] を選びます (41)。



3 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回すとグループ内の画像のみが表示されます。
- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、もう一度 [] を押すとグループ再生が解除されます (41)。



- グループ再生の状態（手順 3）で「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（[p.198](#)）ことや、「拡大して見る」（[p.207](#)）ことができます。また、「保護する」（[p.210](#)）で「グループ内の全画像を保護」、「まとめて消す」（[p.215](#)）で「グループ内の全画像」、「印刷指定（DPOF）」（[p.342](#)）で「グループ内の全画像を指定」、「フォトブック指定」（[p.346](#)）で「グループ内の全画像を指定」を選ぶと、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1 枚ずつの画像として表示したいときは、MENU（[p.43](#)）で **[▶ 5]** タブの「グループ表示」を選び、**[切]** を選びます（[p.43](#)）。ただし、グループ化された画像を 1 枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- **[📷]** モードで「多彩な写真を撮る（クリエイティブショット）」の手順 2（[p.100](#)）のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。



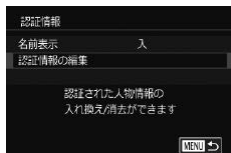
- 手順 1、2 の画面で **[SET]** をタッチすることでもグループ内の画像を 1 枚ずつ見ることができます。

個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの「認証情報」を選びます (図43)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して「認証情報の編集」を選び、[SET] を押します。



2 画像を選ぶ

- 「個人認証機能で検出された人を確認する」(図197) の操作で画像を選び、[SET] を押します。
- 選択された顔にオレンジ色の枠が表示されるので、複数の名前が表示されているときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して入れ換えたい顔を選び、[SET] を押します。



3 編集内容を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して「入れ換え」を選び、[SET] を押します。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 「顔情報を入れ換え／追加する」の手順 2 (📖 83) の操作で入れ換える人の名前を選びます。



- 手順 2 で画像を選んだあと、**SET** をタッチしてオレンジ色の枠を表示し、入れ換えたい顔をタッチすることでも「認証情報の編集」画面を表示できます。
- 手順 3 で編集内容をタッチして選ぶこともできます。

■ 名前を消す

- 「名前を入れ換える」の手順 3 (📖 205) で表示された画面で「消去」を選び、**SET** を押します。
- 「消去しますか？」が表示されたら、**◀** か **▶** を押すか **●** ホイールを回して **OK** を選び、**SET** を押します。

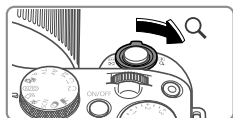


- 「消去しますか？」が表示されたら **OK** をタッチして名前を消すこともできます。

いろいろな方法で画像を見る

■ 拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- ズームレバーを〔Q〕側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約10倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安(1)が表示されます。
- ズームレバーを〔〕側に押すと縮小表示になり、押したままにすると1枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと、表示位置が移動します。
- [●] ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。



- 拡大表示のときに〔MENU〕ボタンを押すと、1枚表示に戻すことができます。
- [SET 

画面をタッチして操作する



- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。

- 同じ動作を繰り返すと、最大約10倍まで画像を拡大できます。

- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。



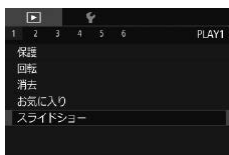
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。

- **[MENU]** をタッチすると1枚表示に戻ります。

■ スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶ 1]** タブの**[スライドショー]** を選びます (書43)。

- **[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して**[スタート]** を選び、**[●]** を押します。

- **[画像読み込み中]** が数秒間表示されたあと、スライドショーが始まります。

- **[MENU]** ボタンを押すと終わります。



● スライドショー中に節電機能 (書35) は動きません。



- 再生中に [⏸] を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押すか [⏮] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押したままにすると早送りできます。
- [設定] を選んで [⏸] を押して表示される画面で、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果（再生効果）を変えられます（📖43）。



- 画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。

保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能（[214](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- を押して、メニュー項目の を選び、 か を押すか ホイールを回して を選ぶと、 が表示されます。
- [OFF] を選ぶと が消え、解除されます。



- カードを初期化（[297](#)）すると、保護された画像も消えます。



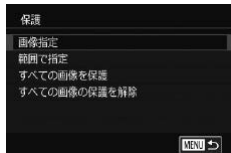
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、 1] タブの [保護] を選びます（[43](#)）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます（[43](#)）。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(210) の操作で「画像指定」を選び、**[SET]** を押します。



2 画像を選び指定する

- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して画像を選び、**[SET]** を押すと **[On]** が表示されます。
- もう一度 **[SET]** を押すと **[On]** が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 保護する

- **[MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[SET]** を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

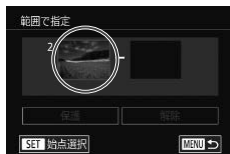


- 手順2で画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができ、**[MENU]** をタッチすると確認画面が表示されます。
- 手順3の画面で **[OK]** をタッチして保護することもできます。

■ 範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(書 210) の操作で「範囲で指定」を選び、[SET] を押します。

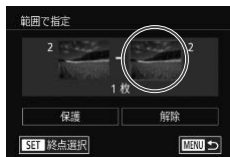


2 始点の画像を指定する

- [SET] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。



3 終点の画像を指定する

- [▶] を押して「終点選択」にし、[SET] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [▼] を押して [保護] を選び、[SET] を押します。



- 手順 2、3 の上側の画面では、[●] ホイールを回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。
- 手順 4 で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。



- 手順 2、3 の上側の画面で画像をタッチして始点、終点の画像を選ぶ画面を表示することができます。
- 手順 4 の画面で [保護] をタッチして画像を保護することもできます。

すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」(210) の操作で [すべての画像を保護] を選び、[SET] を押します。



2 保護する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。

解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順 1 の操作で [すべての画像の保護を解除] を選び、手順 2 の操作を行います。

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないのので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖210)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [🗑️] ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [消去] を選び、[🔍] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[🔍] を押します。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を表示して [🗑️] ボタンを押すと、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW+JPEG消去] が表示されるので、項目を選んで消すことができます。

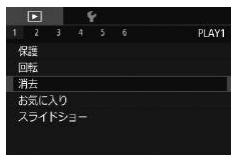


- 手順2の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。
- タッチアクションで消すこともできます (📖223)。

■ まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖210)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの「消去」を選びます (📖43)。



2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して指定方法を選び、[SET] を押します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

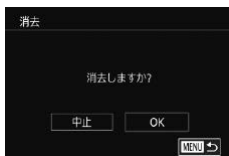
- 「指定方法を選ぶ」(215) の操作で「画像指定」を選び、**[SET]** を押します。



2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2 (211) の操作で画像を選ぶと、**[✓]** が表示されます。
- もう一度 **[SET]** を押すと **[✓]** が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す



- [MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀]** か **[▶]** を押すか **[DISP]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[SET]** を押します。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(215) の操作で「範囲で指定」を選び、[SET] を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2 ~ 3 (212) の操作で指定します。



3 消す

- [▼] を押して「消去」を選び、[SET] を押します。

すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(215) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[SET] を押します。

2 消す

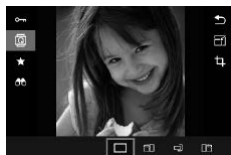
- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [回転] を選ぶ

- [設定] を押して、メニュー項目の [回転] を選びます (📖41)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すと指定した方向に90度単位で回転し、[設定] を押すと設定されます。



- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖219)。

メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [回転] を選びます (📖43)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [Ⓢ] を押すたびに 90 度単位で回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 の画面で [SET] をタッチして画像を回転させたり、[MENU] をタッチしてメニュー画面に戻することもできます。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 5] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (📖43)。



- [切] にすると、画像の回転 (📖218) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

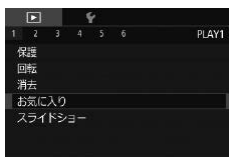
お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(📖190)、「スライドショーで見る」(📖208)、「保護する」(📖210)、「消す」(📖214)、「印刷指定 (DPOF)」(📖342)、「フォトブック指定」(📖346)



- [SET] を押して、メニュー項目の [★] を選びます (📖41)。
- 解除するときには、上記の操作で [OFF] を選び、[SET] を押します。

■ メニューから操作する



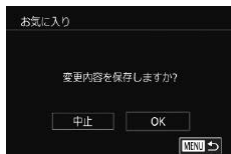
1 「お気に入り」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[📺 1] タブの「お気に入り」を選びます (📖43)。



2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押すと [★] が表示されます。
- もう一度 [SET] を押すと [★] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[⌂] を押します。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- お気に入りに設定した画像は、アルバム (📖 237) を作成するときに抽出されやすくなります。
- Windows 8、Windows 7 をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が 3 (★★★★☆☆) に設定されます (RAW 画像と動画を除く)。



- 手順 2 で画面をタッチすることでも表示中の画像の選択／解除ができます。
- タッチアクションでお気に入りを設定することもできます (📖 223)。

ボタンに機能を登録してかんたんに操作する

[] ボタンによく使う機能を登録しておくと、素早くかんたんに呼び出すことができます。



1 [ショートカット登録] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[ 6] タブの [ショートカット登録] を選びます (書43)。

2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して、登録する項目を選び、[] を押します。

3 登録した機能を使う

- [] ボタンを押すと、登録した機能が呼び出されます。



- 初期状態に戻すときは、[] を選びます。
- [] を登録して [] ボタンを押すと、プリンターに接続していないときは印刷指定され、プリンターに接続しているときは印刷が開始されます。

タッチアクションでかんたんに操作する

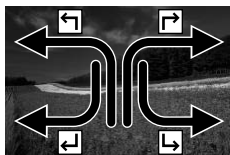
▶ 静止画 ▶ 動画

1枚表示のとき、特定の4方向に画面をドラッグすると、それぞれの方向に登録してある機能を素早く、かんたんに呼び出すことができます。

タッチアクションの機能を使う



- 画面を図のようにドラッグします。
- [←] に登録されている機能が呼び出されます。



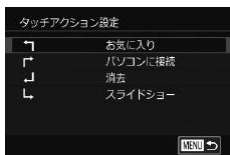
- [↑] [↓] [←] [→] に登録されている機能も同じように画面をドラッグして呼び出すことができます。
- タッチアクションに登録されている機能は変えられます。

タッチアクションの機能を変える

それぞれの方向のドラッグ操作に登録されている機能を、自分好みに変えて使いやすくすることができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 6] タブの [タッチアクション設定] を選びます (43)。



2 タッチアクションに機能を登録する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してタッチアクションの方向を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してタッチアクションに登録する機能を選びます。

登録できる機能

お気に入り	画像をお気に入りに設定したり、解除したりします。
次のお気に入り画像	次のお気に入り設定された画像を表示します。
前のお気に入り画像	前のお気に入り設定された画像を表示します。
次の日の画像	次の日に撮影した最初の画像を表示します。
前の日の画像	前の日に撮影した最初の画像を表示します。
カメラに接続	Wi-Fi 接続の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」(📖 243)を参照してください。
スマートフォンに接続	
パソコンに接続	
プリンターに接続	
Web サービスに接続	Wi-Fi 接続の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」(📖 243)を参照してください。
スライドショー	
消去	
保護	
回転	画像を回転します。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能 (225 ～ 231) は、カードに空き容量がないと使えません。



- **【MENU】** で機能を選んだあと、画像を選んで **【SET】** をタッチすることで、それぞれの機能の編集画面を表示することができます。
- 編集画面に **【MENU】** が表示されているときは、**【MENU】** をタッチすることでも **【MENU】** ボタンと同じ操作ができます。
- 編集画面に **【SET】** が表示されているときは、**【SET】** をタッチすることでも **【SET】** ボタンと同じ操作ができます。

画像を小さくする (リサイズ)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



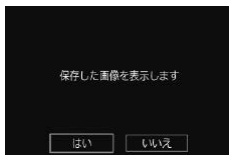
1 大きさを選ぶ

- **【SET】** を押して、メニュー項目の **【K】** を選び、サイズを選びます (41)。
- **【SET】** を押します。



2 新規保存する

- **【新規保存しますか?】** が表示されたら、**【◀】** か **【▶】** を押すか **【●】** ホイールを回して **【OK】** を選び、**【SET】** を押します。
- 別画像として保存されます。



3 画像を確認する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[⏏] を押します。
- 保存した画像が表示されます。



- 記録画素数が [S] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。



- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。



- 手順3で [はい] をタッチすることでも保存した画像を表示できます。

メニューから操作する



1 [リサイズ] を選ぶ

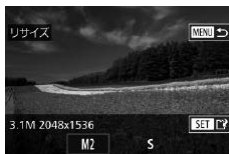
- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [リサイズ] を選びます (43)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[⏏] を押します。

3 大きさを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して大きさを選び、[⏏] を押します。



4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」（225）の手順2の操作を行います。
- **[MENU]** ボタンを押したあと、「画像を小さくする（リサイズ）」（225）の手順3の操作を行います。

■ 画像を切り抜く（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

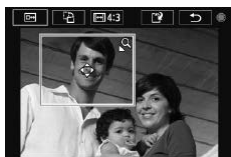
1 設定画面を表示する

- **[]** を押して、メニュー項目の **[]** を選び、**[]** を押します（41）。



2 トリミング枠の大きさ、位置、縦横比を設定する

- 枠の大きさを変えるときは、ズームレバーを動かします。
- 枠を移動するときは、**[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押します。
- 枠の縦／横を変えるときは、**[]** ホイールを回して **[]** を選び、**[]** を押します。
- 枠の縦横の比率を変えるときは、**[]** ホイールを回して **[]** を選びます。**[]** を押すたびに、縦横比（**[3:2]** **[16:9]** **[4:3]** **[1:1]**）が切り換わります。



3 トリミング後のイメージを確認する

- **[]** ホイールを回して **[]** を選びます。
- **[]** を押すたびにトリミング後のイメージと、トリミング枠の表示が交互に切り換わります。

4 新規保存して画像を確認する

-  ホイールを回して  を選び、
 を押します。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順
2～3（ 225）の操作を行います。



- 記録画素数が **[S]** の画像や、リサイズした **[S]** の画像（ 225）は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像にリサイズ処理を行うことはできません。



- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 手順3でトリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- **[MENU]** ボタンを押して  3 タブの **[トリミング]** を選んで  を押したあと、画像を選んでもう一度  を押すことでも、手順2の操作を行えるようになります。
- 個人認証機能（ 77）で撮影した静止画をトリミングしたときは、トリミング後に表示されている人の名前だけが残ります。

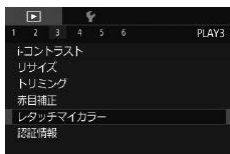


- 手順2の画面で枠をドラッグして移動することもできます。また、2本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりする（ 208）ことでも枠の大きさを変えることができます。
- 手順2の画面上部の     をタッチして操作することもできます。

■ 画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える（マイカラー）」（[148](#)）を参照してください。



1 「レタッチマイカラー」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの「レタッチマイカラー」を選びます（[43](#)）。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。



3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[SET] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 2～3（[225](#)）の操作を行います。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- RAW 画像の色調は変えられません。



- 撮影時のマイカラー（[148](#)）と色調が若干異なることがあります。



- 手順 3 の画面で項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

■ 明るさを補正する (i- コントラスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i- コントラスト] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [i- コントラスト] を選びます (書 43)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。



3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[SET] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 2 ~ 3 (書 225) の操作を行います。



- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあります。
- RAW 画像の補正はできません。



- [オート] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

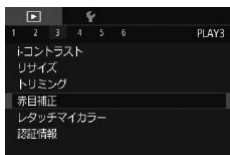


- 手順 3 の画面で、[◀] か [▶] をタッチして項目を選ぶことができます。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [赤目補正] を選びます (📖43)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選びます。

3 補正する

- [🔍] を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(📖207) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [新規保存] を選び、[●] を押します。
- 別画像として保存されます。
- [MENU] ボタンを押したあと、「画像を小さくする (リサイズ)」(📖 225) の手順3の操作を行います。

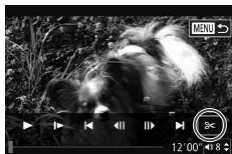


- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- RAW 画像を同時記録した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。



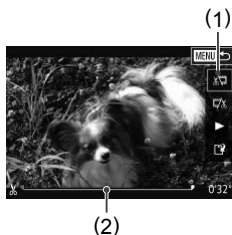
- 手順4の画面で [新規保存] や [上書き保存] をタッチすることでも画像を保存できます。

撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（ 55）を除く）。



1 を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ～ 5（ 190）の操作で  を選び、 を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
-  か  を押して  または  を選びます。
-  か  を押すか  ホイールを回して  を動かすと、編集できるところで  が表示されます。 を選ぶと  位置より前部、 を選ぶと後部が削除されます。
-  を  以外の位置に指定しても、 では 1 つ左側の  位置よりも前部、 では 1 つ右側の  位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

-  か  を押して  を選び、 を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときには手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときには、**[MENU]** ボタンを押したあと、 か  を押すか  ホイールを回して **[OK]** を選び、 を押します。



4 編集した動画を保存する

- [▲] か [▼] を押して [⏏] を選び、[SET] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [新規保存] を選び、[SET] を押します。
- [圧縮せず新規保存] を選び、[SET] を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (📖 312) を使うことをおすすめします。



- 動画編集パネルや動画編集バーをタッチして編集することもできます。

■ ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」の手順2の画面で [F4] を選んだあと [新規保存] を選び、[F9] を押します。
- [圧縮して新規保存] を選び、[F9] を押します。

圧縮後の画質

圧縮前	圧縮後
FullHD 59.94P、FullHD 29.97P	FullHD 29.97P
FullHD 23.98P	FullHD 23.98P
FullHD 50.00P、FullHD 25.00P	FullHD 25.00P



- [VGA 29.97P] [VGA 25.00P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。
- [FullHD 29.97P] [FullHD 25.00P] の動画は、圧縮しても画質は変わりませんが、ファイルサイズは小さくなります。

■ ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[A] モードで作成されたチャプター (155) を 1 つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画 (ダイジェスト動画) を見る」 (195) の操作で [A] モードで作成された動画を再生し、[SET] を押して動画操作パネルを表示します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [◀] か [▶] を選び、[SET] を押します。

2 [📄] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [📄] を選び、[SET] を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [📄] は表示されません。

アルバムを見る（ストーリーハイライト）

▶ 静止画 ▶ 動画

日付や人物の名前などの条件を選ぶとカメラが条件にあった画像を自動で抽出し、それらをスライドショーのようにつなぎあわせたアルバムにして、2～3分程度の短編動画として保存できます。

なお、バッテリーはフル充電してからお使いください。また、アルバムの作成にはカードの空き容量が必要となるため、目安として 16 GB 以上のカードを使用し、1 GB 以上の空き容量を残してください。

アルバムを作成するときに選べる抽出条件

【▼】を押してホーム画面を表示すると、カメラに抽出させる画像の条件を選ぶことができます。なお、お気に入りに設定（📖 220）した画像は、抽出されやすくなります。

日付	ある 1 日に撮った画像の中から抽出して、アルバムにします。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画と同じ撮影日に撮った画像から抽出します。
人物の名前	こどものアルバムを毎月作って成長記録とするなど、月ごとの記録としてアルバムにまとめることができます。 個人認証登録をしてから撮影した画像が対象になります。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画に含まれる人物を中心とした、同じ撮影月に撮った画像から抽出します。
イベント	旅行やパーティーのアルバムを作りたいときにおすすめです。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画の撮影日前後のイベントに含まれる画像から抽出します。
カスタム	指定した画像や日付、個人認証登録された人物に関連する画像から抽出します。



1 画像を選ぶ

- 画像を選び、1 枚表示にします。
- 画像の撮影日時や人物情報によって、手順 3 で選べる抽出条件が変わります。

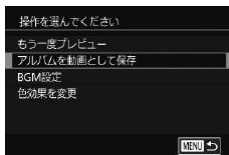
2 ホーム画面を表示する

- [▼] を押します。
- [処理中] が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。



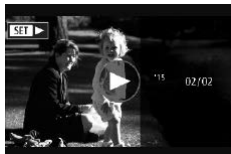
3 プレビュー再生する

- [◀] か [▶] を押して [日付]、[人物の名前]、[イベント] から抽出条件を選び、[SET] を押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、アルバムがプレビュー再生されます。



4 アルバムを保存する

- [▲] か [▼] を押して [アルバムを動画として保存] を選び、[SET] を押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。



5 再生する (📖 190)



- アルバムの対象となるのはこのカメラで撮影した次の画像です。
 - 静止画
 - ダイジェスト動画 (📖 55)
 - 再生時間が 2 秒以上のショートクリップ動画 (📖 133)



- カード残量が足りないときは、アルバムを保存できません。
- 手順 4 の操作で「色効果を変更」を選んでから [🔍] を押すと、色効果を選べます。[◀] か [▶] を押して色効果を選び [🔍] を押したあと、手順 4 の画面で「もう一度プレビュー」を選べると、選んだ色効果でアルバムがプレビュー再生されます。
- 保存したアルバムは、ストーリーハイライトのホーム画面で「アルバム一覧」を選び、[🔍] を押したあと、アルバム一覧画面からアルバムを選び、[🔍] を押して再生することができます。

■ アルバムに BGM をつける

▶ 静止画 ▶ 動画

アルバムを再生したときに流れる BGM を、3 種類から選ぶことができます。

1 BGM をカードに登録する

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」 (📖 237) の手順 1 ~ 4 の操作で [BGM 設定] を選び、[🔍] を押します。
- 初めて使うカードや初期化したときは、左の画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [OK] を選び、[🔍] を押すと約 1 分半で 3 種類の BGM がカードに登録されます。
- BGM を登録したカードをお使いのときは、手順 2 から操作してください。

BGM の登録

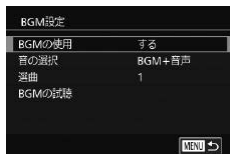
初めて使うカードや初期化したときは
BGM をカードに登録します
登録完了まで数分かかります
実行しますか?

キャンセル

OK

2 アルバムを作成する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（237）の手順 1 ～ 3 の操作でアルバムを作成します。



3 BGM を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して目的の項目を選び [●] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます（43）。

4 保存する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（237）の手順 4 の操作で保存します。



- 一度保存したアルバムに、あとから BGM をつけることはできません。また、アルバムに登録した BGM は、消したり変えることはできません。
- BGM をつけたアルバムは、チャプター編集できません（236）。



- BGM をつけないときは、手順 3 の画面で [BGM の使用] を [しない] にしてください。
- 動画の音声を入れずに BGM のみにするときは、手順 3 の画面で [音の選択] を [BGM のみ] にします。
- 手順 3 の画面で [BGM の試聴] を選んで [●] を押すと、[選曲] で選んだ BGM を試聴することができます。

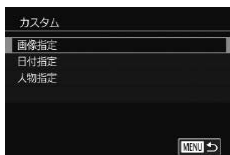
自分好みのアルバムを作る

▶ 静止画 ▶ 動画

自分で画像を選んでアルバムを作ることができます。

1 カスタムを選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（ 237）の手順 1 ～ 3 の操作で「カスタム」を選び、 を押します。

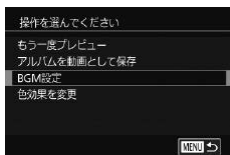


2 指定方法を選ぶ

- 「[画像指定]」、「[日付指定]」または「[人物指定]」を選び、 を押します。

3 対象を指定する

- アルバムにしたい項目を選び を押すと、選ばれた項目には「✓」が表示されます。
- 「[画像指定]」で静止画、ダイジェスト動画またはショートクリップ動画、「[日付指定]」または「[人物指定]」で日付または人物を選んだあと、**[MENU]** ボタンを押します。
- 「[◀]」か「[▶]」を押すか ホイールを回して「[プレビュー]」を選び、 を押します。



4 BGM を選ぶ

- 左の画面が表示されたら「[BGM 設定]」を選び、「アルバムに BGM をつける」（ 239）の操作で BGM をつけたあと、**[MENU]** ボタンを押します。



5 色効果を選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（ 237）の手順 4 の画面で「色効果を変更」を選びます。
- [◀] か [▶] を押して色効果を選び、 を押します。

6 保存する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（ 237）の手順 4 の操作で保存します。



- 「画像指定」を選んだときは、最大 40 枚を指定できます。なお、2 回目以降は「前回の内容をもとにして編集しますか？」が表示され、「はい」を選ぶと前回選んだ静止画に [✓] が入った状態でマルチ再生画面が表示されます。
- 「日付指定」を選んだときは、最大 15 日間の日付を指定できます。
- 画像によっては、色効果がかからないことがあります。

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末

Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。

- パソコン

カメラとパソコンを Wi-Fi で接続し、ソフトウェアを使ってカメラの画像を取り込むことができます。

- Web サービス

キヤノンのオンラインフォトサービス CANON iIMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送ることもできます。

- プリンター

Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。

- 別のカメラ

キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

スマートフォンに画像を送る

カメラとスマートフォンを接続して画像を送るにはいくつかの方法があります。

- NFC 機能を使って接続する (📖 246)
Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
-  ボタンに登録して接続する (📖 250)
 ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続することができます。スマートフォンから画像取り込みの操作 (📖 250) をするときにおすすめです。なお、 ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖 252)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料) をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細 (対応するスマートフォンや機能など) については、弊社 Web サイトで確認してください。



- キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラをお持ちで、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続されているかたは、スマートフォン用のアプリケーションを「CameraWindow」から「Camera Connect」に変えることをおすすめします。

■ NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

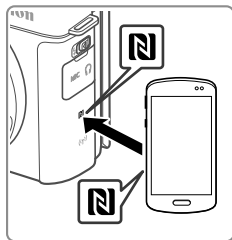
Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードまたは電源を切っているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することもできます (P288)。また、最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、一覧表示で送信する画像を選ぶ画面が表示されるので、画像を選んで送信できます。送信後は接続は自動で切断されます。

ここでは、まず、撮影モードまたは電源を切っているときの接続について説明します。

撮影モード／電源を切っているときの NFC 接続

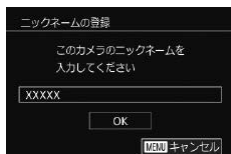


1 Camera Connect をインストールする

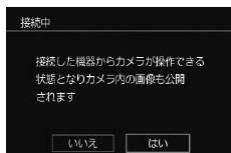
- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。Camera Connect のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。

2 接続する

- カメラの電源が切れているか、撮影モードであることを確認します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラが自動で起動します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



- スマートフォンで Camera Connect が起動します。
- スマートフォンとカメラが自動で接続します。



3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[SET] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



4 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[SET] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。

- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。



- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - 電源を切っているときに接続しようとすると、カメラの電源を入れるよう、スマートフォンにメッセージが表示されることがあります。このときは、カメラの電源を入れてからタッチしなおしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- 手順 3 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 3 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (📖 291)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖 246)。
- NFC に対応したスマートフォンでも [N] がありません。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 279)。
- MENU (📖 43) で [🔧 4] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [切] にすると NFC 接続しないようにできます。

再生モードでの NFC 接続



- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (246) とカメラの  (N マーク) 同士をタッチします。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、 を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度  を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか  ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。
- [◀] か [▶] を押して [送信] を選び、 を押します。
- 画像が送信されます。送信後は自動で接続が切断されます。



- 接続中、カメラの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「NFC 対応のスマートフォンに画像を送る」(246) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。
- 送信される画像のサイズをあらかじめ設定しておくことができます (279)。

■ ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る

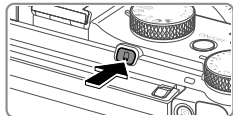
 ボタンを押してスマートフォンと接続すると、次回からは  ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(255)。



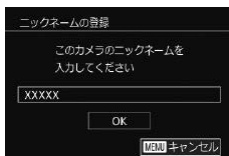
1 Camera Connect をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。

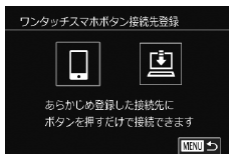


2 ボタンを押す

-  ボタンを押します。

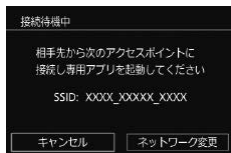


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか  ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。



3 を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか  ホイールを回して  を選び、 を押します。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。



5 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。
- カメラがスマートフォンを認識すると、スマートフォンを選択する画面がカメラに表示されます。



6 接続するスマートフォンを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してスマートフォンの名前を選び、[SET] を押します。
- スマートフォンが接続され、カメラの画面にスマートフォンの名前が表示されます (約 1 分後に画面は消えます)。



7 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して接続を切断すると、カメラの電源は自動的に切れます。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖250)。
- MENU (📖43) で [🔧 4] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[パスワード] を [入] にすると、手順 3 の画面に [パスワード] が表示されるようになり、セキュリティを強化できます。このときは、手順 4 でスマートフォンを操作するときに、カメラに表示されたパスワードをパスワード欄に入力してください。
- [📱] ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。ほかのスマートフォンを [📱] ボタンに登録するときは、MENU (📖43) の [🔧 4] タブの [ワンタッチスマホボタン設定] で登録済みのスマートフォンを解除してから登録してください。
- NFC に対応したスマートフォンでも  がありません。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。

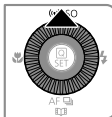
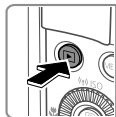
■ Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンに登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (📖255)。



1 Camera Connect をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] を選びます (📖250)。



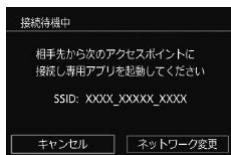
3 [] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [] を選び、[SET] を押します。

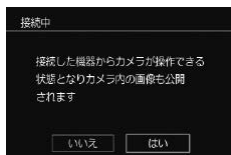


4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[SET] を押します。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(250) の手順 4 ～ 6 の操作で接続するスマートフォンを選びます。



5 公開設定する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[SET] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



6 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[送信] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[送信] を押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順 1 から繰り返します。



- 手順 5 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 5 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (291)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [送信] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (43) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (279)。

ほかのアクセスポイントを使う

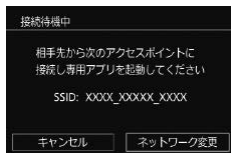
☐ ボタンや Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。

1 接続待機の状態にする

- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(250) の手順 1 ～ 3 または「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(252) の手順 1 ～ 4 の操作で接続待機中の画面を表示します。



2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する



3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [ネットワーク変更] を選び、[ⓘ] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



4 アクセスポイントに接続してスマートフォンを選ぶ

- WPS に対応したアクセスポイントでは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(261) の手順 5 ～ 8 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。
- WPS に対応していないアクセスポイントでは、「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(265) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。

5 公開設定して画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖252)の手順 5～6 の操作で公開設定して、画像を送ります。

■ 接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(📖250)の手順 3 や、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖252)の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、表示された画面で「カメラアクセスポイントモード」を選びます。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖255)の手順 5 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖255)の手順 4 から操作してください。

パソコンに画像を取り込む

■ パソコンを登録するための準備をする

パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.9
- Mac OS X 10.8.2 以降



- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N (欧州版) / KN (韓国版) では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。詳しくは、次の Web サイトで確認してください。
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730>

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、「<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>」に接続します。
- ソフトウェアをダウンロードします。



2 インストールをはじめる

- [おまかせインストール] をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の [完了] または [再起動] をクリックします。



- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。



- ソフトウェアをアンインストール（削除）するときは以下の操作を行います。
 - Windows のときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] のあと、アンインストールしたいソフトウェアを選びます。
 - Mac OS のときは、[アプリケーション] フォルダ ▶ [Canon Utilities] フォルダを選んだあと、アンインストールしたいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動し、ゴミ箱を空にします。

Wi-Fi 接続するための設定をする (Windows のみ)

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定を行ってください。



1 パソコンがアクセスポイントに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- [スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [Wi-Fi 接続のための設定] の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。



- 手順 2 のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
 - メディアストリーミングを有効にする
Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
 - ネットワーク探索を有効にする
パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
 - ICMP (Internet Control Message Protocol) を有効にする
ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
 - UPnP (Universal Plug & Play) を有効にする
ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティソフトの設定を確認してください。

■ カメラとパソコンと接続して画像を取り込む

既存のアクセスポイントにカメラを Wi-Fi 接続します。

お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「Wi-Fi」(401) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき (261) と対応していないとき (265) で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。取り扱いには十分ご注意ください。



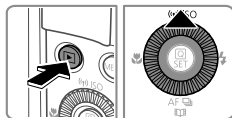
- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (43) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。

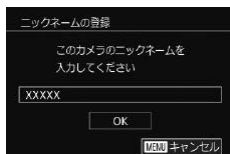
1 パソコンがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- 確認方法はそれぞれの機器およびアクセスポイントの使用説明書を参照してください。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。

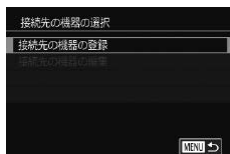


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

3 [パソコン] を選ぶ

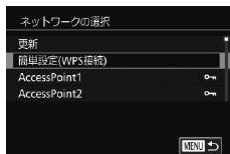


- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [パソコン] を選び、[SET] を押します。



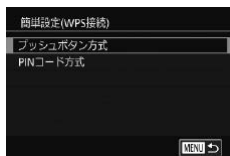
4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[SET] を押します。



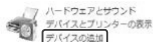
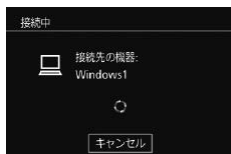
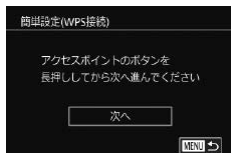
5 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [簡単設定 (WPS 接続)] を選び、[SET] を押します。



6 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [プッシュボタン方式] を選び、[SET] を押します。



7 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- カメラの [WPS] を押して次に進みます。
- カメラがアクセスポイントに接続し、そのアクセスポイントに接続している機器の一覧が [接続先の機器の選択] 画面に表示されます。

8 接続先の機器を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [WPS] ホイールを回して接続先の機器の名前を選び、[WPS] を押します。

9 ドライバーをインストールする (Windows の初回接続時のみ)

- カメラにこの画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスの追加] をクリックします。

- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ドライバーのインストールが始まります。
- ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、[自動再生] 画面が表示されます。このとき、カメラの液晶画面には何も表示されなくなります。



10 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックすると、CameraWindow が表示されます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

11 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、[OK] をクリックします。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは Digital Photo Professional、動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [SET] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (43) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (261)。
- パソコンとの接続中、カメラの画面には何も表示されません。
- Mac OS で CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 手順 6 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

一覧に表示されたアクセスポイントを使う

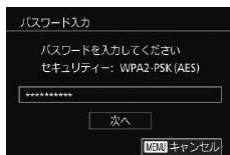
1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (261) の手順 1 ~ 4 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



2 アクセスポイントを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してネットワーク (アクセスポイント) を選び、[SET] を押します。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- を押してキーボードを表示し、パスワードを入力します (261)。
- か を押すか ホイールを回して を選び、 を押します。



4 [自動] を選ぶ

- か を押すか ホイールを回して を選び、 を押します。
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (261) の手順 8 以降の操作で、パソコンと接続して画像を取り込みます。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。手順 2 で を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、 か を押すか ホイールを回して を選び、 を押します。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(261) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- そのアクセスポイントを使って接続するときは、接続先の機器がそのアクセスポイントに接続されていることを確認し、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(261) の手順 8 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(261) の手順 5 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(265) の手順 2 から操作してください。

■ 利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAY を登録する

CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるようにした上で、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。



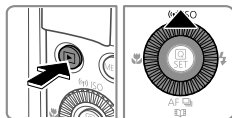
1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスします。
- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。また、CANON iMAGE GATEWAY のアカウントをお持ちでないときは、画面の指示にしたがって会員登録（無料）を行ってください。



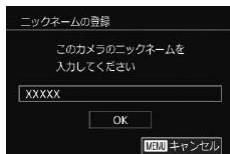
2 カメラのタイプを選ぶ

- このカメラは、Wi-Fi メニューに [☁] が表示される機種です。
- [☁] を選ぶと、認証コード入力画面が表示されます。この画面には、手順 3～6 でカメラを操作して表示される認証コードを入力するので、手順 7 までそのままにしておいてください。



3 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。

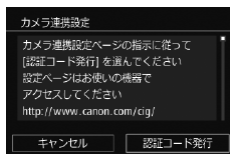


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



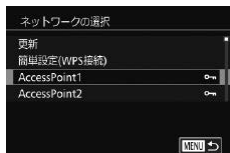
4 [クラウド] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [クラウド] を選び、[SET] を押します。



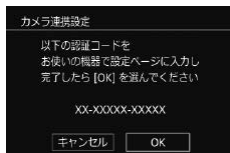
5 [認証コード発行] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [認証コード発行] を選び、[SET] を押します。



6 アクセスポイントへの接続をはじめる

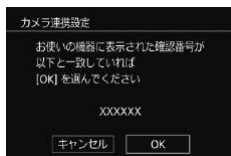
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(冊261) の手順 5～7 または 「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(冊265) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。
- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続すると、認証コードが表示されます。
- 手順 7 が完了するまでこの画面を表示させておいてください。





7 認証コードを入力する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、カメラに表示された認証コードを入力し、次へ進みます。
- 数字 6 桁の確認番号が表示されます。



8 確認番号を確認して設定を終える

- 手順 6 の 2 つ目の画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [SET] を押すと、確認番号が表示されます。
- 画面表示された確認番号が、パソコンまたはスマートフォンに表示された確認番号と一致していることを確認します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- パソコンまたはスマートフォンを操作して設定を終えます。



- [雲] (284) と CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加され、[雲] が [雲] になります。
- パソコンまたはスマートフォンには、完了画面が表示されます。続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(272) の手順 2 から操作してください。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 3 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖269)。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。

他の Web サービスを登録する

CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。なお、事前に、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録する必要があります (📖269)。



1 Web サービスの設定画面を表示する

- 「CANON iIMAGE GATEWAY を登録する」 (📖269) の手順 1 の操作で CANON iIMAGE GATEWAY にログインし、Web サービスの設定画面を表示します。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



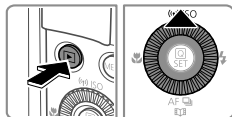
3 [☁] を選ぶ

- 再生モードで [▲] を押して Wi-Fi メニューを表示します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [☁] を選び、[SET] を押します。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

■ Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [] ボタンを押して電源を入れます。
- [] を押します。



2 接続先を選ぶ

- [] か [] を押すか [] ホイールを回して接続先の Web サービスのアイコンを選び [] を押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、[] か [] を押すか [] ホイールを回して項目を選び [] を押します。



3 画像を送る

- [] ホイールを回して送信したい画像を選び、[] か [] を押して、[この画像を送信] を選び、[] を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで [] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると [OK] が表示され、[] を押すと再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます（ 279）。
- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション「Canon Online Photo Album」を使うことおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(📖255)。

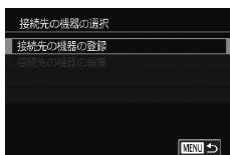
1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖252) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



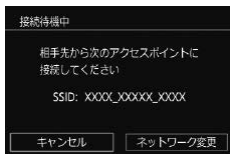
2 [🖨️] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [🖨️] を選び、[🔴] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🔴] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[🔴] を押します。

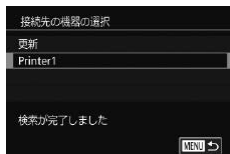


- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名)を選択して接続します。



5 プリンターを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してプリンターの名前を選び、[SET] を押します。



6 画像を選んで印刷する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [印刷] を選び、[SET] を押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(P335) を参照してください。
- 接続を切断するには、[▲] を押して表示された確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [SET] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (P43) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(P255) の手順 3～4 を参照してください。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。

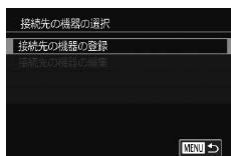
1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(252) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [カメラ] を選び、[SET] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[SET] を押します。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。



4 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[SET] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [SET] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖 43) の [🔧 4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 283)。

画像送信について

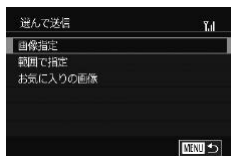
複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 「選んで送信」を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して「選んで送信」を選び、[SET]を押します。



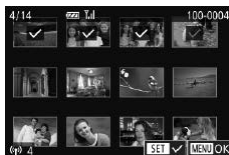
2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [DISC] ホイールを回して指定方法を選びます。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順 2 (p.279) の操作で「画像指定」を選び、[SET]を押します。



2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[SET] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [SET] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[SET] を押します。



- 手順2でズームレバーを [Q] 側に2回押すと、1枚表示に切り換わり、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選ぶこともできます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順2 (書 279) の操作で [範囲で指定] を選び、[SET] を押します。



2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3 (📖212) の操作で指定します。
- 動画も送信するときは、[▲] [▼] [◀] [▶] を押して [動画含む] を選び、[SET] を押して [✓] を付けます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [OK] を選び、[SET] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[SET] を押します。

お気に入り設定した画像を送る

お気に入り設定 (📖220) した画像をまとめて送ることができます。

1 【お気に入りの画像】を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順2 (📖279) の操作で【お気に入りの画像】を選び、[SET] を押します。
- お気に入り設定した画像だけの画像選択画面が表示されます。画像を選んでから [SET] を押して [✓] を外し、送信しないようにすることもできます。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

2 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[SET] を押します。



- お気に入り設定された画像がないときは、手順 1 で [お気に入りの画像] は選べません。

■ 画像送信時の注意事項

- Wi-Fi 通信部 (📖 6) を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- Web サービスによっては送信できる画像の数や動画の時間が制限されます。
- 圧縮 (📖 235) していない動画は、再圧縮されてもとの動画とは別の動画として送信されます。また、この処理に時間がかかることや、カード容量の不足で送信できないことがあります。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲] か [▼] を押して [] を選んだあと、[] を押します。表示された画面で [▲] か [▼] を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[] を押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままで送信されます。
- [M2] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。



- MENU (43) で [4] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[送信時のリサイズ設定] でも設定できます。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [] を選び、[] を押します。

2 コメントを入力する (46)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る（クラウドシンクロ）

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

■ 準備する

カメラの準備をする

接続先として [📶] を登録します。なお、[📷] ボタンに [📶] を登録しておくとし、[📷] ボタンを押すだけで、カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。



1 [📶] を登録する

- 「CANON iIMAGE GATEWAY を登録する」(📖269) の操作で、カメラに送信先として [📶] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するときは、CANON iIMAGE GATEWAY にログインし (📖268)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- [MENU] ボタンを押して、[🔧4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖43)。
- [▲] か [▼] を押して [クラウドシンクロ] を選んだあと、[▲] か [▼] を押して [静止画+動画] を選びます。

3 [] ボタンに [] を登録する（[] ボタンを押して送信するときのみ）

- [] ボタンにスマートフォンを登録しているときは解除します（ 250）。
- [] ボタンを押して画面を表示したあと、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して [] を選び、[] を押します。

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 ソフトウェアをインストールする

- インターネットに接続したパソコンにソフトウェアをインストールします（ 257）。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で [] を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で [] をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- CANON iMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが [] に変わります。

■ 画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

-  ボタンに  を登録しているときは、 ボタンを押します。
- 登録していないときは、「Web サービスに画像を送る」( 273) の手順 1 ～ 2 の操作で  を選びます。
- 送信された画像には  が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）( 312) を使うことをおすすめします。



- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iIMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iIMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

クラウドシンクロで送信した画像をスマートフォンで見る

スマートフォンに「Canon Online Photo Album (Canon OPA)」をインストールすると、クラウドシンクロで送信して CANON iIMAGE GATEWAY に一時的に保存されている画像を、スマートフォンで見たりダウンロードすることができます。

なお、事前に次の準備が必要です。

- 「パソコンの準備をする」(📖285) の設定が終わっている必要があります。
- iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。
- CANON iIMAGE GATEWAY にログインし (📖268)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定を変えてください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。



- 一定期間を過ぎて CANON iIMAGE GATEWAY から削除された画像は見ることができません。
- クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定する前に送信した画像は見ることができません。



- Canon Online Photo Album の操作については、Canon Online Photo Album のヘルプを参照してください。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する (📖288)
- リモート撮影をする (📖289)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (📖250、📖252、📖291)。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖23) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」(📖302) で訪問先のエリアを設定してください。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

■ リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを回して **[P]** **[Tv]** **[Av]** **[M]** **[C1]** **[C2]** のどれかのモードを選びます。

2 カメラを固定する

- リモート撮影をはじめるとカメラのレンズが出てきます。また、ズーム操作によるレンズの動きでカメラが傾くことがあります。三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

3 カメラとスマートフォンを接続する (250、 252)

- 画像の公開設定では **「はい」** を選んでください。

4 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect でリモート撮影を選びます。
- カメラのレンズが出てくるので、レンズ付近を押さえたり、物を置かないようにしてください。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

5 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- **[P]** **[Tv]** **[Av]** **[M]** **[C1]** **[C2]** 以外のモードに設定しているときは、**[P]** モードで撮影されます。ただし、あらかじめ設定したクイック設定メニューや MENU の一部が、自動的に変わることがあります。
- 動画は撮影できません。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややごちちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

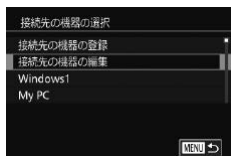
Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

■ 接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して編集したい機器のアイコンを選び、[SET] を押します。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の編集] を選び、[SET] を押します。



3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集したい接続先を選び、[SET] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集する項目を選び、[SET] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
					Web サービス
[ニックネームの変更] (📖292)	○	○	○	○	—
[画像の公開設定] (📖250)	—	○	—	—	—
[接続情報を消去] (📖292)	○	○	○	○	—

○：設定可 —：設定不可

接続先のニックネームを変更する

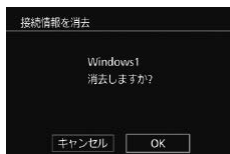
カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖291)の手順 4 の操作で [ニックネームの変更] を選び、 を押します。
- 入力欄を選んで  を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします (📖46)。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖291)の手順 4 の操作で [接続情報を消去] を選び、 を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか  ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。
- 接続情報が消去されます。

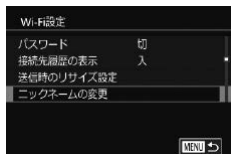
カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



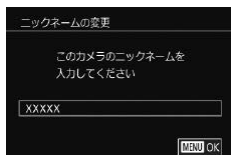
1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (43)。



2 [ニックネームの変更] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [ホイール] ホイールを回して [ニックネームの変更] を選び、[OK] を押します。



3 ニックネームを変更する

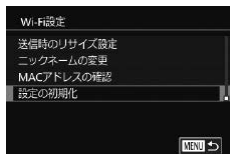
- [OK] を押して表示されたキーボード (46) でニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[OK] を押してから入力しなおしてください。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、入力欄を選んで [OK] を押してキーボードを表示させて、ニックネームを変えることもできます。

Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🔌 4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖 43)。

2 [設定の初期化] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [設定の初期化] を選び、[🔌] を押します。

3 初期化する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[🔌] を押します。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときには、[🔌 4] タブの [カメラ設定初期化] を選びます (📖 308)。

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU (📖 43) の [👉 1] [👉 2] [👉 3] [👉 4] タブで設定します。
ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [👉 1] タブの [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [👉 1] タブの [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (297) したカードをお使いください。

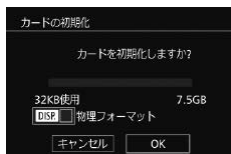
カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [1] タブの [カードの初期化] を選び [SET] を押します。



2 [OK] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- カードが初期化されます。



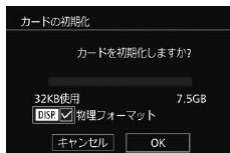
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」の手順2 (📖 297) の画面で、[DISP] ボタンを押して [物理フォーマット] に [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2 (📖 297) の操作で、初期化 (物理フォーマット) します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖 297) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [中止] を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

ビデオ方式を変える

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質（フレームレート）も変わります。



- [📷 1] タブの [ビデオ方式] を選び、目的の項目を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。
グリッドライン（ 182）を使って、事前にカメラを水平にしておく、より確実に調整できます。

1 カメラを傾きがない状態にする

- 傾きがない台などの上にカメラを置きます。



2 調整する

- [ 1] タブの「水準器」を選び、[] を押します。
- 「調整」を選び [OK] を押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] を選び、[OK] を押します。

水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。



- [ 1] タブの「水準器」を選び、[] を押します。
- 「初期化」を選び、[OK] を押します。
- [OK] を選び、[OK] を押します。

画面に表示される情報の色を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

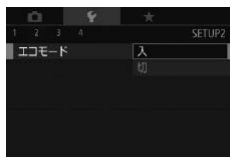
画面に表示される情報やメニュー画面の色を、暗いところで撮影をするときに適した色に変えられます。[] モード (📖 120) など撮影するときには、[入] にすることをおすすめします。



- [2] タブの [暗所表示] を選び、[入] を選びます (📖 43)。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

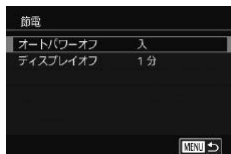
- [2] タブの [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (📖 361) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

■ 節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（ 35）。



- [ 2] タブの「節電」を選び、[] を押します。
- 項目を選んで [] を押したあと、[] か [] を押すか [] ホイールを回して設定します。



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、「オートパワーオフ」を「入」にし、「ディスプレイオフ」を「1分」以下にすることをおすすめします。



- 「ディスプレイオフ」は、「オートパワーオフ」が「切」のときも働きます。
- エコモード（ 300）を「入」にしているときは、節電機能は使えません。

■ 画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [ 2] タブの「液晶の明るさ」を選んで [] 押したあと、[] か [] を押すか [] ホイールを回して明るさを変えます。

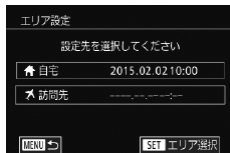


- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに [DISP.] ボタンを1秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（[ 2] タブの「液晶の明るさ」設定は無効になります）。もう一度 [DISP.] ボタンを1秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

世界時計を使う

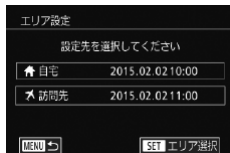
海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（ 23）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [2] タブの [エリア設定] を選び、 を押します。
- [] か [] を押すか [] ホイールを回して [訪問先] を選び、 を押します。
- [] か [] を押して訪問先エリアを選びます。
- [] か [] を押すか [] ホイールを回して [] を選び、 か [] を押して [] にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。
- を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- [] か [] を押すか [] ホイールを回して [訪問先] を選び、 ボタンを押します。
- 撮影画面（ 361）に [] が表示されます。



- [] の状態で日付／時刻を変える（ 24）と、 自宅] の日時も自動的に変わります。

■ 日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [F2] タブの [日付 / 時刻] を選び、[Q/SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して設定します。

■ レンズ収納時間を変える

撮影状態から [▶] ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (34)。[▶] ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [F2] タブの [レンズ収納時間] を選び、[0 秒] を選びます。

■ 表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [F3] タブの [言語] を選び、[Q/SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して言語を選び、[Q/SET] を押します。



- 再生モードにして、[Q/SET] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



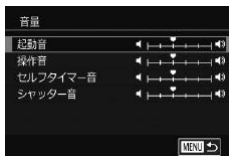
- [F3] タブの [消音] を選び、[する] を選びます。



- [DISP.] ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (190) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に [▲] を押すか画面を上方向にドラッグすると音声は鳴り、[▲] か [▼] を押すか画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調整できます。

音量を変える

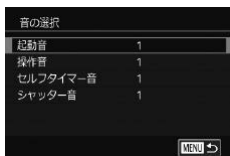
カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [F3] タブの [音量] を選び、[SET] を押します。
- 項目を選び、[◀] か [▶] を押して音量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- [F 3] タブの [音の選択] を選び、[SET] を押します。
- 項目を選び、[▲] か [▼] を押して音を変えます。



- [A 1] モード (55) で撮影したダイジェスト動画に記録されるシャッター音は変えられません。

起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- [F 1] タブの [起動画面] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して内容を選びます。

機能の説明を表示しない

クイック設定メニュー (41) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [F 3] タブの [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

タッチパネルの設定を変える

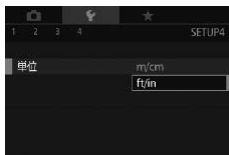
タッチパネルの感度を上げて軽いタッチにも敏感に反応するようにしたり、画面に触れてもタッチパネルが反応しないようにできます。



- [F4] タブの [タッチ操作] を選び、目的の内容を選びます。
- タッチパネルの感度を上げるときは [敏感] を、タッチパネルを使わないときは [しない] を選んでください。

距離表示の単位を変える

ズームバー (152)、MF インジケータ (151) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [F4] タブの [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

認証マークを確認する

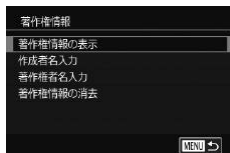
このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [F4] タブの [認証マーク表示] を選び、[SET] を押します。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておく、撮影した画像に登録した情報を記録できます。



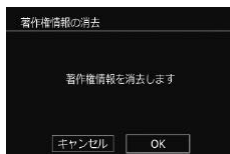
- [F4] タブの [著作権情報] を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [作成者名入力] か [著作権者名入力] を選び、[SET] を押してキーボードを表示して、名前を入力します (p.46)。
- [MENU] ボタンを押すと、[変更内容を保存しますか?] が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[SET] を押します。
- 撮影する画像に、情報が記録されるようになります。



- 入力した内容は、上記の画面で [著作権情報の表示] を選び、[SET] を押すと確認できます。

登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



- 「画像に記録する著作権の情報を登録する」 (p.307) の操作で、[著作権情報の消去] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。



- 画像に記録されている著作権情報は消されません。

■ その他の基本機能を変える

次の機能も設定できます。

- [🔧 4] タブの [Wi-Fi 設定] (📖 243)
- [🔧 4] タブの [ワンタッチスマホボタン設定] (📖 250)

■ カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [🔧 4] タブの [カメラ設定初期化] を選び、[🔧] を押します。

2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [🔧] ホイールを回して [OK] を選び、[🔧] を押します。
- カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - 個人認証機能で登録した内容 (📖 77)
 - [🔧 1] タブの [ビデオ方式] (📖 298)
 - [🔧 2] タブの [エリア設定] (📖 302)、[日付 / 時刻] (📖 303)、[🔧 3] タブの [言語] (📖 303)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (📖 146)
 - [SCN] (📖 103)、[🔍] (📖 105) モードで設定した撮影モード
 - 露出補正 (📖 137) で設定した値
 - 動画モード (📖 128)
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖 243)
 - 水準器の調整内容 (📖 299)
 - 著作権情報 (📖 307)

アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみ
かたを広げる

システムマップ

付属品



ネックストラップ



バッテリーパック
NB-10L *¹
(端子カバーつき)



バッテリーチャージャー
CB-2LC *¹



USB ケーブル (カメラ側端子は Mini-B) *²



メモリーカード

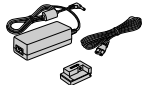


カードリーダー



パソコン

電源



AC アダプターキット
ACK-DC80

ケーブル



HDMI ケーブル HTC-100



テレビ/
ビデオ

* 1 別売りも用意されています。

* 2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-400PCU) もあります。

* 3 スピードライト 580EX、430EX、270EX、220EX、スピードライトトランスミッター ST-E2、ST-E3-RT、スピードライトブラケット SB-E2、オフカメラシューコード OC-E3 も使えます。

* 4 フィルターアダプター FA-DC67B が必要です。

ストロボ



スピードライト*³
600EX-RT、580EX II、430EX II、
320EX、270EX II

レンズ関連オプション



キャノン製レンズフィルター
(φ 67 mm) *⁴



レンズフード LH-DC100/
フィルターアダプター
FA-DC67B

PictBridge 対応プリンター

その他



電子ビューファインダー
EVF-DC1



リモートスイッチ
RS-60E3

アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

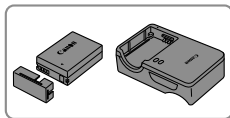
本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源

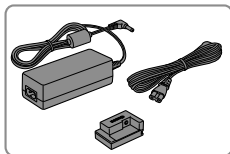


バッテリーパック NB-10L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LC

- バッテリーパック NB-10L 用のバッテリーチャージャーです。



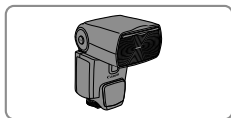
AC アダプターキット ACK-DC80

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



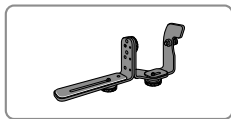
- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

■ ストロボ



スピードライト 600EX-RT、580EX II、430EX II、320EX、270EX II

- クリップオンタイプの外付けストロボで、多彩なストロボ撮影ができます。なお、580EX、430EX、270EX、220EX もお使いになれます。



スピードライトブラケット SB-E2

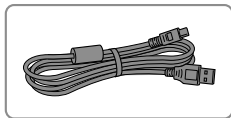
- 縦位置撮影時、被写体の横に不自然な影が出ることを防ぎます。オフカメラシューコード OC-E3 も付属しています。



スピードライトトランスミッター ST-E2、ST-E3-RT

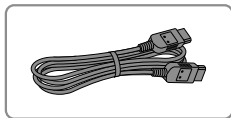
- スレーブ設定されたスピードライト（220EX、270EX を除く）をワイヤレスで制御できます。

■ その他



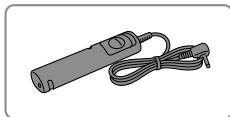
インターフェースケーブル IFC-400PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



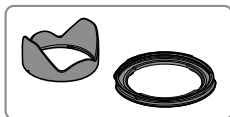
HDMI ケーブル HTC-100

- カメラと HD（ハイビジョン）対応テレビの HDMI 端子をつなぐケーブルです。



リモートスイッチ RS-60E3

- カメラから離れてシャッターボタンの半押しと全押しができるリモートスイッチです。



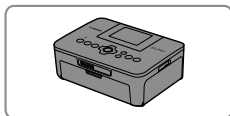
レンズフード LH-DC100/ フィルターアダプター FA-DC67B

- 画面外から不要な光がレンズに入らないようにして、画質劣化の原因となるフレアやゴーストを防ぎます。
- 67 mm のフィルターを取り付けるためのアダプターです。

キャノン製レンズフィルター (ϕ 67 mm)

- レンズを保護したり、さまざまな効果をつけて撮影できます。

■ プリンター



キャノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

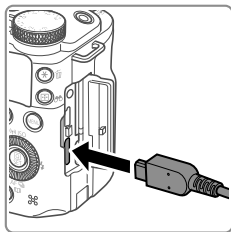
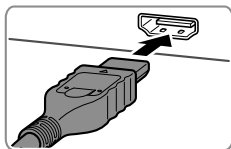
テレビで見る

HDMI ケーブル HTC-100 (別売) でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、**[E FHD 59.94P]** **[E FHD 29.97P]** **[E FHD 23.98P]** **[E HD 29.97P]** **[E FHD 50.00P]** **[E FHD 25.00P]** **[E HD 25.00P]** で撮影した動画は HD (ハイビジョン) 画質で見ることができます。なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

1 カメラとテレビの電源を切る

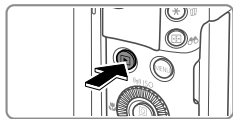
2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。
- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。



3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（[363](#)）。
- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。
- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大（[92](#)）、MF 拡大表示（[151](#)）、MF ピーキング（[154](#)）、暗所表示（[300](#)）はできません。

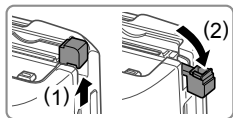
家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

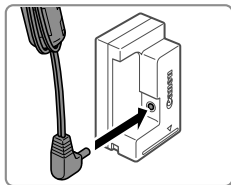
AC アダプターキット ACK-DC80（別売）を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る

2 ふたを開ける

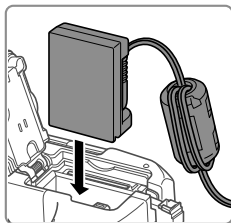


- 「バッテリーとカード（市販品）を入れる」の手順 1（[21](#)）の操作でカード／バッテリー収納部のふたを開き、図のように通し部のふたを開きます。



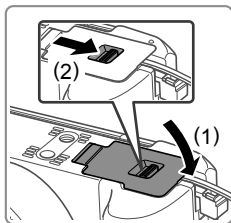
3 プラグをカプラーにつなぐ

- アダプターのプラグをカプラーの端子にしっかりと差し込みます。



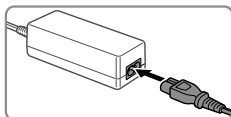
4 カプラーを入れる

- カプラーを図の向きにして、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。



5 ふたを閉める

- ふたを(1)の方向へたおして押さえたまま、スイッチを(2)の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



6 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

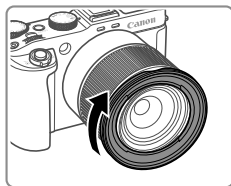


- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

■ レンズフィルター（別売）を使う

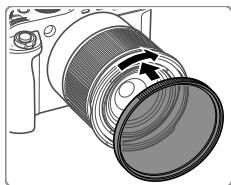
▶ 静止画 ▶ 動画

レンズフィルターを付けると、レンズを保護したり、さまざまな効果をつけて撮影できます。カメラに取り付けるときは、別売のレンズフード LH-DC100 / フィルターアダプター FA-DC67B に付属のフィルターアダプター FA-DC67B が必要です。



1 フィルターアダプターを取り付ける

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- カメラの取り付け部とフィルターの切り欠きをあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回します。
- 取り外すときは、反対方向に回します。



2 フィルターを取り付ける

- フィルターを矢印の方向に回して取り付けます。
- 取り付けるときは強くねじ込まないでください。取り外しできなくなったり、故障の原因になることがあります。

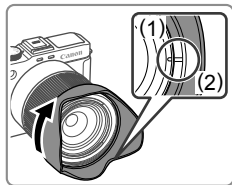


- キヤノン純正のフィルター (φ 67 mm) のご使用をおすすめします。
- オートフォーカスで撮影するか、マニュアルフォーカスで [セーフティ MF] を [入] にして撮影してください。
- フィルターアダプターを取り付けているときに、内蔵ストロボを使用すると、ストロボ光がケラれて画像の一部が暗くなることがあります。
- フィルターアダプターには、フィルター 1 枚のみが取り付けられます。複数のフィルターやレンズなど重いものを取り付けると、脱落したり、カメラやフィルターアダプターの故障の原因になることがあります。
- フィルターアダプターを強くにぎらないでください。
- フィルターやフードを使わないときは、フィルターアダプターを外してください。

■ レンズフード (別売) を使う

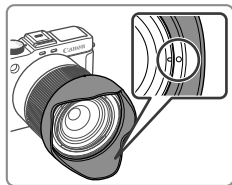
▶ 静止画 ▶ 動画

レンズフード LH-DC100 / フィルターアダプター FA-DC67B (別売) を使うと、ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影するとき、画角外の光がレンズに入ることを防ぐことができます。カメラに取り付けるときは、フードに付属のフィルターアダプター FA-DC67B が必要です。

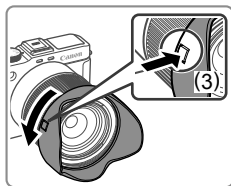


- カメラの電源が切れていることを確認します。

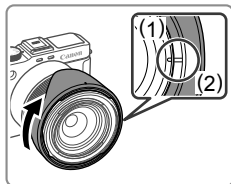
- 「レンズフィルター (別売) を使う」の手順 1 (📖 318) の操作でフィルターアダプターを取り付けます。



- フィルターアダプターの取り付け部 (1) とフードの内側の切り欠き (2) をあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回します。



- 取り外すときは、フードのロック解除ボタン (3) を押しながら、反対方向に回します。



- フードを使わないときは、図の向きにして、フィルターアダプターの取り付け部 (1) とフードの内側の切り欠き (2) をあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回して取り付けます。

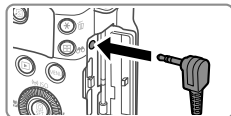


- フードを取り付けた状態で内蔵ストロボを使うと、ストロボ光がケラれて、画像の一部が暗くなることがあります。

■ リモートスイッチ (別売) を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

リモートスイッチ RS-60E3 (別売) を使うと、シャッターボタンを押すときに発生するカメラのブレを防ぐことができます。シャッタースピードが遅くなるときにお使いになると便利です。



1 リモートスイッチをつなぐ

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- 端子カバーを開けて、リモートスイッチのプラグを差し込みます。



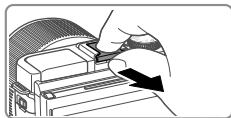
2 撮影する

- リモートスイッチのリリースボタンを押して撮影します。

■ アクセサリーシューを使う

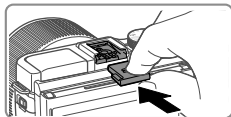
▶ 静止画 ▶ 動画

電子ビューファインダー（別売）や外付けストロボ（別売）を取り付けるときに使います。



1 アクセサリーシューキャップを取り外す

- キャップを図の矢印の方向に引き抜きます。
- 取り外したキャップはなくさないよう、電子ビューファインダーや外付けストロボのケースに入れます。



2 アクセサリーシューキャップを取り付ける

- 電子ビューファインダーや外付けストロボを取り外したときは、アクセサリシューを保護するためにキャップを取り付けます。
- キャップを図の矢印の方向に差し込みます。



- 電子ビューファインダー以外のアクセサリをアクセサリシューに取り付けたときは、内蔵ストロボを上げないようにしてください。アクセサリとストロボが当たることがあります。なお、内蔵ストロボは発光しません。



- アクセサリーシューに電子ビューファインダーや外付けストロボを取り付けているときに液晶モニターを上を開くと、ファインダーやストロボが液晶モニターに当たるので、上には開かないでください。

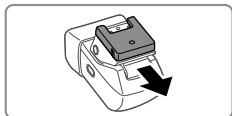
■ 電子ビューファインダー（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

電子ビューファインダー（別売）を使うと、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。

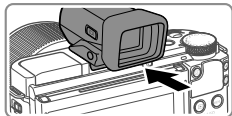
なお、電子ビューファインダーを使うと、カメラ背面の画面（液晶モニター）を使ったときよりも撮影できる枚数や時間が少なくなります。撮影できる枚数や時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」（ 402）を参照してください。

1 カメラの電源を切る



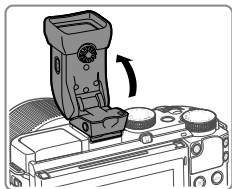
2 アクセサリーシューに電子ビューファインダーを取り付ける

- 電子ビューファインダーのカバーを外します。
- アクセサリーシュー（ 321）に電子ビューファインダーを図のようにカチッとなるまで差し込みます。



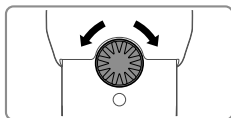
3 電子ビューファインダーの角度を調節する

- 撮影シーンや目的に応じて、電子ビューファインダーの角度を約 90 度まで変えられます。



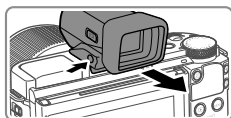
4 カメラの電源を入れて、画面または電子ビューファインダーの表示を切り換える

- 電子ビューファインダーに目を近づけるとファインダーが表示され、カメラの画面は消えます。
- 目を離すとファインダーの表示が消え、カメラの画面が表示されます。



5 視度を調節する

- 電子ビューファインダーの表示がはっきり見えるようにダイヤルを回します。



6 カメラから取り外す

- 使い終わったら、カメラの電源を切り、電子ビューファインダーの [UNLOCK] ボタンを押しながら外します。
- 電子ビューファインダーを使用しないときは、カメラから取り外して保管してください。



- 電子ビューファインダーとカメラの画面を同時に表示することはできません。
- 電子ビューファインダー表示中は、カメラの画面のタッチ操作はできません。



- 電子ビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 縦横比 (📖 86) の設定によっては、左右または上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 電子ビューファインダーの [📷] ボタンを押して表示先を切り換えることもできます。
- MENU (📖 43) で [🔍 1] タブの [表示先切り換え] を [マニュアル] にすると、目を離してもカメラの画面には表示されないで、電子ビューファインダーの [📷] ボタンを押して表示させてください。
- [AUTO] [P] [Av] [Tv] [M] モードのときは、電子ビューファインダーを使うと、電子ビューファインダーとカメラの画面のどちらも動きがよりなめらかに表示されます。なお、MENU (📖 43) で [📷 1] タブの [撮影画面表示設定] を [省電力優先] にすると通常の表示になり、バッテリーの消耗を防ぐことができます。
- 電子ビューファインダー表示中に Wi-Fi 通信 (📖 244)、キーボード画面 (📖 46)、ストーリーハイライトのホーム画面 (📖 237) を表示したときは、カメラの画面に表示が切り換わります。
- 電子ビューファインダーとカメラの画面の明るさ (📖 301) は、それぞれに設定できます。

■ 外付けストロボ（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

スピードライト EX シリーズ（別売）を使うと、より高度なストロボ撮影ができます。また、スピードライト 320EX（別売）では、LED ライトを使った動画撮影ができます。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの機能の一部は、このカメラでは使えないことがあります。
- スピードライト EX シリーズ以外のキャノン製ストロボでは「発光しない」、「フル発光する」など正しく発光しないことがあります。
- 他社製のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使うと、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがあります。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの使用説明書もあわせて参照してください。

スピードライト EX シリーズ

▶ 静止画 ▶ 動画

大光量によるストロボ撮影や、撮影目的にあわせた多彩なストロボ撮影ができます。



1 ストロボを取り付ける

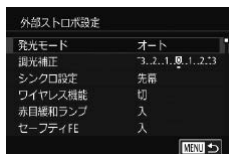
- カメラの電源が切れていることを確認し、アクセサリシューにストロボを取り付けます。

2 ストロボ、カメラの順番で電源を入れる

- [F] (赤色) が表示されます。
- ストロボの充電が完了すると、ストロボのパイロットランプが点灯します。

3 撮影モードを [P]、[Tv]、[Av]、[M] のいずれかにする

- 他の撮影モードでは自動調光で発光するので、設定は変えられません。



4 外付けストロボを設定する

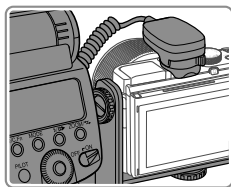
- [MENU] ボタンを押して [5] タブの [ストロボ制御] を選び、[Q] を押します。
- ストロボ側で設定されている内容が表示されます。
- [▲] か [▼] を押すか [0] ホイールを回して項目を選び、目的の内容に設定します。
- 設定できる項目は、撮影モードや取り付けているストロボによって変わります (328)。



- スピードライト EX シリーズを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定画面が表示されないため設定できません。
- [▶] を 1 秒以上押すことで設定画面を表示することもできます。
- ストロボでマルチ発光に設定しているとき (600EX-RT、580EX II のみ) は、[ストロボ制御] を選ばません。
- LED ライト (320EX のみ) は、暗い場所で、動画撮影中または動画モードにしたときだけ自動点灯します。このとき、画面には [L] が表示されます。

スピードライトブラケット SB-E2（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画



- 別売のスピードライトブラケット SB-E2 を使うと縦位置撮影時に被写体の横に不自然な影が出るのを防ぐことができます。
- 液晶モニターを開くと、角度によってはスピードライトブラケットに当たることがありますので、液晶モニターを閉じた状態でお使いください。

外付けストロボ（別売）を使うときの設定について

▶ 静止画 ▶ 動画

[P]、**[Tv]**、**[Av]**、**[M]** モードでは、次の項目を設定できます。そのほかの撮影モードでは「赤目緩和ランプ」だけを設定できます（ストロボは自動調光で常に発光します）。ただし、内蔵ストロボが発光しないモード（ 366）では、外付けストロボは発光しません。

項目	選択項目	撮影モード			
		P	Tv	Av	M
発光モード	オート* ¹	○	○	○	○
	マニュアル* ²	○	○	○	○
調光補正* ³	-3 - +3	○	○	○	○
発光量* ⁴	1/128* ⁵ - 1/1（1/3 段 ステップ）	○	○	○	○
シンクロ設定	先幕 / 後幕 / ハイスピード	○	○	○	○
ワイヤレス機能* ⁶	切 / 光通信 / 電波通信	○	○	○	○
赤目緩和ランプ	入 / 切	○	○	○	○
セーフティ FE* ⁷	入	○	○	○	-
	切	○	○	○	○
ストロボ設定初期化* ⁸		○	○	○	○

*¹ ストロボは E-TTL モードになります。

*² ストロボは M モードになります。

撮影モードが **[M]** のときは、ストロボを E-TTL モードにすることもできます。このとき、カメラで設定した発光量に対して、ストロボで設定した調光補正量が反映されて、発光します。

*³ 「発光モード」が「オート」で、ストロボ側の調光補正量が「+0」のときだけ設定できます。スピードライト 600EX-RT、580EX II、430EX II では、ストロボで調光補正量を変えると、カメラの表示に反映されます。

*⁴ 「発光モード」が「マニュアル」のときに設定できます。ストロボでの設定と同期します。

*⁵ スピードライト 430EX II、430EX、320EX、270EX II、270EX では 1/64 です。

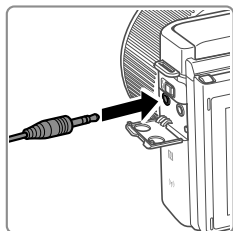
- *6 選択項目以外はストロボで設定してください。スピードライト 580EX II、600EX-RT、90EX で設定できます。また、[切] 以外するとき [シンクロ設定] で [後幕] は選べません ([後幕] を選んでいたときは、[先幕] になります)。
- *7 [発光モード] が [オート] のときだけ設定できます。
- *8 すべての設定を初期状態に戻します。[セーフティ FE] [赤目緩和ランプ] は、カメラの [4] タブの [カメラ設定初期化] でも初期状態に戻ります (308)。



- 撮影モードを [AUTO] にしているときは、カメラが判別したシーンを示す「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん - 笑顔」「赤ちゃん - 寝顔」「こども」のアイコンは表示されず、連続撮影されません (61)。

外部マイクを使う

外部マイク入力端子 (6) に、ミニプラグ (φ 3.5 mm) を備えた市販のマイクをつなぐと、外部マイクで録音されます。なお、外部マイクをつないだときは、内蔵マイクによる録音はされません。



ふたを開けて、外部マイクをつなぐ

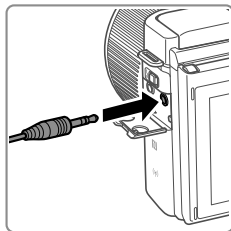


- アッテネーターを使うと、外部マイクにも設定が反映されます (133)。
- 外部マイクをつないだときは、[ウィンドカット] (132) は [切] に固定されます。

■ ヘッドホン（市販品）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影するときにカメラがとらえた音声や、撮影した動画を再生したときの音声をヘッドホンで聞くことができます。



1 ヘッドホンをつなぐ

- ふたを開けてヘッドホンをつなぎます。



2 設定する

- **[MENU]** ボタンを押して、**[🔊3]** タブの**[ヘッドホン]**を選んで**[🔊]**を押したあと、**[▲]**か**[▼]**を押して音量を**[0]**にします。
- ヘッドホンを耳にあてて、**[▲]**か**[▼]**を押して音量を調整します。



- 外部マイク入力端子にヘッドホンをつなげると、動画撮影中の音声記録されなくなります。



- 動画モード以外の撮影モードでは、ヘッドホンから音声が出力されるのは動画撮影中と**[ヘッドホン]** (📖 330) または**[録音レベル]** (📖 132) で音量を調整するときのみです。
- リモート撮影時 (📖 289) など、Wi-Fi 接続中はヘッドホンをカメラにつないでいてもヘッドホンから音声は出力されません。
- 外部マイク入力端子にヘッドホンをつなげていると、音声は出力されません。ヘッドホン端子につないでください。

ソフトウェアを使う

お使いのパソコンに、弊社 Web サイトからソフトウェアをダウンロードしてインストールすると、次のようなことができます。

- CameraWindow（カメラウィンドウ）
 - パソコンへの画像取り込み
- Image Transfer Utility（イメージトランスファーユーティリティ）
 - クラウドシンクロ（ 284）の設定、画像受信
- Map Utility（マップユーティリティー）
 - 画像に記録されている GPS 情報を地図上に表示
- Digital Photo Professional（デジタルフォトプロフェッショナル）
 - RAW 画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。

■ ケーブルを使ってパソコンと接続する

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.9
- Mac OS X 10.8

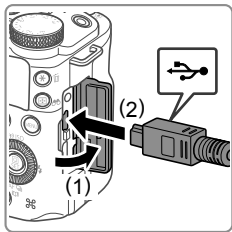
Wi-Fi 機能を使ってパソコンに画像を送るときは、「パソコンの環境を確認する」（ 257）でパソコンの環境を確認してください。

インストールする

ソフトウェアをインストールする方法については、「インストールする」(P257) を参照してください。

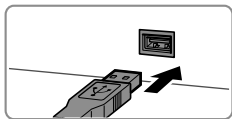
■ パソコンに画像を取り込む

パソコンに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Mini-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。

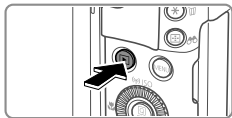


1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



2 電源を入れて CameraWindow（カメラウィンドウ）を表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。





- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。



- [カメラ] をダブルクリックします。



3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの [▶] ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [カメラ] をクリックします。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

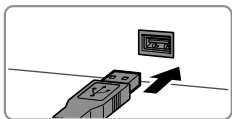
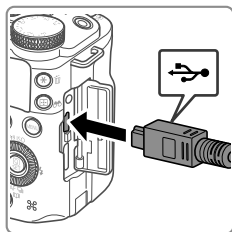
かんたん印刷

PictBridge(ピクトブリッジ)対応プリンターに市販の USB ケーブル(カメラ側端子は Mini-B) でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。

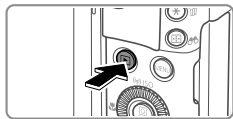
1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

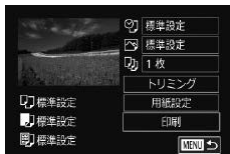
5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



6 印刷画面を表示する

- [(SET)] を押したあと、[◀] を選び、もう一度 [(SET)] を押します。



7 印刷する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[(SET)] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) については、「プリンター」(P314) を参照してください。
- RAW 画像は印刷できません。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6 (📖 335) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

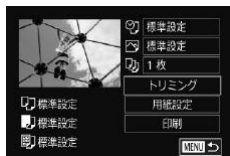
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び、[🔍] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して内容を選んだあと、[🔍] を押して印刷画面に戻ります。

	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	－
	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	－
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	－	印刷する範囲を指定します (📖 338)。
用紙設定	－	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (📖 339)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

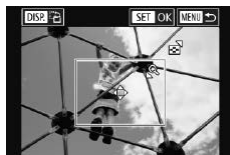
▶ 静止画 ▶ 動画

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 337) の操作で印刷画面を表示したあと、[トリミング] を選び、[SET] を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かすか [ZOOM] ホイールを回して枠の大きさを変えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して枠の位置を変えます。
- [DISP] ボタンを押すと枠が回転します。
- [SET] を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7 (📖 335) の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 337) の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] を選び、[SET] を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[SET] を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[SET] を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、[SET] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して印刷枚数を選んだあと、[SET] を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が3:2の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1 ~ 4 (339) の操作で [ID フォト] を選び、 を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- 「」か「」を押すか  ホイールを回して項目を選び、 を押して切り換えた画面で「」か「」を押すか  ホイールを回して長さを選んだあと、 を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する (トリミング)」の手順 2 (338) の操作で印刷する範囲を選びます。



4 印刷する

動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6 (📖 335) の操作で動画を選び、この画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [🖨️] を選び [🔍] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して内容を選んだあと、[🔍] を押して印刷画面に戻ります。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に [🔍] を押したあと、[OK] を選んで [🔍] を押すと印刷が中止されます。
- CP720 / CP730 以前のキャノン PictBridge 対応プリンターでは、[ID フォト] や [連続コマ] は指定できません。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (345) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

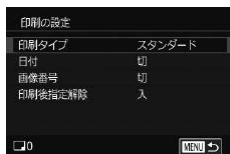


- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [印刷設定] を選び、[] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して [印刷の設定] を選び、[] を押して表示された画面で項目を選び設定します (43)。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後 指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—



- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、**[!]** が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、**[4] 2** タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (📖 23)。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、**[4] 4** タブの [印刷設定] を選び、**[SET]** を押します。
- [▲] か [▼] を押すか **[●]** ホイールを回して [印刷する画像を指定] を選び **[SET]** を押します (📖 43)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか **[●]** ホイールを回して画像を選び、**[SET]** を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると **[✓]** が表示され、もう一度 **[SET]** を押すと解除されて **[✓]** が消えます。



3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する

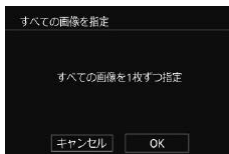
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (書 343) の操作で [範囲で指定] を選び、[SET] を押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (書 212) の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び、[SET] を押します。

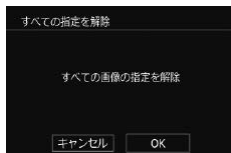
すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (書 343) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

すべての指定を解除する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (343) の操作で「すべての指定を解除」を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [RECALL] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 印刷指定した画像 (342 ~ 344) があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐとこの画面が表示されます。[▲] か [▼] を押して「すぐに印刷」を選び、[SET] を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

■ フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定(最大 998 画像)し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ



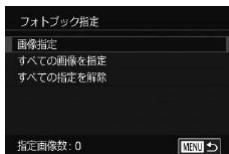
- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [フォトブック指定] を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(P.346) の操作で [画像指定] を選び、[SET] を押します。

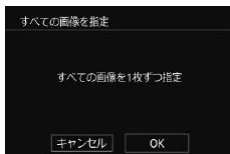


2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度[SET] を押すと解除され、[✓]が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(346) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(346) の操作で [すべての指定を解除] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P19)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (P21)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード／バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (P21)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる (P315)

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (📖 189) は、シャッターボタンを半押ししてください (📖 36)。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖 40)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画面いっぱいに表示して撮影できない (📖 170)

シャッターボタンを押したら、画面に [🔋] が点滅表示されて撮影できない (📖 57)

シャッターボタンを半押ししたときに、[📷] が表示される (📖 57)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (📖 94)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [🔋] にしてください (📖 165)。
- ISO 感度を高くしてください (📖 140)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 94)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (📖 36)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (📖 405)。
- [AF 補助光] を [入] にしてください (📖 96)。
- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください (📖 157、📖 164)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖165)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖137)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖137、📖138)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖52)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖137)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖137、📖138)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖57)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖404)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖167、📖179)。
- ISO 感度を高くしてください (📖140)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖404)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖52)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖167、📖179)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖140)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖103)。

目が赤く写る

- [赤目緩和ランプ] を [入] に設定してください (📖96)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖6) が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖231)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖298)。

撮影機能やクイック設定メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「クイック設定メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」(📖366 ~ 📖377) で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない

- 赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能 (📖77) で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす (📖78) か、日付 / 時刻を正しく設定してください (📖303)。

タッチ AF できない / タッチシャッターできない

- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (📖297、📖404)。

画面に【❶】が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖298)。
 - 画質を変える (📖89)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う (📖404)。

ズームできない

- [📷] モード (📖120) では、ズームできません。
- [🎥] モード (📖110) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声が続切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (📖298)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちたり、音声が続切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (📖304) しているときや、音声がいまいときは、音量を調整してください (📖30)。
- [📷] モード (📖110)、[📹] モード (📖123) では音声は録音されていないため、音は出ません。

[▼] を押してもストーリーハイライトのホーム画面を表示できない

- プリンターと接続しているときは、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。
- Wi-Fi 接続中は、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。

ストーリーハイライトのホーム画面でアルバムにしたい人物のアイコンが表示されない

- 簡易情報表示 (📖193) にしているときに人物の名前が表示される静止画を選んでからストーリーハイライトのホーム画面を表示してください (📖237)。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (📖34)。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - [▶] ボタンを押して再生モードにしたあと、[MENU] ボタンを押したまま、[▲] と [Ⓜ] を同時に押します。表示された画面で [◀] か [▶] を押して [B] を選び、[Ⓜ] を押します。

Wi-Fi

[▲] を押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 再生モードでも、拡大表示、一覧表示（インデックス表示）のとき、Wi-Fi メニューは表示できません。1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときやグループ再生中は Wi-Fi メニューは表示できません。検索した画像の再生状態やグループ再生を解除してください。
- カメラをプリンター、パソコンまたはテレビとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (📖 291)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (📖 268)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください (📖 250)。
- パソコンの登録は、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください (📖 257、📖 260)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル（ 401）で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW 画像は送信できません。RAW 画像を同時記録した画像では JPEG 画像だけが送信されます。ただし、クラウドシンクロでは RAW 画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき（ 284）は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iIMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iIMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます（ 283）。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、 が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください（ 294）。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (📖21)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (📖21)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (📖21)。

カードが異常です (📖298)

- 使えるカード (📖3) を初期化して正しい向きで入れても (📖21) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (📖52、📖99、📖135、📖173) や編集 (📖225) はできません。画像を消して (📖214) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (📖21)。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです (📖366)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (📖163)。

バッテリーを充電してください (📖19)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (📖210)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます
／再生できません (MOV) ／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です
／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。

認証情報の編集 (📖205)*、拡大 (📖207)*、回転 (📖218)*、お気に入り (📖220)、編集 (📖225)*、印刷指定 (📖342)*、フォトブック指定 (📖346)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📖212、📖217、📖344) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📖342) やフォトブック指定 (📖346) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📖342) やフォトブック指定 (📖346) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📖210)、消去 (📖214)、お気に入り (📖220)、印刷指定 (📖342)、フォトブック指定 (📖346) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔍1] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📖296)、カードを初期化します (📖297)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました（エラー番号）

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号（Exx）を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷（ 335）できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください（ 339）。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください（ 260）。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください（ 260）。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iIMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ（ 284）で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

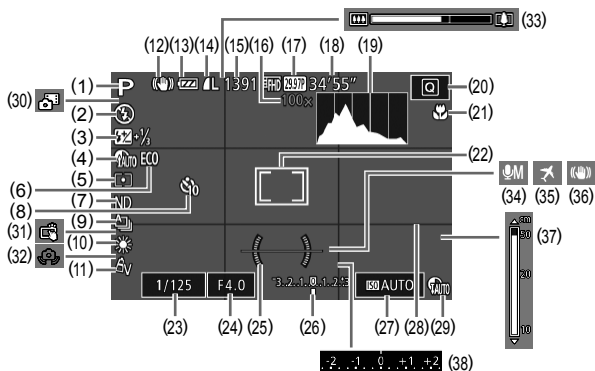
- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

その他

カメラをふるとカタカタ音がする

- 電源を切っているときにカメラをふるとレンズが移動する音がします。これは故障ではありません。

撮影時（情報表示あり）



- | | |
|---|---|
| (1) 撮影モード (366)、シーンアイコン (59) | (13) バッテリー残量表示 (362) |
| (2) ストロボモード (165) | (14) 静止画の圧縮率 (170)、記録画素数 (170) |
| (3) ストロボ調光補正／発光量 (167、 179) | (15) 撮影可能枚数 (403) * |
| (4) 暗部補正 (144) | (16) ズーム倍率 (64)、デジタルテレコンバーター (156) |
| (5) 測光方式 (138) | (17) 動画の画質 (89) |
| (6) エコモード (300) | (18) 撮影可能時間 (404) |
| (7) ND フィルター (144) | (19) ヒストグラム (194) |
| (8) セルフタイマー (71) | (20) クイック設定メニュー (41) |
| (9) ドライブモード (75)、AEB 撮影 (142)、フォーカスブラケット撮影 (154) | (21) フォーカスゾーン (150、 151)、AF ロック (164) |
| (10) ホワイトバランス (145)、水銀灯自動補正 (88) | (22) AF フレーム (156)、スポット測光枠 (138) |
| (11) マイカラー (148) | (23) シャッタースピード (174、 176) |
| (12) 手ブレ補正アイコン (62) | (24) 絞り数値 (175、 176) |

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (25) 水準器 (📖91) | (32) 手ブレ警告 (📖57) |
| (26) 露出レベル (📖176) | (33) ズームバー (📖52) |
| (27) ISO 感度 (📖140) | (34) 録音モード (📖132) |
| (28) グリッドライン (📖182) | (35) エリア設定 (📖302) |
| (29) D レンジ補正 (📖143) | (36) 手ブレ補正 (📖94) |
| (30) プラスムービーオートモード
(📖55) | (37) MF インジケーター (📖151) |
| (31) タッチシャッター (📖74) | (38) 露出補正 (📖137) |

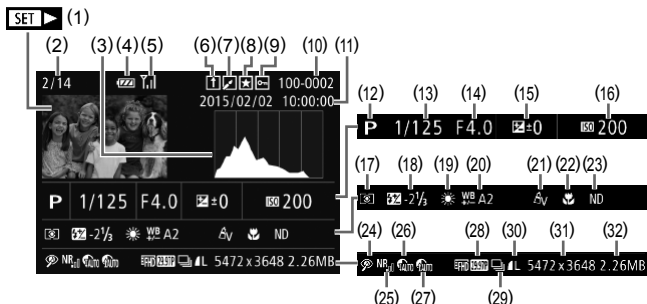
* [📷] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時（詳細情報表示）



- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 動画 (📖52、📖190) | (17) 測光方式 (📖138) |
| (2) 再生画像番号／総画像数 | (18) ストロボ発光 (📖165)、ストロボ調光補正量 (📖167) |
| (3) ヒストグラム (📖194) | (19) ホワイトバランス (📖145) |
| (4) バッテリー残量表示 (📖362) | (20) ホワイトバランス補正 (📖146)、水銀灯自動補正 (📖88)、クリエイティブショット効果 (📖101) |
| (5) Wi-Fi 電波の状態 (📖282) | (21) マイカラー (📖148、📖229) |
| (6) クラウドシンクロ (📖284) | (22) フォーカスゾーン (📖150、📖151) |
| (7) 画像編集 (📖225)、動画圧縮 (📖235) | (23) ND フィルター (📖144) |
| (8) お気に入り (📖220) | (24) 赤目補正 (📖231)、ショートクリップの再生効果 (📖133) |
| (9) 保護 (📖210) | (25) 高感度時 NR (📖141) |
| (10) フォルダ番号－画像番号 (📖296) | (26) D レンズ補正 (📖143) |
| (11) 撮影日時 (📖23) | (27) 暗部補正 (📖144) |
| (12) 撮影モード (📖366) | (28) 画質 / フレーム数 (動画) (📖89) |
| (13) シャッタースピード (📖174、📖176) | (29) グループ再生 (📖203) |
| (14) 絞り数値 (📖175、📖176) | |
| (15) 露出補正量 (📖137) | |
| (16) ISO 感度 (📖140) | |

(30) 圧縮率 (画質) (📖170) / 記録画素数 (📖89)、ダイジェスト動画 (📖55)、RAW (📖170)、MP4 (動画)、アルバム (📖237)

(31) 静止画：記録画素数 (📖403)
動画：再生時間 (📖404)

(32) ファイルサイズ



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (📖315)。

動画操作パネル一覧

「見る」(190) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

	タッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。音量が 0 のときは [🔊] が表示されます。
	再生
	スロー再生 ([◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して再生速度を変更) (音声は再生されません)
	前スキップ*または前のチャプター (236) ([🔍] を押したままにすると連続戻し)
	フレーム戻し ([🔍] を押したままにすると早戻し)
	フレーム送り ([🔍] を押したままにすると早送り)
	次スキップ*または次のチャプター (236) ([🔍] を押したままにすると連続送り)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (236) に表示)
	編集 (233)
	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (335) に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に [◀] か [▶] を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

撮影機能一覧

C2などの黒のアイコンは、そのモードで機能を選択できるか自動設定されることを示します。

C2などの灰色のアイコンは、そのモードで機能を選択できないことを示します。

露出補正 (📖 137)

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ISO 感度 (📖 140)

オート

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

125 ~ 12800

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AF 動作 (📖 160)

ONE SHOT

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO***² /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

SERVO

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ドライブモード (75)



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /



C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /



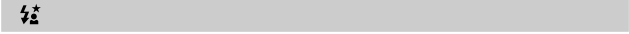
C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ストロボ (📖165)

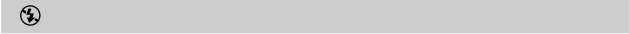


C2*1 / **C1***1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / /



C2*1 / **C1***1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / *3 / **AUTO***3 /  /
 /  /  /  /  /  /  / *3 /  /  /  /  /  /  /  /



C2*1 / **C1***1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ストロボ調光補正 (📖 167)

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ストロボ発光量 (📖 179)

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AvTv 設定 (📖 174、📖 175)

絞り数値

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

シャッタースピード

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

バルブ設定

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

プログラムシフト (📖 137)

C2*¹ / **C1***¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

撮影待機中 AE / FE ロック (📖 137、📖 168)*⁴

C2*¹ / **C1***¹ / **M***⁶ / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

タッチ AF (163)

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / *⁶ / *⁶ / *⁶ / *⁵ / *⁵ / *⁵ / / / /
 HDR / / / / / / / / / / / / / /

顔セレクト (162)

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / / / / /

タッチシャッター (74)

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / / / / / / /
*⁶ / / / / / / / / / / / / / /

動画記録中の静止画撮影 (129)

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / / / / /

情報表示切り換え (40)

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / / / / /

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

*2 動きを検出したときは [SERVO]

*3 選択不可。ただし状況に応じて [AF]

*4 FE ロックは [AF] では不可

*5 [MF] 時のみ

*6 顔が検出されたときのみ可

*7 撮影のみ可。被写体の指定は不可

AF 方式 (📖 156)

☺ + 追尾優先 AF

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

一点 AF

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  /  / AUTO /  /  /  /  /  /  / /

記録画質

「撮影タブメニュー 一覧」(📖377)を参照してください。

動画の画質 (📖89、📖90)

[NTSC] 設定時

FHD 59.94P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /

FHD 29.97P

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /

FTD 23.98P

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

FFHD 29.97P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

EVGA 29.97P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

[PAL] 設定時

FFHD 50.00P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

FFHD 25.00P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

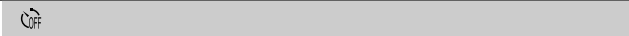
EVGA 25.00P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

EVGA 25.00P

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

セルフタイマー (📖71)



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

 $\mathbb{C}_0 / \mathbb{C}_2 / \mathbb{C}_6$

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / /

セルフタイマー設定 (📖 73)

時間 *3

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /

枚数 *4

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ND フィルター (📖 144)

ND

C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

NoFF

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

静止画アスペクト比 (📖 86)

16:9

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

3:2

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

4:3

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

1:1

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

ホワイトバランス (📖 145)

AWB

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

☀ / 🏠 / ☁ / 💧 / ☀ / ☀ / ☀

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

[illegible]

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / /

ホワイトバランス補正 (📖 146)

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

色あい調整 (📖 127)

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

マイカラー (📖 148)



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  / /

 $\Delta_V / \Delta_N / \Delta_{Se}^{*6} / \Delta_{PW}^{*6} / \Delta_P / \Delta_I / \Delta_D / \Delta_B / \Delta_G / \Delta_R / \Delta_C^{*7}$

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

D レンジ補正 (143)



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / /



暗部補正 (📖 144)



測光方式 (📖 138)



- *1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
- *2 縦横比の設定に連動して自動設定 (1111)
- *3 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可
- *4 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定
- *5 設定している「動画の画質」の縦横比と同じになるように自動設定されます。
- *6 ホワイトバランスは選択不可
- *7 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を 5 段設定

■ 撮影タブメニュー 一覧

[カメラ 1] タブ

撮影モード (📖 104、📖 106、📖 128)

C2 / C1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

記録画質 (📖 87、📖 170)

JPEG 画像設定

RAW

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

sL

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

L

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

sM1

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

M1

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

M2

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

M2

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AS

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AS

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

RAW 画像設定

-

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

RAW

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

静止画アスペクト比 (86)

「クイック設定メニュー 一覧」(371) を参照してください。

撮影情報表示設定 (📖 182)

切り換え設定

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

グリッド

グリッド 1 ㊦ / グリッド 2 ㊦

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

2.35:1/1.85:1/1.75:1/1.66:1/4:3

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ヒストグラム

輝度／RGB

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

鏡像表示 (📖 38)

入 / 切

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

撮影画面表示設定 (322)

省電力優先

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

画面表示優先

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

[📷 2] タブ

撮影直後のレビュー表示 (📖 97)

表示時間

切 / クイック

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

2 秒 / 4 秒 / 8 秒

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ホールド

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

表示情報

非表示

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

詳細表示

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

[P] ボタン

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

[MF] ボタン

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

カスタム登録 (186)

登録先 C1

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

登録先 C2

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

デジタルズーム (64)

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / /
 / / / / / / / / / HDR / / /
 / / / / / / / / / / /

固定

C2 / C1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / /
 / / / / / / / / / / /

テレコン 1.6x / テレコン 2.0x

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

ピント位置拡大 (📖 92)

入

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

[📷 3] タブ

AF 動作 (📖 160)

「撮影機能一覧」(📖 366) を参照してください。

AF 方式 (📖 156)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

AF フレームサイズ (📖 158) *2

標準

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

小

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

コンティニュアス AF (📖 161)

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AF+MF (📖 153)

入 / 切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

AF 補助光 (📖 96)

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

MF 拡大表示 (📖 151)

切

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

2x / 4x

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO**   /
                         /
                        

セーフティ MF (📖 151)

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

切

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ズーム位置 / MF 位置の記憶 (📖 186)

Zoom位置記憶

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

切

[illegible]

MF 位置記憶

入

C2 / C1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / /
 / / / / / / / / / / / / /

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / / /
 / / / / / / / / / / / / /

MF ピーキング設定 (154)

ピーキング

入 / 切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / / /
 / / / / / / / / / / / / /

レベル

弱 / 強

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / / /
 / / / / / / / / / / / / /

色

レッド / イエロー / ブルー

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / HDR / / / / /
 / / / / / / / / / / / / /

手ブレ補正設定 (📖 94)

手ブレ補正

切



入



撮影時



ダイナミック IS

弱



標準



強



ブラケット (📖 142、📖 154)



C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /



C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  / /



C2 *1 / **C1** *1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

【📷 5】 タブ

ISO 感度設定 (📖 141)

ISO 感度

「撮影機能一覧」(366)を参照してください。

ISO オート設定

上限 ISO 感度

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

感度の上がりかた

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

Dレンジ補正 (📖 143)

「クイック設定メニュー 一覧」(📖371)を参照してください。

暗部補正 (📖 144)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

測光方式 (📖 138)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

ND フィルター (📖 144)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

ストロボ制御 (📖 96、📖 167、📖 169、📖 179)

発光モード

オート

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / 

マニュアル

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / 

調光補正

「撮影機能一覧」(📖 366) を参照してください。

発光量

「撮影機能一覧」(📖 366) を参照してください。

シンクロ設定

先幕

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / 

後幕

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  / 

赤目緩和ランプ

入 / 切

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

セーフティ FE

入

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

[📷 6] タブ

WB 補正 (📖 146)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

マイカラー (📖 229)

「クイック設定メニュー一覧」(📖 371) を参照してください。

高感度時 NR (📖 141)

弱 / 標準 / 強

C2^{*1} / **C1**^{*1} / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  / **HDR** /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

水銀灯自動補正 (📖 88)

入 / 切

C2 / C1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

スポット測光枠 (📖 138)

中央固定 / AF 枠連動

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

セーフティシフト (📖 175)

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

[📷 7] タブ

目つむり検出 (📖 93)

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / /
 / / / / / / / / / / /
 / / / / / / / / / / /

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

表示範囲 (66)

大 / 中 / 小

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

オート詳細設定 (69)

サーチアシスト

入

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

オートズーム

顔 / 上半身 / 全身 / マニュアル / オート

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

切

C2*¹ / C1*¹ / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

入 / 切

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /

星

シャープ / 切 / ソフト

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /

星

効:



C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / /

撮

15 秒 / 30 秒 / 1 分

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /

フ

14.99 / 29.97 (NTSC 時)、12.50 / 25.00 (PAL 時)

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

攝影時間

60 分 / 90 分 / 120 分 / 制限なし

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

[📷 8] タブ

ダイジェスト形式 (📖55)

静止画入り / 静止画なし

C2 / C1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

動画の画質 (89)

「クイック設定メニュー 一覧」(371)を参照してください。

錄音 (📖 132)

錄音

オート *3

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

マニュアル

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  / <

しない

C2*1 / C1*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

録音レベル

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ウィンドカット／アッテネーター

ウィンドカット：オート

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

ウィンドカット：切

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

アッテネーター：入／切

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

アッテネーター：オート

C2^{*1} / C1^{*1} / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /
 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

*2 AF フレームで [一点] 選択時に可

*3 クリエイティブゾーン、動画以外では [する]

設定タブメニュー 一覧

タブ	項目	参照ページ
1	フォルダ作成	296
	画像番号	296
	カードの初期化	297
	ビデオ方式	298
	水準器	91
	起動画面	305
2	エコモード	300
	節電	35
	液晶の明るさ	301
	暗所表示	300
	エリア設定	302
	日付 / 時刻	303
	レンズ収納時間	303
3	日本語入力設定	48
	言語	303
	消音	304
	音量	304
	音の選択	305
	ヘッドホン	330
	機能ガイド	305

タブ	項目	参照ページ
🔌 4	タッチ操作	📖 306
	単位	📖 306
	Wi-Fi 設定	📖 243
	ワンタッチスマホボタン設定	📖 250
	認証マーク表示	📖 306
	著作権情報	📖 307
	カメラ設定初期化	📖 308

■ マイメニュータブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
★ 1	マイメニューの設定	📖 187

■ 再生タブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
▶ 1	保護	📖 210
	回転	📖 218
	消去	📖 214
	お気に入り	📖 220
	スライドショー	📖 208
▶ 2	アルバムを再生	📖 237
	ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖 196

タブ	項目	参照ページ
▶ 3	i-コントラスト	📖 230
	リサイズ	📖 225
	トリミング	📖 227
	赤目補正	📖 231
	レタッチマイカラー	📖 229
	認証情報	📖 197
▶ 4	印刷設定	📖 337
	フォトブック指定	📖 346
▶ 5	画像切り換え効果	📖 190
	一覧表示の効果	📖 198
	スクロール再生	📖 190
	グループ表示	📖 203
	縦横自動回転	📖 219
	再生開始位置	📖 190
▶ 6	ショートカット登録	📖 222
	タッチアクション設定	📖 223

■ 印刷タブメニュー一覧

項目	参照ページ
印刷	—
印刷する画像を指定	📖 343
範囲で指定	📖 344
すべての画像を指定	📖 344
すべての指定を解除	📖 345
印刷の設定	📖 342

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。

主な仕様

■ カメラの仕様について

カメラ部有効画素数（最大）	約 2020 万画素
レンズ焦点距離	25 倍ズーム：8.8 (W) - 220.0 (T) mm (35mm フィルム換算：24 (W) - 600 (T) mm)
液晶モニター	3.2 型 TFT カラー液晶 有効画素数：約 162 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
データタイプ	静止画：Exif 2.3 (JPEG)、RAW (CR2 (キヤノン独自)) 動画：MP4 (映像：MPEG-4 AVC / H.264、音声：MPEG-4 AAC-LC (ステレオ))
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 マイク入力 ヘッドフォン出力
電源	バッテリーパック NB-10L AC アダプターキット ACK-DC80
大きさ (CIPA 準拠)	123.3 x 76.5 x 105.3 mm
質量 (CIPA 準拠)	約 733 g (電池・メモリーカード含む) 約 690 g (本体のみ)

Wi-Fi

規格	IEEE 802.11b/g/n* * 2.4 GHz 帯のみ
伝送方式	OFDM 変調方式 (IEEE 802.11g/n) DSSS 変調方式 (IEEE 802.11b)
通信モード	インフラストラクチャーモード* ¹ 、アドホックモード* ² * ¹ Wi-Fi Protected Setup に対応 * ² Wi-Fi CERTIFIED IBSS
対応チャンネル	1-11 ch
セキュリティ	WEP、WPA-PSK (AES/TKIP)、 WPA2-PSK (AES/TKIP)

デジタルズームの焦点距離 (35mm フィルム換算)

デジタルズーム [入]	24 - 2400 mm (光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離)
デジタルテレコン 1.6 倍	38.4 - 960 mm
デジタルテレコン 2.0 倍	48.0 - 1200 mm

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 300 枚
撮影枚数（エコモード時）	約 410 枚
動画撮影時間 * ¹	約 1 時間 5 分
動画撮影時間（連続時 * ² ）	約 2 時間 5 分
再生時間 * ³	約 6 時間

*¹ 次の条件で撮影した時間です。

- [📷] モード
- 画質 [FHD 29.97P]
- 撮影、停止、ズーム、電源の入 / 切を繰り返し

*² 次の条件で撮影した時間です。

- [📷] モード
- 画質 [FHD 29.97P]
- ズームなどの操作なし
- 動画の容量が 4 GB になるか撮影時間が約 29 分 59 秒になって撮影が自動停止したときは、すぐに撮影を再開

*³ 静止画をスライドショーで再生したときの時間です。

- 撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

1 枚のカードに撮影できる枚数

縦横比（ 86）が 3:2 のときに、1 枚のカードに撮影できる枚数は次のとおりです。なお、縦横比によって撮影できる枚数は変わります。

記録画素数 (ピクセル)	圧縮率	1 枚のカードに撮影できる枚数 (約・枚)
		16 GB
L (ラージ) 20M/ 5472x3648		1686
		2729
M1 (ミドル 1) 12M/ 4320x2880		2612
		4152
M2 (ミドル 2) 4M/2304x1536		8377
		14724
S (スモール) 0.3M/720x480		48592
		69418
RAW 画像 5472x3648	—	610

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	16 GB	
[FHD 59.94P] [FHD 50.00P]	59 分 30 秒	
[FHD 29.97P] [FHD 23.98P] *1 [FHD 25.00P]	1 時間 26 分 05 秒 *2	
[HD 29.97P] [HD 25.00P]	4 時間 05 分 15 秒	
[VGA 29.97P] [VGA 25.00P]	10 時間 22 分 35 秒	

*1 実際のフレームレートは 23.976fps

*2 iFrame 動画 (134) では、52 分 12 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が [FHD 59.94P] [FHD 29.97P] [FHD 23.98P] [FHD 50.00P] [FHD 25.00P] [HD 29.97P] [HD 25.00P] では約 29 分 59 秒、[VGA 29.97P] [VGA 25.00P] では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 10 以上のカードを使用することをおすすめします。

ストロボ調光範囲

もっとも広角側 (111) にしたとき	60 cm - 6.8 m
もっとも望遠側 (1) にしたとき	85 cm - 3.1 m

撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (📷) にしたとき	もっとも望遠側 (🔍) にしたとき
AUTO	—	5 cm - ∞	85 cm - ∞
上記以外	📷	5 cm - ∞	85 cm - ∞
	🌸*	5 - 50 cm	—

* 撮影モードによっては、選択できません。

連続撮影の速さ

連続撮影モード	速さ
📷	約 5.9 枚 / 秒

- 当社試験基準の UHS-I 対応 16 GB カード使用時の速さです。なお、撮影枚数は被写体やカードの銘柄などにより変わります。

シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 - 1/2000 秒
[Tv] [M] [P] モードで設定できる値 (秒)*	30、25、20、15、13、10、8、6、5、4、3.2、2.5、2、1.6、1.3、1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000

* [P] モードでは、1/25 秒またはそれより遅い値は設定できません。

絞り

F 値	F2.8/F11 (W) - F5.6/F11 (T)
[Av] [M] [P] モードで設定できる値*	F2.8、F3.2、F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F6.3、F7.1、F8.0、F9.0、F10、F11

* ズーム位置によっては、選べない絞り数値があります。

バッテリーパック NB-10L

形式： リチウムイオン充電電池
公称電圧： DC 7.4 V
公称容量： 920 mAh
充放電回数： 約 300 回
使用温度： 0 – 40℃

バッテリーチャージャー CB-2LC

定格入力： AC 100 V – 240 V (50/60 Hz)、
0.18 A (100 V) – 0.12 A (240 V)
定格出力： DC 8.4 V、0.7 A
充電時間： 約 1 時間 50 分 (NB-10L 充電時)
充電表示： 充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯
使用温度： 5 – 40℃

アルファベット

A

AC アダプターキット 312, 316
AEB 撮影 142
AE ロック 137
AF フレーム 156
AF 方式 156
AF ロック 164
Av (撮影モード) 175

C

Camera Connect 245
CameraWindow 331
CANON iMAGE GATEWAY 268

D

DC カプラー 316
DPOF 342

F

FE ロック 168

G

GPS 情報記録 288
GPS 情報表示 194

H

HDMI ケーブル 315

I

iFrame 動画 (動画モード) 134
ISO 感度 140
i-コントラスト 230

M

M (撮影モード) 176

N

ND フィルター 144

P

P (撮影モード) 136
PictBridge
(ピクトブリッジ) 314, 335

R

RAW 170

S

SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

Tv (撮影モード) 174

W

Web サービスへの送信 268
Wi-Fi 機能 243
Wi-Fi メニュー 252

かな

あ

赤目補正 231
アクセサリ 312
アクセスポイントを使って
接続する 260
圧縮率 170
アッテネーター 133
暗部補正 144

い

色あい（ホワイトバランス） 145
印刷 335

う

ウインクセルフタイマー
（撮影モード） 117
ウィンドカット 58, 132
打上げ花火（撮影モード） 104

え

液晶モニター 38
エコモード 300
エラー表示 357

お

オートシャッター（撮影モード）
116
オートモード（撮影モード） 27, 52
オールドポスター（撮影モード）
105
お気に入り設定 220
音 304

か

カード 3
撮影できる時間 404
海外で使う 302
回転 218
外部マイク 329
顔セルフタイマー（撮影モード）
119
顔セレクト 162
拡大表示 207
画質 → 圧縮率（画質）

画像

消す 214
再生 → 見る
表示時間 97
保護 210
画像番号 296
画像を送る 277
画像をパソコンに取り込む 332
家庭用電源 316
カメラ
設定初期化 308
カメラアクセスポイントモード 256
カメラへの送信 277
画面
表示一覧 361, 363
表示言語 25
メニュー → FUNC. メニュー、
メニュー

き

魚眼風（撮影モード） 109
記録画素数（画像の大きさ） 87,
170

く

クイック設定メニュー
一覧 371
クラウドシンクロ 284
クリエイティブショット 100
クリエイティブフィルター
（撮影モード） 105
グリッドライン 182

け

消す 214
検索 199

こ

高感度時 NR 141
 極彩色 (撮影モード) 105
 故障 350
 個人認証 77

さ

サーボ AF 160
 再生 → 見る
 撮影
 撮影情報 182, 361
 撮影日時 → 日付/時刻

し

ジオラマ風 (撮影モード) 110
 ジャンプ表示 202
 消去 → 消す
 ショートクリップ (動画モード)
 133
 初期状態 → 設定初期化
 白黒画像 148

す

水銀灯自動補正 88
 水準器 91
 ズーム 27, 52, 64, 65
 スタANDARD (動画モード) 128
 ストーリーハイライト 237
 ストラップ 2
 ストロボ
 常時発光 165
 スローシンクロ 166
 調光補正 167
 発光禁止 166
 スノー (撮影モード) 104
 スポーツ (撮影モード) 102
 スマートフォンへの送信 245

スマイル (撮影モード) 116
 スライドショー 208

せ

世界時計 302
 接続情報の編集/消去 291
 設定初期化 308
 節電 35
 セピア調画像 148
 セルフタイマー 71
 2秒セルフタイマー 72
 ウイंकセルフタイマー
 (撮影モード) 117
 顔セルフタイマー
 (撮影モード) 119
 タイマー時間と撮影枚数を
 変える 73
 全消去 215

そ

測光方式 138
 ソフトウェア
 インストール 257, 332
 パソコンへの取り込み 332
 ソフトフォーカス (撮影モード)
 114

た

ダイナミックレンジ補正 143
 タッチ AF 163
 タッチアクション設定 223
 タッチシャッター 74
 縦横比を変える 86
 端子 315, 335

て

デジタルズーム 64

デジタルテレコンバーター 156
 手ブレ補正 94, 172
 手持ち夜景 (撮影モード) 103
 テレビで見る 315
 電源 312 → AC アダプターキッ
 ト、→ バッテリー、→ バッテリー
 チャージャー (充電器)
 電池 → 日付/時刻 (日付/時刻用電
 池)

と

トイカメラ風 (撮影モード) 112
 動画
 画質 (記録画素数 /
 フレーム数) 89
 撮影時間 404
 編集 233
 時計機能 50
 トリミング
 (画像の切り抜き) 227, 338

に

日時 → 日付/時刻

ね

ネクストラップ → ストラップ

の

ノスタルジック (撮影モード) 108

は

背景ぼかし (撮影モード) 113
 ハイダイナミックレンジ
 (撮影モード) 106
 バッテリー
 エコモード 300
 残量表示 362

充電 19

節電 35

バッテリーチャージャー

(充電器) 2, 312

花火 → 打上げ花火 (撮影モード)

ひ

ピクトブリッジ
 (PictBridge) 314, 335

日付/時刻

 世界時計 302

 設定 23

 日付/時刻用電池 25

 変更 24

表示言語 25

ピント合わせ

 AF フレーム 156

 AF ロック 164

 MF ピーキング 154

 サーボ AF 160

 タッチ AF 163

 ピント位置拡大 92

ふ

フォーカスゾーン

 マクロ 150

 マニュアルフォーカス 151

フォーカスチェッカー 207

フォーカスブラケット撮影 154

フォーカスロック 157

フォトブック指定 346

付属品 2

プラスムービーオート

(撮影モード) 55

プリント → 印刷

フレーミングアシスト 66

プログラム AE 136

へ

編集

- i-コントラスト 230
- 赤目補正 231
- トリミング
 - (画像の切り抜き) 227
- リサイズ
 - (画像を小さくする) 225
- レタッチマイカラー 229

ほ

- ポートレート (撮影モード) 103
- 保護 210
- 星空 (撮影モード) 120
 - 星空インターバル動画
 - (撮影モード) 123
 - 星空軌跡 (撮影モード) 122
 - 星空夜景 (撮影モード) 120
- ホワイトバランス (色あい) 145

ま

- マイカラー 148
- マクロ (フォーカスゾーン) 150
- マニュアル (動画モード) 180
- マニュアルフォーカス
 - (フォーカスゾーン) 151
- マニュアルホワイトバランス 146
- マルチエリアホワイトバランス 88

み

- 見る 30
 - 1 枚表示 30
 - インデックス表示 198
 - 拡大表示 207
 - 画像の検索 199
 - ジャンプ表示 202
 - スライドショー 208

テレビで見る 315

め

- 目つむり検出 93
- メニュー
 - 一覧 366
 - 基本操作 43
- メモリーカード → カード

も

モノクロ (撮影モード) 115

ら

ランプ 49, 96

り

- リサイズ (画像を小さくする) 225
- リモート撮影 289

れ

- レタッチマイカラー 229
- 連続撮影 61, 75

ろ

露出

- AE ロック 137
- FE ロック 168
- 補正 137

わ

ワンタッチスマホボタン 250

Wi-Fi（無線 LAN）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC2192 です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
 - なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

■ セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ : <http://www.jbrc.com>

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

MENU の [4] タブにある [認証マーク表示] で、このカメラが対応している認証マークの一部を、画面に表示して確認できます。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

- インターフェースケーブル IFC-400PCU
- HDMI ケーブル HTC-100

Complies with IDA Standards DB00671

シンガポール IDA 規格の認可済み WLAN Module が組み込まれています。

アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

商標、ライセンスについて

- DCF は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
050-555-90005

受付時間：9：00～18：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
<http://canon.jp/cdc>

キヤノンサポートページ
<http://canon.jp/support>

CANON iMAGE GATEWAY
<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい
国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。
<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。